病 院 年 報

平成21年

日本赤十字社

名古屋第一赤十字病院

巻 頭 言

平成21年１月１日は、当院の歴史に残る記念すべき日となりました。それは新病棟が完成し総ての診療部門の移転が完了し、更には電子カルテシステムの導入による診療体制で新たなスタートをきった画期的な転換点としてであります。当初３～４カ月の間は外来・病棟共に全職員が不慣れな状況での診療を強いられ、患者さん方にもご迷惑をおかけした点も多々ありました。ことにペーパーレス、フィルムレスの状況での外来診療は、情報の共有化という点で大きな進歩をみましたが、一方で時間がかかり診療科によっては待ち時間が大幅に延長し患者さんからはしばしば苦情をいただき、診療する側も大変なストレスを感じつつ汗を流しながらの日々でした。しかしながら新棟の使い勝手にも次第に慣れ、システムの運用が軌道に乗り始めた４～５月位からは本来期待された診療体制が機能するようになり始めました。また施設の更新は新たな人気を呼んだのか、新人看護師の数も150名を超え、おかげで７月からは待望の７：１看護基準体制による診療報酬上の加算がとれるようになってからは稼働状況も好転しました。これを弾みとして９月になって、年末に控えた病院機能評価機構による更新審査のための準備に拍車がかかりました。新たな病院の中・長期計画も“モノからヒトへ”という標語を掲げ、医師・看護師を始めとした職員の養成を最重要課題として、更には働く職員の環境改善を目指すこととなりました。幸いVer.6.による機能評価機構の審査も12月に無事終了し、２度目の認定更新が認められました。こうした中にも各職種の方々は多くの業績を上げられ、もって高度・良質な医療を提供し更なる患者満足の達成を目指すべく努力を積み重ねてこられました。次年度に向かって、７つの基本方針を貫きつつ広範になりつつある当院の責任医療圏の中核病院として更なる発展を期したいものと思います。

平成22年８月

院長　小林陽一郎

目　　次

Ⅰ. 業務概要

1. 医事業務課
(1)病院年度別患者数・・・1
(2)平成 21 年度診療科別・月別患者数・・2

2. 企画課
(1)平成 21 年度科別救急患者数・・・4
(2)平成 21 年度曜日別救急患者数・・4
(3)平成 21 年度月別救急患者数・・・5
(4)平成 21 年度地域別救急患者数・・5

3. 栄養課
(1)平成 21 年度栄養指導集計表・・・6

4. 病歴図書管理課
(1)大分類別退院患者数・・・7
(2)大分類別退院患者数の推移・・・8
(3)住所別退院患者数・・9
(4)主要疾患別退院患者数の推移・・・10
(5)診療科別上位疾患別科別退院患者数及び平均在院日数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

5. 放射線科部
(1)平成 21 年度診療科別被検者数・・14
(2)年度別検査項目別件数・・16
(3)年度別放射線治療患者数・・・16

6. 病理部
(1)診療科別生検検体数・・17
(2)病理特殊検査検体数・・17
(3)コンサルテーション症例数・・17
(4)院外受託検査・・18
(5)細胞診件数(検体種別検体数)・・18
(6)剖検検体数(科別検体数、月別検体数)　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18

7. 輸血部
(1)平成 21 年度検査年報集計・・・19
(2)平成 21 年度院内廃棄血集計(輸血管理室)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
(3)平成 21 年度造血幹細胞移植症例数(分子細胞検査室)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
(4)平成 21 年度成分採血室稼働状況・・・20

8.薬剤部
(1)平成 21 年度外来患者待ち時間実態調査・・・21
(2)平成 21 年度入院・外来処方箋枚数・・21

(3) 平成 21 年度入院薬剤管理指導料算定数・・・21

9.検査部

(1) 平成 21 年度検査種別稼動集計・・・22
(2) 平成 21 年度判断料・・24
(3) 平成 21 年度検査加算・管理料・・・25

10. 看護部

(1) 看護部の理念・・26
(2) 基本方針・・26
(3) 平成 21 年度看護部目標・・26
(4) 認定看護師の専門分野と人数・・・26
(5) 平成 21 年度院内研修会・講演会記録・・27

11.施設管理課

(1) 平成 21 年度改築工事の進捗状況・・・29

Ⅱ. 業績

1. 平成21年度診療科別業績・・・30

2. 学術講演記録・・31

Ⅲ. 医療社会事業部

1. 医療社会事業課

(1) 平成 21 年度年間援助件数・・・32
(2) 平成 21 年度年間科別援助件数・・33
(3) 転院先別取扱件数・・・35
(4) 居宅介護支援活動状況・・・36

2. 社会課

(1) 平成 21 年度災害救護訓練・臨時救護実施状況・・38
(2) 平成 21 年度災害救護活動状況・・39
(3) 平成 21 年度その他救護活動状況・・・39
(4) 病院ボランティア活動状況・・・40
(5) 地域福祉活動状況・・・42

3. 地域医療連携課

(1) 当院と外部委嘱委員との運営委員会及び協議会履歴と議事概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・43
(2) 地域医療支援病院 【紹介・逆紹介件数と率】（年度別推移）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・56
(3) 地域医療支援病院【紹介率・逆紹介率】年度月別推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・56
(4)【診療科別】初診（紹介）件数 （過去3年度比較）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・57
(5)【診療科別】逆紹介件数 （過去3年度比較）・・・57
(6)【診療科別】地域医療支援病院・紹介率（過去3年度比較）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・58
(7)【診療科別】地域医療支援病院・逆紹介率（過去3年度比較）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・58
(8)【医療圏別】2次医療圏別紹介元動向（過去3年度比較）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・59

(9)【医療圏別】2次医療圏別紹介先動向(過去3年度比較)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・59
(10)平成 21 年度医療機器等の共同利用の実績 ・・60
(11)病診連携システム登録医数 ・・・61
(12)病診連携システム学術セミナー開催状況 ・・62
(13)平成 21 年度地域医療研修プログラム実績 ・・・65

Ⅰ. 業　務　概　要

1．医事業務課

（1）病院年度別患者数

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
外来	新患者数	43,027	43,865	43,052	39,043	43,341
	患者延数	428,621	426,829	420,255	363,011	360,625
	1日平均	1,756.6	1,749.3	1,722.4	1,500.0	1,496.4
入院	入院患者数	17,249	17,460	18,016	17,528	18,729
	退院患者数	17,257	17,531	18,036	17,529	18,670
	在院患者延数	269,537	266,409	256,268	236,048	248,555
	入院患者延数	286,794	283,940	274,304	253,577	267,225
	1日平均	785.7	778.0	749.5	694.7	732.1

※平成20年4月1日以降　許可病床数852床（一般病床）

（2）平成21年度診療科別・月別患者数（患者延数）

	各　科	4月	5月	6月	7月	8月	9月
外来	内科	311	231	234	227	208	157
	腎臓内科	536	451	549	515	520	464
	内分泌科	1,450	1,099	1,454	1,459	1,398	1,253
	血液内科	826	732	895	945	915	926
	消化器科	2,944	2,456	3,185	3,347	3,100	2,983
	呼吸器科	1,547	1,417	1,640	1,711	1,688	1,668
	神経内科	2,114	1,875	2,137	2,300	1,949	2,162
	循環器科	2,795	2,344	2,741	2,724	2,776	2,688
	外科	1,865	1,551	1,933	2,022	1,840	1,876
	呼吸器外科	209	193	223	183	198	216
	心臓血管外科	435	400	507	467	429	415
	小児外科	80	59	85	78	82	63
	整形外科	2,285	2,046	2,438	2,490	2,385	2,103
	リハビリ	396	312	340	326	361	327
	脳神経外科	713	587	784	656	710	661
	産婦人科	1,492	1,345	1,652	1,662	1,556	1,513
	小児科	1,803	1,581	1,822	1,934	2,236	1,928
	耳鼻咽喉科	1,762	1,629	1,963	1,893	1,790	1,812
	皮膚科	1,005	979	1,246	1,318	1,359	1,259
	形成外科	289	231	286	307	287	249
	泌尿器科	1,865	1,569	1,859	2,051	1,844	1,878
	眼科	1,023	949	1,212	1,126	1,234	1,295
	歯科口腔外科	1,295	1,018	1,390	1,370	1,432	1,213
	放射線科	427	322	569	554	641	468
	合計	29,467	25,376	31,144	31,665	30,938	29,577

	各　科	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入院	内科	32	39	48	36	91	200
	腎臓内科	457	435	393	457	288	341
	内分泌科	170	144	177	84	216	154
	血液内科	1,737	1,868	1,859	1,985	2,030	1,988
	消化器科	1,852	1,811	1,969	1,943	1,732	1,991
	呼吸器科	1,571	1,739	1,809	2,082	2,189	1,875
	神経内科	2,030	2,318	1,990	2,116	1,828	1,796
	循環器科	1,311	1,052	915	1,059	929	1,064
	外科	1,867	1,832	1,908	2,081	2,041	2,318
	呼吸器外科	486	410	499	489	353	471
	心臓血管外科	1,044	972	1,048	850	635	703
	小児外科	59	60	58	50	53	68
	整形外科	1,391	1,064	1,087	1,327	1,315	1,148
	リハビリ						
	脳神経外科	655	661	726	541	657	550
	産婦人科	2,479	2,532	2,518	2,371	2,622	2,604
	小児科	2,498	2,574	2,581	2,704	2,714	2,583
	耳鼻咽喉科	532	543	684	789	767	605
	皮膚科	91	74	41	69	149	92
	形成外科	120	131	95	77	119	59
	泌尿器科	770	690	673	823	810	745
	眼科	129	122	151	161	184	158
	歯科口腔外科	382	303	368	427	359	382
	放射線科						
	合計	21,663	21,374	21,597	22,521	22,081	21,895

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	各　科
202	174	174	178	179	211	2,486	内科
529	451	525	480	495	531	6,046	腎臓内科
1,478	1,324	1,326	1,357	1,314	1,478	16,390	内分泌科
931	921	878	930	876	1,026	10,801	血液内科
3,131	2,927	3,085	2,904	2,925	3,244	36,231	消化器科
1,759	1,777	1,859	1,855	1,490	1,691	20,102	呼吸器科
2,105	2,029	1,965	2,062	1,908	2,343	24,949	神経内科
2,783	2,756	2,776	2,701	2,594	2,863	32,541	循環器科
1,993	1,849	1,783	1,765	1,776	1,974	22,227	外科
215	207	246	208	222	259	2,579	呼吸器外科
446	393	408	400	449	497	5,246	心臓血管外科
67	51	45	47	65	74	796	小児外科
2,296	2,212	2,245	2,311	2,334	2,612	27,757	整形外科
332	315	363	354	373	414	4,213	リハビリ
699	670	609	608	641	760	8,098	脳神経外科
1,595	1,513	1,602	1,491	1,600	1,846	18,867	産婦人科
2,236	2,352	2,127	2,009	1,804	2,225	24,057	小児科
1,962	1,757	1,681	1,802	1,634	1,966	21,651	耳鼻咽喉科
1,204	1,189	1,213	1,198	1,193	1,309	14,472	皮膚科
226	241	250	228	248	308	3,150	形成外科
2,025	1,713	1,831	1,848	1,688	1,980	22,151	泌尿器科
1,163	1,145	1,200	1,021	1,073	1,475	13,916	眼科
1,242	1,231	1,265	1,070	1,334	1,738	15,598	歯科口腔外科
586	553	494	549	535	603	6,301	放射線科
31,205	29,750	29,950	29,376	28,750	33,427	360,625	合計

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	各　科
219	227	190	149	110	65	1,406	内科
487	551	509	560	559	542	5,579	腎臓内科
161	122	149	225	232	252	2,086	内分泌科
2,175	1,999	1,909	1,780	1,794	1,920	23,044	血液内科
2,030	1,976	1,868	1,871	1,917	2,299	23,259	消化器科
1,971	2,130	2,152	2,166	1,834	2,407	23,925	呼吸器科
1,832	2,043	1,970	1,913	1,866	2,061	23,763	神経内科
893	891	1,143	1,323	1,240	1,242	13,062	循環器科
2,333	2,223	2,120	1,983	1,660	2,185	24,551	外科
506	523	520	437	500	491	5,685	呼吸器外科
802	808	946	953	862	852	10,475	心臓血管外科
47	29	26	40	64	62	616	小児外科
1,436	1,227	1,280	1,279	1,210	1,313	15,077	整形外科
						0	リハビリ
764	510	493	521	435	592	7,105	脳神経外科
2,692	2,572	2,517	2,491	2,493	2,613	30,504	産婦人科
2,712	2,772	2,890	2,757	2,579	2,925	32,289	小児科
731	585	789	628	531	705	7,889	耳鼻咽喉科
105	55	69	81	58	30	914	皮膚科
36	40	31	71	93	91	963	形成外科
771	759	799	732	899	870	9,341	泌尿器科
167	207	128	129	100	176	1,812	眼科
303	306	282	307	219	242	3,880	歯科口腔外科
							放射線科
23,173	22,555	22,780	22,396	21,255	23,935	267,225	合計

2. 企画課

（1）平成21年度科別救急患者数

	入院	外来	計	%
内科	62	940	1,002	3.6
腎臓内科	76	65	141	0.5
内分泌内科	33	211	244	0.9
血液内科	119	131	250	0.9
消化器内科	561	2,267	2,828	10.2
呼吸器内科	411	2,057	2,468	8.9
神経内科	561	1,225	1,786	6.5
循環器内科	526	970	1,496	5.4
一般消化器外科	283	223	506	1.8
呼吸器外科	27	21	48	0.2
心臓血管外科	109	37	146	0.5
血管外科	14	22	36	0.1
乳腺内分泌外科	7	16	23	0.1
小児外科	16	12	28	0.1
整形外科	261	2,378	2,639	9.5
リハビリ科	0	0	0	0.0
脳神経外科	167	1,202	1,369	5.0
産婦人科	482	935	1,417	5.1
小児科	712	6,116	6,828	24.7
耳鼻咽喉科	43	2,012	2,055	7.4
皮膚科	7	888	895	3.2
形成外科	3	80	83	0.3
泌尿器科	83	825	908	3.3
女性泌尿器科	5	13	18	0.1
眼科	4	76	80	0.3
歯科口腔外科	20	303	323	1.2
精神科	0	4	4	0.0
総合診療科	4	10	14	0.1
救急科	0	1	1	0.0
放射線科	0	0	0	0.0
計	4,596	23,040	27,636	100.0

（2）平成21年度曜日別救急患者数

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日、休日	計	1日平均
4月	214	227	205	271	224	308	477	1,926	64.2
5月	189	160	172	201	212	390	849	2,173	70.1
6月	275	246	199	212	219	301	360	1,812	60.4
7月	150	235	253	261	250	316	438	1,903	61.4
8月	294	219	270	228	275	420	504	2,210	71.3
9月	191	269	262	271	266	357	787	2,403	80.1
10月	244	281	297	377	392	522	606	2,719	87.7
11月	346	273	333	347	306	439	954	2,998	99.9
12月	287	269	208	286	302	386	986	2,724	87.9
1月	255	265	277	254	242	518	865	2,676	86.3
2月	258	212	252	169	208	368	499	1,966	70.2
3月	234	285	284	210	211	344	558	2,126	68.6
合計	2,937	2,941	3,012	3,087	3,107	4,669	7,883	27,636	75.7
平均	244.8	245.1	251.0	257.3	258.9	389.1	656.9	2,303.0	329.0
%	10.6	10.6	10.9	11.2	11.2	16.9	28.5	100.0	

（3）平成21年度月別救急患者数

	入　院			外　来			合　計
	時間内	時間外	深　夜	時間内	時間外	深　夜	
4月	（91） 103	（92） 167	（57） 104	（72） 192	（135） 904	（80） 456	（527） 1,926
5月	（72） 79	（105） 228	（44） 79	（54） 148	（143） 1158	（81） 481	（499） 2,173
6月	（58） 69	（83） 167	（44） 77	（72） 212	（96） 832	（63） 455	（416） 1,812
7月	（73） 85	（83） 164	（52） 90	（70） 227	（135） 908	（69） 429	（482） 1,903
8月	（78） 89	（87） 167	（54） 99	（71） 295	（111） 1044	（78） 516	（479） 2,210
9月	（70） 82	（99） 209	（68） 114	（61） 287	（132） 1188	（80） 523	（510） 2,403
10月	（81） 104	（112） 208	（65） 112	（53） 399	（128） 1316	（72） 580	（511） 2,719
11月	（92） 122	（91） 187	（54） 100	（74） 459	（149） 1501	（76） 629	（536） 2,998
12月	（95） 121	（107） 199	（44） 84	（49） 352	（118） 1390	（74） 578	（487） 2,724
1月	（78） 102	（126） 240	（57） 106	（77） 342	（133） 1367	（75） 519	（546） 2,676
2月	（74） 83	（92） 188	（51） 80	（57） 220	（129） 987	（55） 408	（458） 1,966
3月	（87） 103	（89） 190	（48） 95	（71） 241	（116） 1035	（56） 462	（467） 2,126
合計	（949） 1,142	（1,166） 2,314	（638） 1,140	（781） 3,374	（1,525） 13,630	（859） 6,036	（5,918） 27,636
1日平均	（2.6） 3.1	（3.2） 6.3	（1.7） 3.1	（2.1） 9.2	（4.2） 37.3	（2.4） 16.5	（16.2） 75.7

※（　）内、救急車及びパトカーでの搬入件数再掲

（4）平成21年度地域別救急患者数

地域		患者数	地域		患者数
名古屋市内	中村区	9,328	海部郡	大治町	1,653
	中川区	3,772		甚目寺町	1,745
	西区	2,211		七宝町	722
	北区	515		美和町	558
	中区	467		その他	185
	その他	1,599		小計	4,863
	小計	17,892	西春日井郡	春日町	67
名古屋市以外	清須市	1,705		豊山町	20
	津島市	342			
	北名古屋市	221			
	稲沢市	245			
	愛西市	232		小計	87
	その他	1041	その他	県外	851
	小計	3,786		不明	156

3．栄養課

(1) 平成21年度栄養指導集計表

【 個人指導 】　　［ 単位＝件 ］

		糖尿病食	心臓病食	高脂血症食	腎臓病食	胃切術後食	潰瘍食	低残渣食	痛風食	肝臓食	その他	合計
入 院	20年度	192	77	4	110	156	60	11	0	8	16	634
	21年度	244	117	5	114	223	31	11	1	32	25	803
外 来	20年度	431	6	86	184	3	1	4	7	2	9	733
	21年度	461	36	74	175	1	7	3	2	4	27	790
合 計	20年度	623	83	90	294	159	61	15	7	10	25	1367
	21年度	705	153	79	289	224	38	14	3	36	52	1593

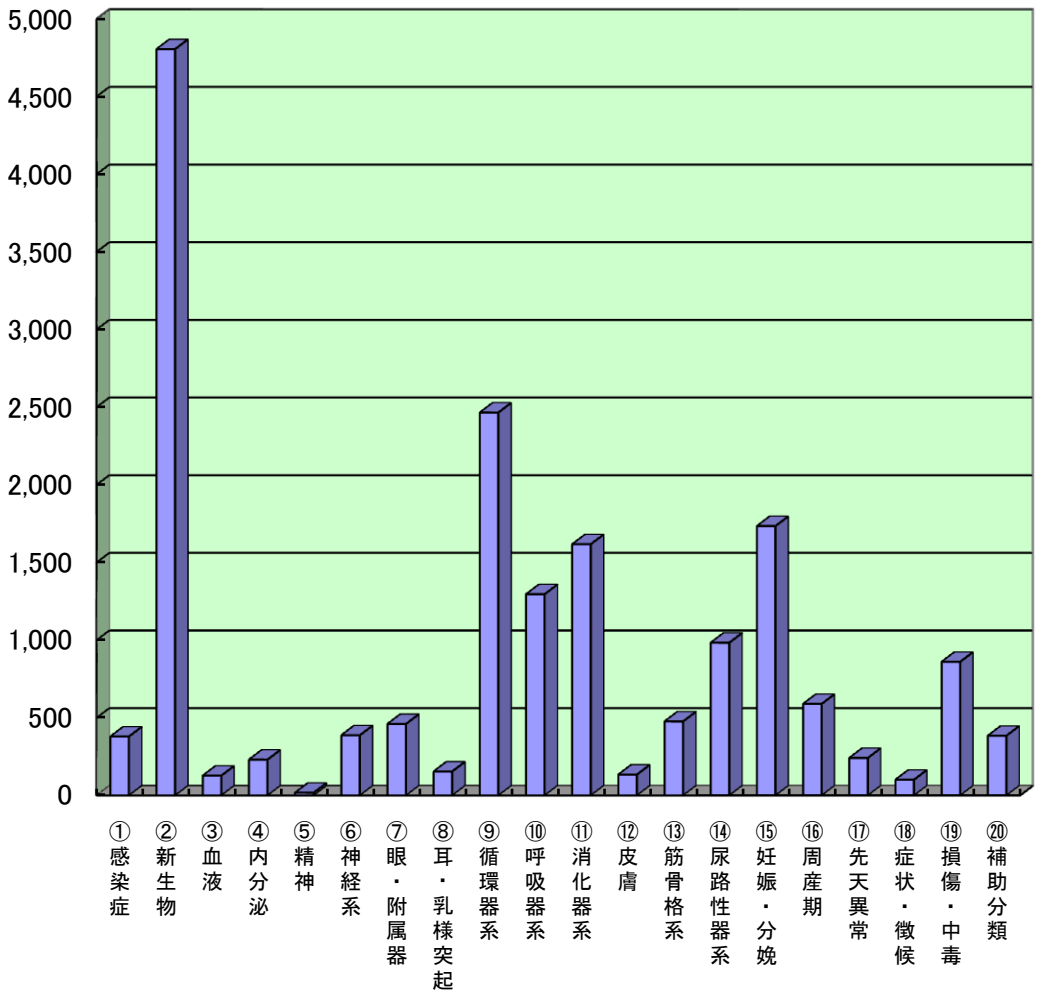
【 集団指導 】　　［ 単位＝人 ］

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
糖尿病	20年度	9	19	10	12	7	4	4	6	0	0	0	0	71
	21年度	2	4	16	0	22	0	14	3	7	16	17	14	115
心臓循環器	20年度	4	7	3	0	4	2	1	5	2	0	3	3	34
	21年度	4	0	3	0	3	0	0	3	3	0	0	4	20

4. 病歴図書管理課

平成21年度退院患者に関する諸統計

（1）大分類別退院患者数



国際大分類	患者数	国際大分類	患者数
①感染症	379	⑪消化器系	1,617
②新生物	4,805	⑫皮膚	134
③血液	127	⑬筋骨格系	476
④内分泌	230	⑭尿路性器系	983
⑤精神	17	⑮妊娠・分娩	1,734
⑥神経系	387	⑯周産期	589
⑦眼・附属器	460	⑰先天異常	241
⑧耳・乳様突起	154	⑱症状・徴候	101
⑨循環器系	2,465	⑲損傷・中毒	860
⑩呼吸器系	1,295	⑳補助分類	384
合計		17,438	

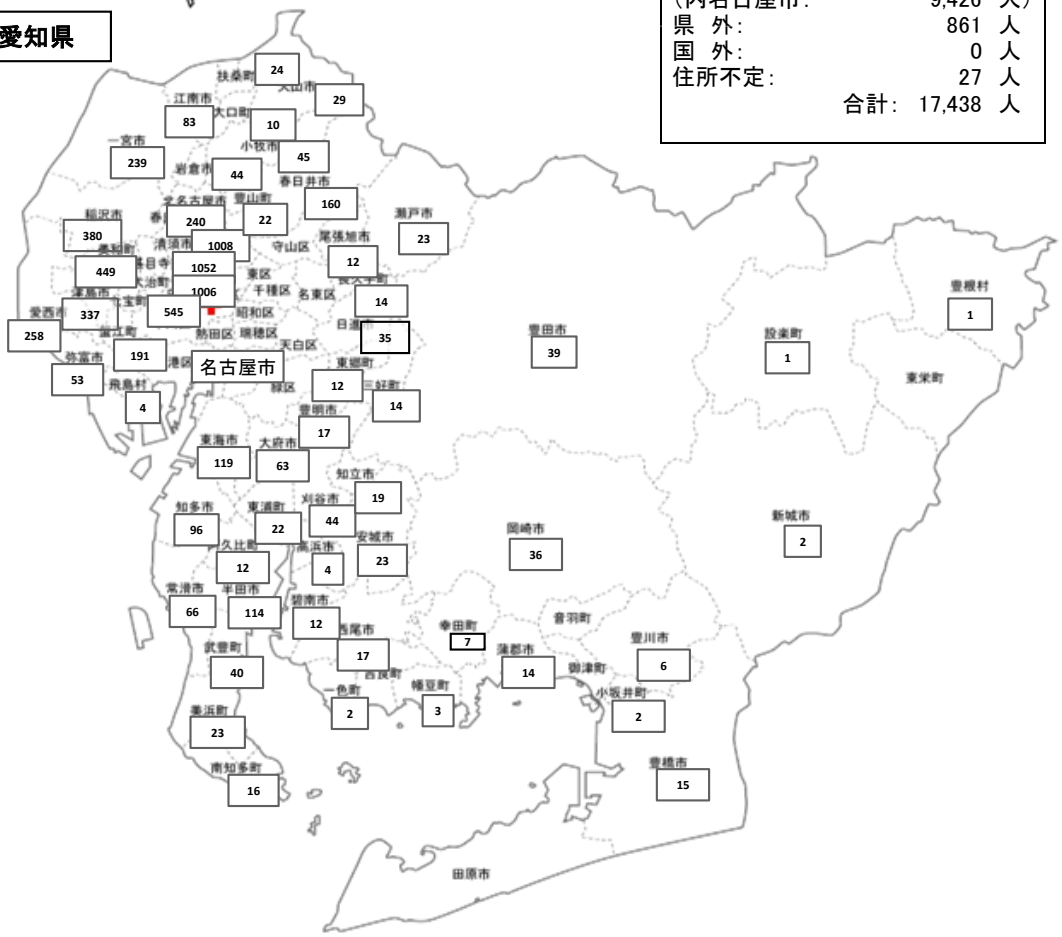
（2）大分類別退院患者数の推移（1999年～2009年）

大 分 類 / 年	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
①感染症	472	531	421	351	376	448	453	457	352	351	379
②新生物	2,659	2,809	2,935	3,404	3,657	3,752	3,823	3,910	4,380	4,557	4,805
③血液	80	109	115	116	120	104	123	126	136	126	127
④内分泌	405	382	418	557	504	448	420	390	289	276	230
⑤精神	33	47	62	55	45	46	33	34	17	18	17
⑥神経系	289	332	346	411	411	468	479	491	479	467	387
⑦眼および附属器	283	281	323	316	307	309	370	403	446	428	460
⑧耳・乳様突起	103	127	160	171	183	167	190	215	215	194	154
⑨循環器系	1,788	1,888	2,234	2,332	2,424	2,480	2,623	2,487	2,491	2,493	2,465
⑩呼吸器系	1,025	1,022	1,179	1,301	1,440	1,335	1,578	1,415	1,421	1,343	1,295
⑪消化器系	1,421	1,542	1,448	1,580	1,505	1,407	1,526	1,598	1,647	1,698	1,617
⑫皮膚・皮下組織	119	120	129	115	164	148	170	140	142	158	134
⑬筋骨格系	387	368	342	409	425	423	406	492	506	516	476
⑭尿路性器系	689	682	663	670	666	665	733	712	937	1,011	983
⑮妊娠・分娩・産褥	1,287	1,343	1,309	1,203	1,349	1,354	1,409	1,533	1,632	1,524	1,734
⑯周産期	500	505	524	539	539	573	567	603	672	625	589
⑰先天異常	271	257	236	255	281	273	229	266	322	307	241
⑱症状・診断不明確	310	270	292	335	299	363	343	271	224	143	101
⑲損傷・中毒	676	759	896	1,013	999	932	865	853	962	914	860
⑳補助分類	231	236	247	436	605	590	633	626	516	430	384
合　計	13,028	13,610	14,279	15,569	16,299	16,285	16,973	17,022	17,786	17,579	17,438

(3)住所別退院患者数

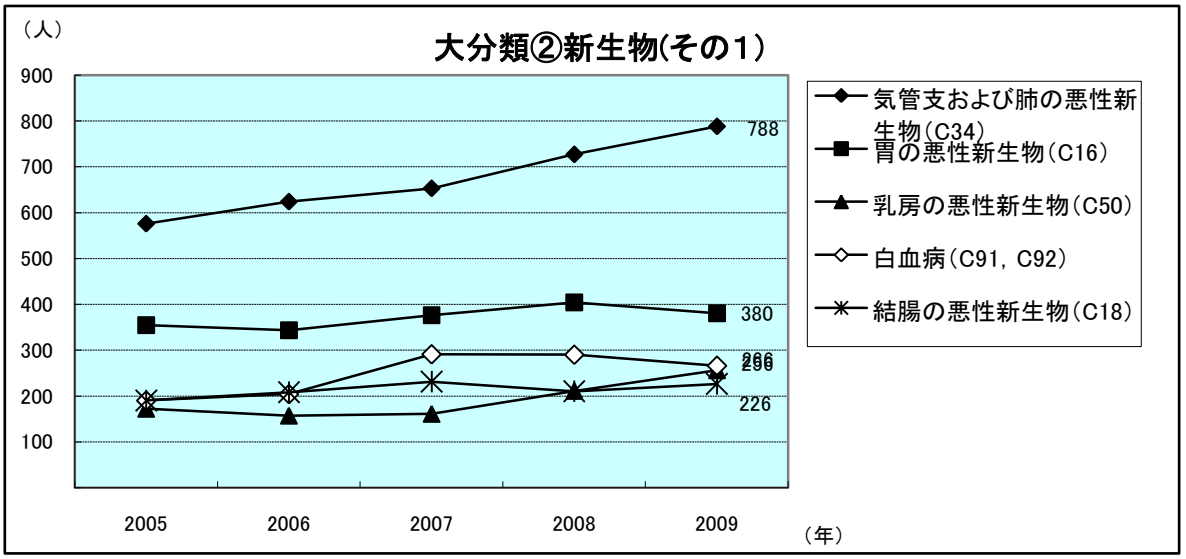
名古屋市

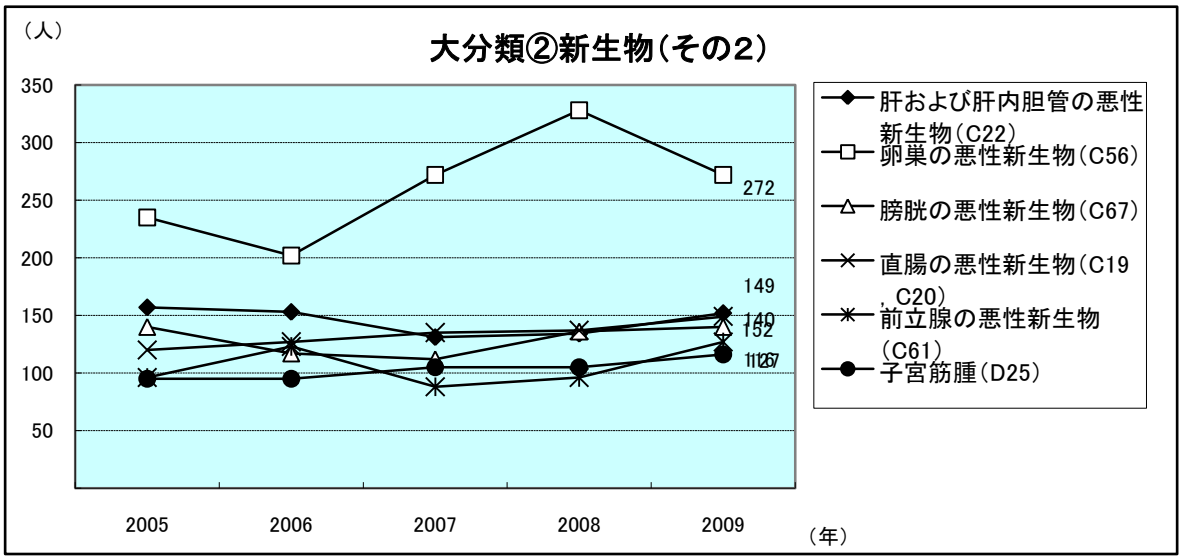
愛知県

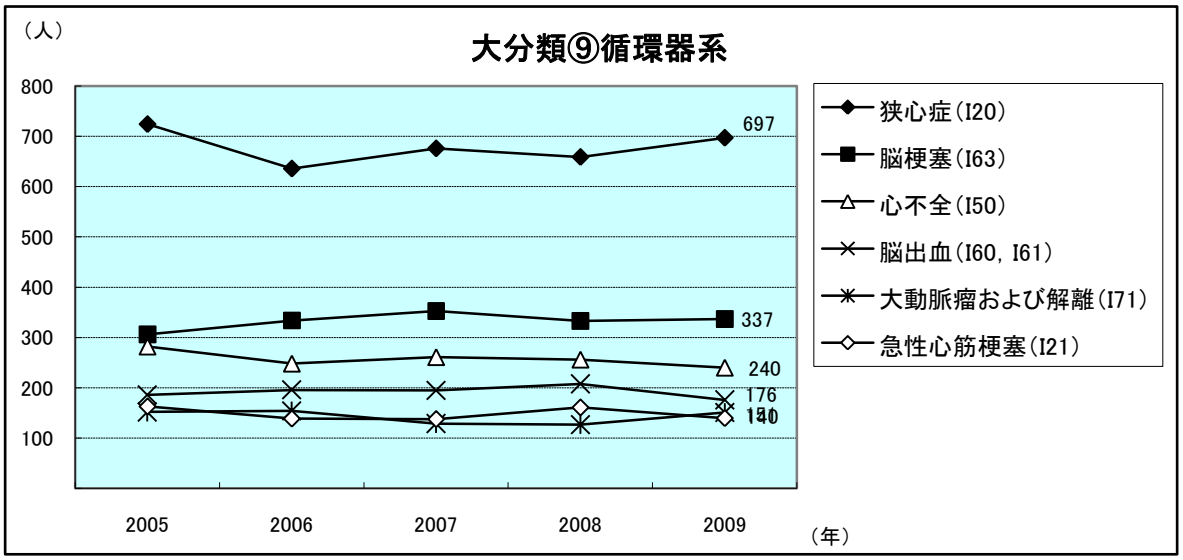


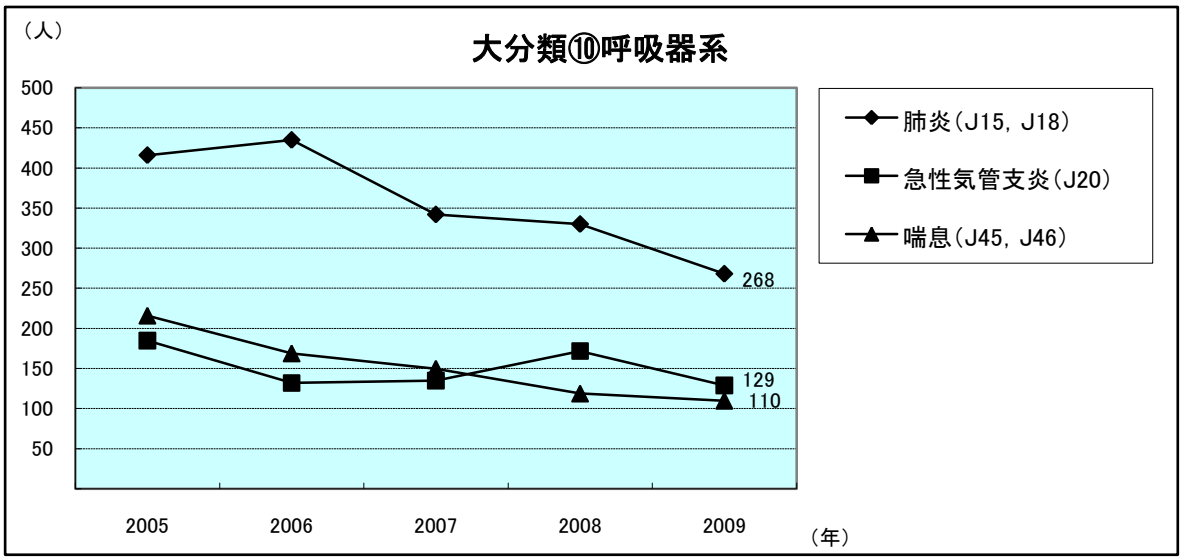
愛知県:	16,550	人
(内名古屋市:	9,426	人)
県　外:	861	人
国　外:	0	人
住所不定:	27	人
合計:	17,438	人

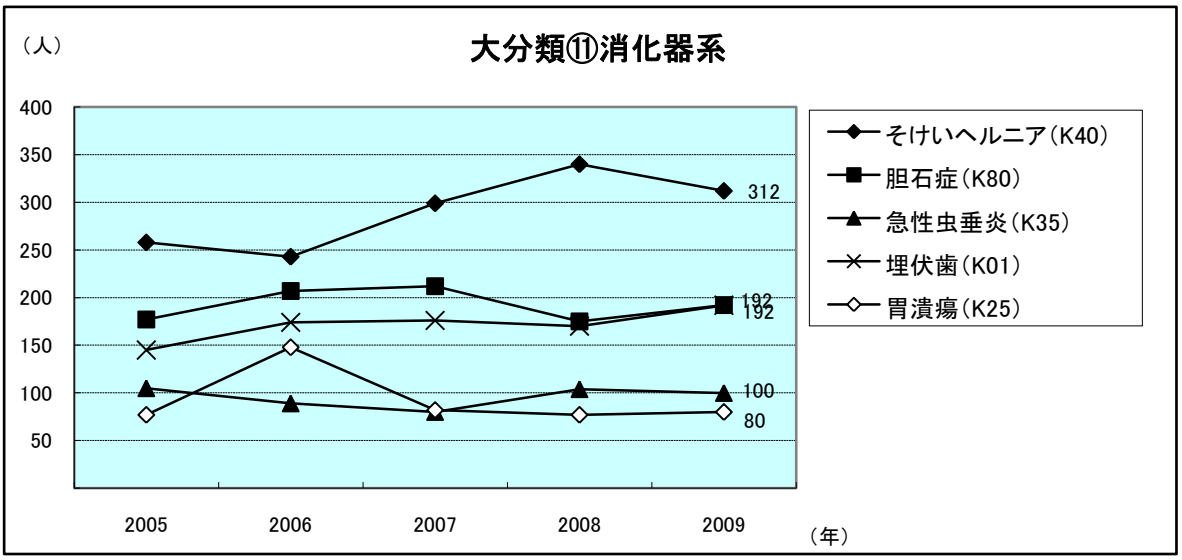
（４）主要疾患別退院患者数の推移（2005年～2009年）

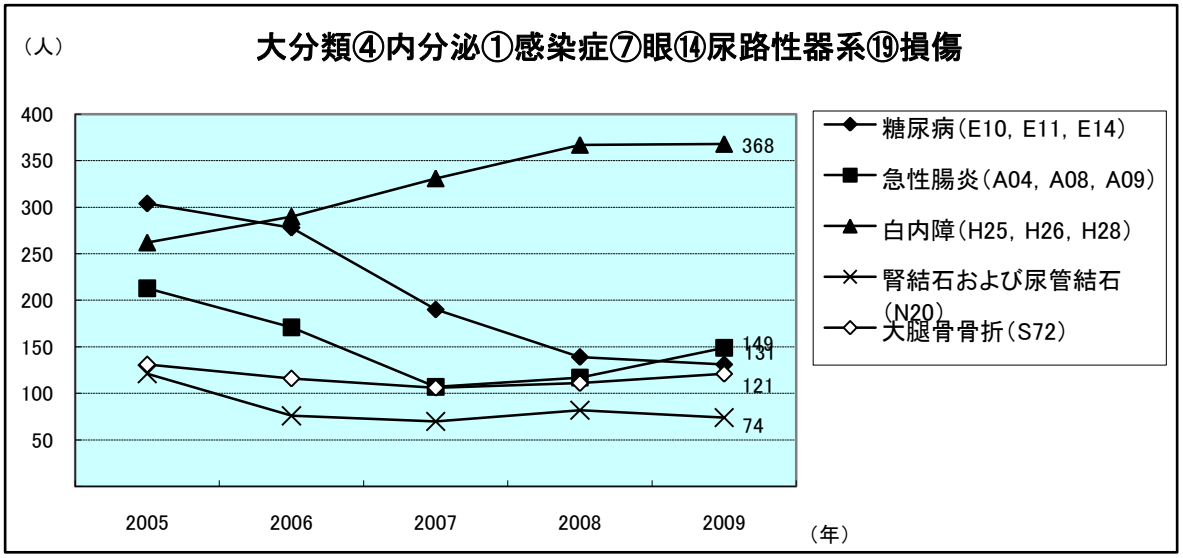







（人）
大分類⑩呼吸器系
500
450
400
350
300
250
200
150
100
50
2005
2006
2007
2008
2009
（年）
268
129
110
肺炎（J15，J18）
急性気管支炎（J20）
喘息（J45，J46）


（人）
大分類⑪消化器系
400
350
300
250
200
150
100
50
2005
2006
2007
2008
2009
（年）
312
192
192
100
80
そけいヘルニア（K40）
胆石症（K80）
急性虫垂炎（K35）
埋伏歯（K01）
胃潰瘍（K25）


（人）
大分類④内分泌①感染症⑦眼⑭尿路性器系⑲損傷
400
350
300
250
200
150
100
50
2005
2006
2007
2008
2009
（年）
368
149
131
121
74
糖尿病（E10，E11，E14）
急性腸炎（A04，A08，A09）
白内障（H25，H26，H28）
腎結石および尿管結石（N20）
大腿骨骨折（S72）

（5）診療科別上位疾患別科別退院患者数及び平均在院日数

（上段：患者数、下段：平均在院日数）

診療科	1病名		2 病名		3 病名		4 病名		5 病名	
総合診療科	T50 利尿薬，その他および詳細不明の薬物，薬剤および	2 2.0	A41 その他の敗血症	2 13.5	G62 その他の多発(性)ニューロパチ＜シ＞ー	1 75.0	G93 脳のその他の障害	1 55.0	N04 ネフローゼ症候群	1 38.0
内 科	C55 子宮の悪性新生物，部位不明	4 10.3	C02 その他および部位不明の舌の悪性新生物	3 66.0	T50 利尿薬，その他および詳細不明の薬物，薬剤および	2 1.5	C18 結腸の悪性新生物	1 61.0	C03 歯肉の悪性新生物	1 59.0
呼吸器内科	C34 気管支および肺の悪性新生物	543 23.4	J18 肺炎，病原体不詳	63 20.4	J15 細菌性肺炎，他に分類されないもの	45 20.8	J84 その他の間質性肺疾患	41 19.7	J45 喘息	29 13.3
循環器内科	I20 狭心症	570 3.2	I50 心不全	196 21.7	I21 急性心筋梗塞	131 16.3	I25 慢性虚血性心疾患	74 3.8	T82 心臓および血管のプロステーシス，挿入物および移	50 7.1
消化器内科	D12 結腸，直腸，肛門および肛門管の良性新生物	212 2.6	C16 胃の悪性新生物	154 20.1	C22 肝および肝内胆管の悪性新生物	126 13.2	K80 胆石症	91 11.1	C25 膵の悪性新生物	79 17.7
神経内科	I63 脳梗塞	321 28.0	I61 脳内出血	112 32.5	I69 脳血管疾患の続発・後遺症	35 31.4	G20 パーキンソン＜Parkinson＞病	32 31.3	G40 てんかん	23 18.8
血液内科	C92 骨髄性白血病	132 48.7	C90 多発性骨髄腫および悪性形質細胞腫瘍	75 30.7	C83 びまん性非ホジキン＜non－Hodgkin＞リンパ腫	73 37.2	C91 リンパ性白血病	70 42.5	D46 骨髄異形成症候群	53 29.5
内分泌内科	E11 インスリン非依存性糖尿病＜NIDDM＞	72 14.6	E10 インスリン依存性糖尿病＜IDDM＞	14 12.4	O24 妊娠中の糖尿病	7 7.9	I46 心停止	4 8.5	E87 その他の体液，電解質および酸塩基平衡障害	4 7.3
腎臓内科	N18 慢性腎不全	69 28.0	N02 反復性および持続性血尿	45 5.9	N04 ネフローゼ症候群	20 45.3	N10 急性尿細管間質性腎炎	19 15.7	I12 高血圧性腎疾患	12 12.7
一般消化器外科	C16 胃の悪性新生物	222 20.6	K40 そけい＜鼡径＞ヘルニア	169 2.9	C18 結腸の悪性新生物	160 21.3	K80 胆石症	98 9.1	K91 消化器系の処置後障害，他に分類されないもの	95 11.3
血管外科	I83 下肢の静脈瘤	65 2.0	I71 大動脈瘤および解離	50 11.1	I72 その他の動脈瘤	8 4.9	I70 アテローム＜じゅく＜粥＞状＞硬化(症)	7 20.3	I74 動脈塞栓症および血栓症	7 16.0
乳腺・内分泌外科	C50 乳房の悪性新生物	253 11.5	C73 甲状腺の悪性新生物	29 8.8	E21 副甲状腺＜上皮小体＞機能亢進症およびその他の	5 8.0	D70 無顆粒球症	5 7.0	D35 その他および部位不明の内分泌腺の良性新生物	3 9.3
呼吸器外科	C34 気管支および肺の悪性新生物	240 15.7	J93 気胸	37 15.3	C78 呼吸器および消化器の続発性悪性新生物	21 11.5	S27 その他および詳細不明の胸腔内臓器の損傷	11 13.7	D38 中耳，呼吸器および胸腔内臓器の性状不詳または	9 12.4
小児外科	K40 そけい＜鼡径＞ヘルニア	136 2.2	Q53 停留精巣＜睾丸＞	26 2.8	K35 急性虫垂炎	16 5.8	K42 臍ヘルニア	12 2.9	K56 麻痺性イレウスおよび腸閉塞，ヘルニアを伴わないも	3 6.3
心臓血管外科	I20 狭心症	124 18.5	I71 大動脈瘤および解離	74 29.1	I35 非リウマチ性大動脈弁障害	43 26.2	I08 連合弁膜症	28 22.0	I34 非リウマチ性僧帽弁障害	25 20.1
産婦人科	O70 分娩における会陰裂傷＜laceration＞	620 7.3	C56 卵巣の悪性新生物	269 16.0	C54 子宮体部の悪性新生物	136 13.4	C53 子宮頚(部)の悪性新生物	123 16.4	D25 子宮平滑筋腫	113 8.7
小児科	P07 妊娠期間短縮および低出産体重に関連する障害，他	333 33.8	J20 急性気管支炎	123 6.0	J10 インフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ	88 5.2	J18 肺炎，病原体不詳	86 6.1	C91 リンパ性白血病	53 46.7
整形外科	S72 大腿骨骨折	121 25.3	Z47 その他の整形外科的経過観察＜フォローアップ＞ケ	109 3.5	S52 前腕の骨折	70 4.4	M17 膝関節症[膝の関節症]	67 21.2	M48 その他の脊椎障害	66 12.0
脳神経外科	S06 頭蓋内損傷	97 18.9	I60 くも膜下出血	37 42.0	I67 その他の脳血管疾患	31 11.4	I61 脳内出血	22 45.0	C71 脳の悪性新生物	13 50.1
泌尿器科	C67 膀胱の悪性新生物	127 15.2	C61 前立腺の悪性新生物	124 11.4	N20 腎結石および尿管結石	64 3.2	N40 前立腺肥大(症)	44 6.9	Z03 疾病および病態の疑いに対する医学的観察および	44 2.7
女性泌尿器科	N81 女性性器脱	225 6.3	N39 尿路系のその他の障害	93 3.1	N99 尿路性器系の処置後障害，他に分類されないもの	52 6.7	C67 膀胱の悪性新生物	13 10.4	N20 腎結石および尿管結石	10 3.1
耳鼻咽喉科	J35 扁桃およびアデノイドの慢性疾患	86 8.4	G47 睡眠障害	51 2.1	J32 慢性副鼻腔炎	47 7.9	C32 喉頭の悪性新生物	44 18.6	H66 化膿性および詳細不明の中耳炎	42 7.5
眼科	H25 老人性白内障	367 3.0	E11 インスリン非依存性糖尿病＜NIDDM＞	25 8.3	H40 緑内障	22 6.1	H02 眼瞼のその他の障害	14 2.0	H50 その他の斜視	13 2.7
皮膚科	B02 帯状疱疹[帯状ヘルペス]	13 8.8	L51 多形紅斑	7 12.4	C44 皮膚のその他の悪性新生物	7 12.1	L03 蜂巣炎	6 10.5	D17 良性脂肪腫性新生物(脂肪腫を含む)	4 10.0
形成外科	D17 良性脂肪腫性新生物(脂肪腫を含む)	15 5.4	L72 皮膚および皮下組織の毛包のう＜嚢＞胞	12 6.5	H02 眼瞼のその他の障害	10 4.1	E11 インスリン非依存性糖尿病＜NIDDM＞	7 20.1	C44 皮膚のその他の悪性新生物	7 10.6
歯科口腔外科	K01 埋伏歯	185 2.2	K04 歯髄および根尖歯周組織の疾患	40 3.0	C03 歯肉の悪性新生物	39 21.7	S02 頭蓋骨および顔面骨の骨折	29 7.7	K05 歯肉炎および歯周疾患	24 2.4

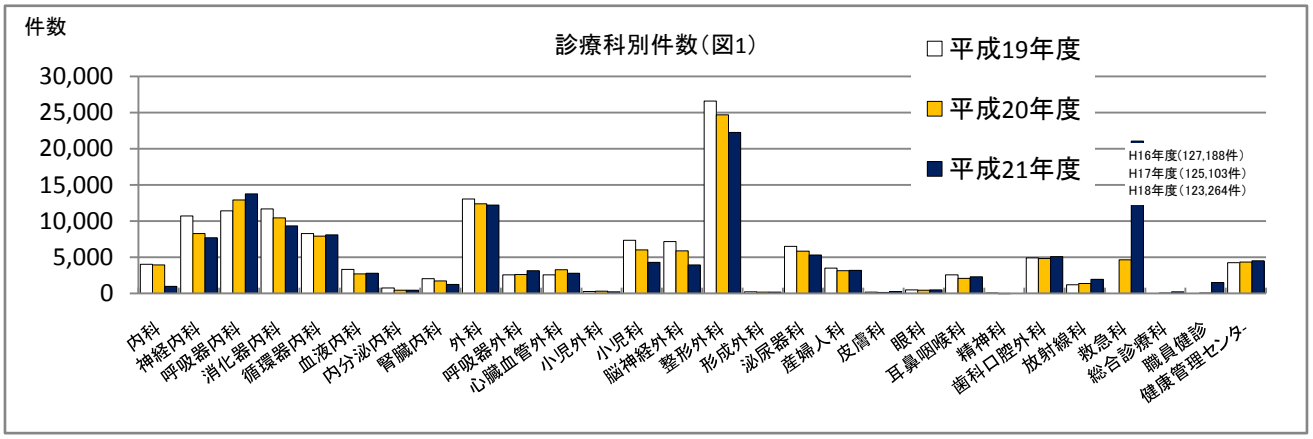
診療科	6 病名		7 病名		8 病名		9 病名		10 病名	
総合診療科	R50 不明熱	1 16.0	A49 部位不明の細菌感染症	1 11.0	B27 伝染性単核症	1 5.0	T78 有害作用，他に分類されないもの	1 2.0	I46 心停止	1 1.0
内 科	C34 気管支および肺の悪性新生物	1 49.0	C25 膵の悪性新生物	1 20.0	C20 直腸の悪性新生物	1 19.0	C19 直腸S状結腸移行部の悪性新生物	1 15.0	C31 副鼻腔の悪性新生物	1 5.0
呼吸器内科	J69 固形物および液状物による肺臓炎	27 27.4	J96 呼吸不全，他に分類されないもの	26 19.8	J93 気胸	18 15.7	J46 喘息発作重積状態	18 9.1	J43 肺気腫	17 24.7
循環器内科	I48 心房細動および粗動	42 3.5	I49 その他の不整脈	28 13.2	I44 房室ブロックおよび左脚ブロック	27 12.5	I71 大動脈瘤および解離	27 10.0	I47 発作性頻拍（症）	25 11.6
消化器内科	K25 胃潰瘍	76 11.9	C18 結腸の悪性新生物	64 8.3	C15 食道の悪性新生物	52 24.0	K92 消化器系のその他の疾患	37 9.0	B18 慢性ウイルス肝炎	30 10.9
神経内科	G12 脊髄性筋萎縮症および関連症候群	21 38.7	G45 一過性脳虚血発作および関連症候群	21 7.4	G23 基底核のその他の変性疾患	16 34.4	G35 多発性硬化症	14 31.6	G03 その他および詳細不明の原因による髄膜炎	14 14.4
血液内科	C85 非ホジキン＜non－Hodgkin＞リンパ腫のその他およ	33 31.2	Z52 臓器および組織の提供者＜ドナー＞	25 4.4	C82 ろ＜濾＞胞性［結節性］非ホジキン＜non－Hodgki	21 28.9	D69 紫斑病およびその他の出血性病態	18 20.1	D61 その他の無形成性貧血	14 52.8
内分泌内科	C80 部位の明示されない悪性新生物	3 38.3	A41 その他の敗血症	3 10.7	E16 その他の膵内分泌障害	3 6.7	J15 細菌性肺炎，他に分類されないもの	2 32.5	N12 尿細管間質性腎炎，急性または慢性と明示されないも	2 12.5
腎臓内科	I50 心不全	10 35.9	A41 その他の敗血症	10 25.8	N17 急性腎不全	9 13.3	E11 インスリン非依存性糖尿病＜NIDDM＞	8 11.9	N01 急速進行性腎炎症候群	6 51.0
一般消化器外科	C20 直腸の悪性新生物	92 21.0	C15 食道の悪性新生物	84 17.6	K35 急性虫垂炎	78 10.7	C19 直腸S状結腸移行部の悪性新生物	30 20.4	C78 呼吸器および消化器の続発性悪性新生物	23 17.0
血管外科	I73 その他の末梢血管疾患	2 10.5	K91 消化器系の処置後障害，他に分類されないもの	1 40.0	I80 静脈炎および血栓（性）静脈炎	1 16.0	D68 その他の凝固障害	1 9.0	E11 インスリン非依存性糖尿病＜NIDDM＞	1 9.0
乳腺・内分泌外科	E04 その他の非中毒性甲状腺腫	3 8.0	D24 乳房の良性新生物	3 2.3	C78 呼吸器および消化器の続発性悪性新生物	2 12.5	C79 その他の部位の続発性悪性新生物	1 17.0	C77 リンパ節の続発性および部位不明の悪性新生物	1 8.0
呼吸器外科	T81 処置の合併症，他に分類されないもの	4 9.5	C79 その他の部位の続発性悪性新生物	3 25.0	C37 胸腺の悪性新生物	3 11.0	C45 中皮腫	3 7.7	D15 その他および部位不明の胸腔内臓器の良性新生物	3 7.3
小児外科	N47 過長包皮，包茎およびかん＜嵌＞頓包茎	3 3.0	Q18 顔面および頚部のその他の先天奇形	1 5.0	S36 腹腔内臓器の損傷	1 4.0	N43 精巣＜睾丸＞水瘤および精液瘤	1 2.0	N44 精巣＜睾丸＞捻転	1 2.0
心臓血管外科	I33 急性および亜急性心内膜炎	11 34.3	I21 急性心筋梗塞	9 43.6	T81 処置の合併症，他に分類されないもの	8 52.0	I50 心不全	8 27.6	I25 慢性虚血性心疾患	7 41.3
産婦人科	O34 既知の母体骨盤臓器の異常またはその疑いのため	110 10.1	O47 偽陣痛	108 17.3	O32 既知の胎位異常またはその疑いのための母体ケア	99 10.3	O60 早産	81 23.4	Z36 分娩前スクリーニング	80 1.0
小児科	A09 感染症と推定される下痢および胃腸炎	52 4.8	J02 急性咽頭炎	51 4.9	P22 新生児の呼吸窮＜促＞迫	47 10.9	J45 喘息	47 7.0	P28 周産期に発生したその他の呼吸器病態	43 8.0
整形外科	M16 股関節症［股関節部の関節症］	64 20.5	S32 腰椎および骨盤の骨折	45 21.9	M47 脊椎症	42 11.6	G56 上肢の単ニューロパチ＜シ＞ー	40 3.0	S42 肩および上腕の骨折	38 7.5
脳神経外科	I63 脳梗塞	11 27.0	C79 その他の部位の続発性悪性新生物	9 28.7	D32 髄膜の良性新生物	7 25.3	G40 てんかん	7 11.3	S02 頭蓋骨および顔面骨の骨折	5 5.6
泌尿器科	N13 閉塞性尿路疾患および逆流性尿路疾患	42 5.9	N10 急性尿細管間質性腎炎	38 9.6	C64 腎盂を除く腎の悪性新生物	30 23.1	C65 腎盂の悪性新生物	10 27.9	N21 下部尿路結石	7 7.6
女性泌尿器科	D25 子宮平滑筋腫	3 9.3	A41 その他の敗血症	2 17.0	D27 卵巣の良性新生物	2 10.5	N10 急性尿細管間質性腎炎	2 9.5	N34 尿道炎および尿道症候群	2 3.5
耳鼻咽喉科	H71 中耳真珠腫（症）	40 13.7	H65 非化膿性中耳炎	31 4.7	J38 声帯および喉頭の疾患，他に分類されないもの	22 8.0	C13 下咽頭の悪性新生物	21 33.4	D11 大唾液腺の良性新生物	21 11.6
眼科	H35 その他の網膜障害	9 9.7	H33 網膜剥離および裂孔	3 11.7	H46 視神経炎	2 13.0	H26 その他の白内障	2 9.0	H20 虹彩毛様体炎	2 7.0
皮膚科	D04 皮膚の上皮内癌	3 14.0	L27 摂取物質による皮膚炎	3 11.7	M72 線維芽細胞性障害	2 45.5	L02 皮膚膿瘍，せつ＜フルンケル＞および よう＜カル	2 40.5	L10 天疱瘡	2 27.5
形成外科	L91 皮膚の肥厚性障害	7 3.6	L90 皮膚の萎縮性障害	6 10.7	L98 皮膚および皮下組織のその他の障害，他に分類され	5 14.4	D22 メラニン細胞性母斑の良性新生物	5 3.4	Q17 耳のその他の先天奇形	4 11.0
歯科口腔外科	C02 その他および部位不明の舌の悪性新生物	23 28.6	C04 口腔底の悪性新生物	15 30.3	C06 その他および部位不明の口腔の悪性新生物	10 28.8	L03 蜂巣炎	10 5.6	K09 口腔部のう＜嚢＞胞，他に分類されないもの	9 4.8

5. 放射線部

平成21年1月より西棟へ移り、電子カルテ・PACSの運用が始まりフィルムレスになりました。
放射線科部の業務として他院からの画像取込み、他院への画像提出が増えました。
平成21年3月に3台目のMR(1．5T)を導入しました。平成19年度よりMRIによる脳ドックを行っていますが当初週1名だったが、現在は週6名を検査しています。

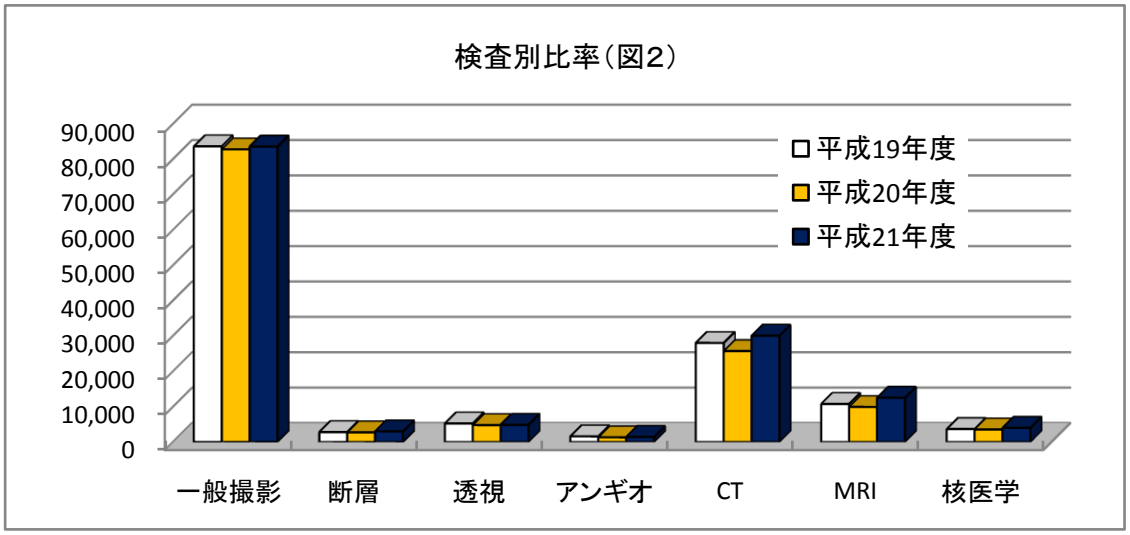
(1) 平成21年度診療科別被検者数(外来＋入院)

検査種	一般撮影			透視撮影			オルソ／断層撮影			血管／心カテ			CT		
科名／年度	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21
内科	2,258	2,150	596	1	5	4	4	1	2	3	0	0	1,547	1,486	331
神経内科	2,878	2,098	1,989	5	6	10	0	0	0	14	6	0	3,646	2,850	2,176
呼吸器内科	8,360	9,596	9,747	183	190	33	1	1	1	0	3	1	2,252	2,431	3,083
消化器内科	5,202	4,892	3,342	1,118	1,021	1,106	0	0	0	21	40	79	4,618	3,831	3,895
循環器内科	5,367	5,258	5,138	3	3	2	0	0	0	1,248	1,047	1,111	1,363	1,301	1,435
血液内科	1,432	1,235	1,242	123	119	130	3	3	13	0	0	0	1,229	906	991
内分泌内科	373	254	154	5	1	0	0	0	0	0	0	0	211	126	147
腎臓内科	1,417	1,147	811	3	5	10	0	0	0	1	3	21	526	483	365
外科	8,839	8,392	7,444	957	816	739	1	0	0	22	11	0	2,349	2,220	2,756
呼吸器外科	1,478	2,082	2,375	24	0	1	0	1	0	1	0	0	842	452	574
心臓血管外科	1,704	2,394	2,047	6	11	2	0	0	0	8	12	1	802	812	706
小児外科	262	292	220	9	4	3	0	0	0	0	0	0	8	7	2
小児科	5,601	4,674	3,102	84	85	48	20	10	16	110	73	37	774	504	341
脳神経外科	2,541	1,847	477	1	1	1	16	3	0	145	112	70	3,051	2,509	1,886
整形外科	23,083	21,296	18,716	406	346	315	0	1	0	2	5	0	1,074	1,140	1,104
形成外科	171	133	114	0	0	0	1	2	4	0	0	0	51	54	61
泌尿器科	4,957	4,469	3,744	274	190	195	0	0	0	0	0	1	999	946	1,112
産婦人科	2,429	2,276	2,233	76	55	48	0	0	0	11	5	4	530	434	482
皮膚科	99	64	174	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68	63	76
眼科	408	387	391	3	0	0	0	0	0	0	0	0	37	37	31
耳鼻咽喉科	1,116	994	896	86	56	62	8	2	12	0	0	0	977	739	845
精神科	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0
歯科口腔外科	1,250	1,330	1,273	112	94	118	2,716	2,665	2,891	0	0	0	670	549	600
放射線科	18	12	10	0	0	0	0	1	1	0	0	0	281	417	928
救急科	－	3,001	13,548	－	8	36	－	20	68	－	19	86	－	1,322	6,022
総合診療科	－	4	53	－	0	0	－	0	1	－	0	0	－	17	93
職員健診	－	63	1,503	－	0	0	－	0	0	－	0	0	－	0	0
健康管理センター	2,343	2,399	2,160	1,753	1,762	1,970	4		1	0	0	0	63	51	4
合計	83,590	82,741	83,499	5,232	4,778	4,833	2,774	2,710	3,010	1,586	1,336	1,411	27,988	25,687	30,046



MRI			核医学（RI）			核医学（PET）			合計			検査種
H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21	科名／年度
204	274	15	5	14	10	0	16	10	4,022	3,946	968	内科
3,752	2,966	3,165	396	358	368	7	7	5	10,698	8,291	7,713	神経内科
250	310	485	66	26	28	316	377	400	11,428	12,934	13,778	呼吸器内科
482	443	699	15	14	15	211	208	194	11,667	10,449	9,330	消化器内科
101	101	98	188	195	292	16	15	16	8,286	7,920	8,092	循環器内科
82	75	106	50	26	7	387	341	280	3,306	2,705	2,769	血液内科
79	44	61	54	30	64	3	1	1	725	456	427	内分泌内科
68	58	33	21	12	4	5	3	0	2,041	1,711	1,244	腎臓内科
115	113	247	28	39	89	749	797	956	13,060	12,388	12,231	外科
91	25	87	6	2	11	105	36	86	2,547	2,598	3,134	呼吸器外科
28	22	17	5	7	1	0	1	1	2,553	3,259	2,775	心臓血管外科
0	0	0	0	0	0	0	0	0	279	303	225	小児外科
633	551	661	98	72	64	25	29	19	7,345	5,998	4,288	小児科
1,417	1,402	1,485	0	27	22	15	6	7	7,186	5,907	3,948	脳神経外科
2,011	1,853	2,075	26	33	21	3	6	6	26,605	24,680	22,237	整形外科
7	8	14	0	0	0	2	2	0	232	199	193	形成外科
90	86	111	160	159	137	3	3	5	6,483	5,853	5,305	泌尿器科
405	339	403	6	6	6	21	22	31	3,478	3,137	3,207	産婦人科
24	7	24	0	0	0	0	1	1	191	135	275	皮膚科
40	34	55	0	0	0	0	0	0	488	458	477	眼科
216	166	322	1	0	0	159	142	183	2,563	2,099	2,320	耳鼻咽喉科
12	0	0	3	0	0	0	0	0	39	2	0	精神科
26	35	39	10	8	2	116	133	164	4,900	4,814	5,087	歯科口腔外科
578	633	738	16	7	3	282	310	260	1,175	1,380	1,940	放射線科
－	263	1,304	－	0	0	－	0	0	－	4,633	21,064	救急科
－	2	45	－	2	15	－	1	4	－	26	211	総合診療科
－	0	0	－	0	0	－	0	0	－	63	1,503	職員健診
19	84	192	0	0	0	69	44	197	4,251	4,340	4,524	健康管理センター
10,730	9,894	12,481	1,154	1,037	1,159	2,494	2,501	2,826	135,548	130,684	139,265	合計

（2）年度別検査項目別件数



	平成19年度	平成20年度	平成21年度
一般撮影	83,590	82,741	83,499
断層	2,774	2,714	3,010
透視	5,232	4,778	4,833
アンギオ	1,586	1,314	1,411
CT	27,988	25,687	30,046
MRI	10,730	9,894	12,481
核医学	3,648	3,541	3,985

（3）年度別放射線治療患者数

	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
放射線治療（患者数）	ライナック治療(RT)	396	363	521
	全身照射(TBI)	28	28	44
	ラルストロン(RALS)	9	4	0
	術中照射(IOR)	3	0	0
	全身リンパ節照射(TLI)	1	4	1

6. 病理部

（1）診療科別生検検体数

診療科名	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
内科	10	36	9
消化器内科	2,386	2,276	2,960
血液内科	1,055	832	974
呼吸器内科	146	224	303
循環器内科	15	7	13
内分泌内科	1	2	0
神経内科	11	9	16
腎臓内科	7	9	5
小児科	291	255	289
一般消化器外科	1,339	1,172	851
小児外科	18	10	28
心臓血管外科	119	131	86
呼吸器外科	269	259	333
乳腺内分泌外科	0	3	187
産婦人科	1,475	1,211	1,261
泌尿器科	351	351	309
女性泌尿器科	0	4	57
脳神経外科	83	89	92
整形外科	151	122	124
皮膚科	684	560	998
形成外科	254	234	220
耳鼻咽喉科	419	401	384
歯科口腔外科	406	434	462
眼科	5	10	12
救急科			8
総合診療科			4
合計	9,495	8,641	9,985

（2）病理特殊検査検体数

特殊検査	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
免疫染色	2, 546	2, 735	2, 829
FISH・遺伝子検査	870	993	1, 944
電顕	0	0	0

（3）コンサルテーション症例数

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
コンサルテーション症例数	406 件	457 件	371 件

（4）院外受託検査

受託検査	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
骨髄病理検査	748 件	718 件	1, 063 件
テレパソロジー検査	30 件	4 件	17 件
遺伝子検査			2 件

（5）細胞診件数（検体種別検体数）

細胞診件数	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
一般細胞診	4, 935 件	4, 529 件	4, 434 件
婦人科細胞診	5, 938 件	5, 007 件	4, 418 件
ドック細胞診	470 件	564 件	678 件
合計	11, 343 件	10, 100 件	9, 530 件

（6）剖検検体数（科別検体数、月別検体数）

科別検体数

診療科名	H19 年度	H20 年度	H21 年度
一般消化器外科	2	0	1
血液内科	13	5	3
呼吸器内科	4	12	8
循環器内科	3	5	4
小児科	3	8	7
消化器内科	3	7	2
神経内科	10	10	9
内科	3	0	0
内分泌内科	0	1	0
産婦人科	5	1	1
心臓血管外科	1	1	0
脳神経外科	0	0	2
腎臓内科	2	1	2
整形外科	0	1	0
合計	49	52	39

月別検体数

	H19 年度	H20 年度	H21 年度
4 月	4 件	7 件	3
5 月	4 件	6 件	7
6 月	3 件	5 件	2
7 月	5 件	7 件	3
8 月	4 件	1 件	3
9 月	2 件	6 件	1
10 月	7 件	3 件	2
11 月	5 件	5 件	5
12 月	3 件	2 件	3
1 月	3 件	4 件	3
2 月	4 件	3 件	4
3 月	5 件	3 件	3
合計	49 件	52 件	39 件

7. 輸血部

(1) 平成21年度検査年報集計

		件 数			点 数		
		当年度	前年度	比(%)	当年度	前年度	比(%)
輸血管理	入院	11,111	10,381	7.0	256,823	244,654	5.0
	外来	12,220	12,350	-1.1	269,960	276,628	-2.4
	他	8	1,280	-99.4	-	-	-
	小計	23,339	24,011	-2.8	526,783	521,282	1.1
分子細胞検査	入院	990	874	13.3	952,200	808,540	17.8
	外来	585	475	23.2	352,070	245,860	43.2
	小計	1,575	1,349	16.8	1,304,270	1,054,400	23.7
合 計	入院	12,101	11,255	7.5	1,209,023	1,053,194	14.8
	外来	12,805	12,825	-0.2	622,030	522,488	19.1
	他	8	1,280	-99.4	-	-	-
総 合 計		24,914	25,360	-1.8	1,831,053	1,575,682	16.2

輸血管理時間外緊急検査(入院、外来)

件数	点数
4,683	64,134

加算・管理料

	件 数			点 数		
	入院	外来	件数合計	当年度	前年度	比(%)
輸血管理料Ⅰ	1,854	407	2,261	452,200	412,000	9.8
不規則抗体検査加算	1,717	416	2,133	426,600	422,400	1.0
輸血に伴う血液型加算	717	33	750	36,000	32,928	9.3
総 合 計	3,571	823	4,394	914,800	867,328	5.5

(2) 平成21年度院内廃棄血集計(輸血管理室)

血液製剤総購入額　386,140,497円の　0.16%
血液製剤総使用数　10,419バックの　0.20%

品　　名	略　号	廃棄数(本)	薬 価	合 計(円)	処理日	廃棄理由
新鮮凍結血漿「日赤」	FFP－5	1	22,961	22,961	4月9日	出庫後患者死亡の為
照射濃厚血小板「日赤」	Ir-PC-15	1	115,893	115,893	4月24日	OPE大至急取り寄せ後未使用
赤血球濃厚液-LR「日赤」	RCC-LR－2	1	16,338	16,338	5月8日	OPE使用分をOPE受付に放置
赤血球濃厚液-LR「日赤」	RCC-LR－2	1	16,338	16,338	5月18日	OPE後病棟で3時間室温放置
赤血球濃厚液-LR「日赤」	RCC-LR－2	1	16,338	16,338	6月3日	患者死亡の為
赤血球濃厚液-LR「日赤」	RCC-LR－2	1	16,338	16,338	6月3日	出庫後未使用の為
赤血球濃厚液-LR「日赤」	Ir-RC-LR-1	2	8,618	17,236	7月21日	OPE後病棟で未使用
赤血球濃厚液-LR「日赤」	RCC-LR－2	1	16,338	16,338	8月25日	OPEで使用されず有効期限切れ
赤血球濃厚液-LR「日赤」	RCC-LR－1	1	8,169	8,169	8月30日	OPE後病棟保管し未使用
赤血球濃厚液-LR「日赤」	RCC-LR－2	1	16,338	16,338	8月31日	OPEで使用されず有効期限切れ
赤血球濃厚液-LR「日赤」	RCC-LR－1	1	8,169	8,169	9月6日	OPEで使用されず有効期限切れ
赤血球濃厚液-LR「日赤」	RCC-LR－2	1	16,338	16,338	9月29日	OPEで使用されず有効期限切れ
新鮮凍結血漿「日赤」	FFP－5	1	22,961	22,961	11月13日	融解中に副作用出現の為
新鮮凍結血漿「日赤」	FFP－5	1	22,961	22,961	11月21日	運搬中に落下破損のため
照射濃厚血小板「日赤」	Ir-PC-10	1	77,270	77,270	1月5日	患者血小板数が予想より増加
濃厚血小板「日赤」	PC-10	1	76,812	76,812	1月27日	患者死亡の為
赤血球濃厚液-LR「日赤」	RCC-LR－2	1	16,338	16,338	2月7日	副作用の為使用中止
赤血球濃厚液-LR「日赤」	RCC-LR－2	1	16,338	16,338	2月10日	出庫後未使用の為
赤血球濃厚液-LR「日赤」	RCC-LR－1	1	8,169	8,169	2月23日	OPEで使用されず有効期限切れ
濃厚血小板HLA「日赤」	PC-HLA－10	1	92,175	92,175	3月23日	検査日直者照射装置内に放置
総 計		21		619,818		

（3）平成21年度造血幹細胞移殖症例数（分子細胞検査室）

造血幹細胞移殖関連

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
細胞保存	35	43	59	58	61	56	52	47	50	51	44	54	610
PBSC保存	2	0	0	2	3	1	4	2	1	2	1	3	21
ABMT保存	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
DLI保存	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
CD34測定	10	5	4	9	20	6	15	11	8	8	10	13	119
PBSC輸注	2	1	0	0	1	2	2	3	1	2	1	1	16
ABMT輸注	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CBSC輸注	1	0	0	1	3	1	1	1	1	1	3	3	16
DLI輸注	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	3
合　計	50	49	63	70	88	66	74	64	63	65	60	76	788

	移 植 症 例 数				保険点数小計
	内科	小児科	合計	保険点数	
血縁者間骨髄移植	11	2	13	47,600	618,800
非血縁者間骨髄移植	20	6	26	47,600	1,237,600
同種末梢血幹細胞移殖	3	0	3	53,000	159,000
自家末梢血幹細胞移殖	11	2	13	30,000	390,000
臍帯血	11	4	15	36,900	553,500
自家骨髄移植	0	0	0	25,000	0
骨髄採取術	24	9	33	16,600	547,800
合　　計	80	23	103		3,506,700

	症例数		保険点数	保険点数小計
ドナーリンパ球輸注	1回目	2	750	1,500
	2回目以降	1	650	650
合　計				2,150

（4）平成21年度成分採血室稼動状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
自己血採取	1	2	4	4	5	5	5	2	2	10	4	3	47
末梢血幹細胞採取	2	0	0	2	3	1	4	2	1	2	1	3	21
骨髄濃縮	1	1	0	0	0	0	1	1	2	1	2	3	12
リンパ球採取	0	0	2	0	0	0	0	0	1	1	1	1	6
バンク確認検査	3	1	5	5	2	1	3	1	1	7	4	4	37
最終同意	0	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	2	8
術前検査	3	2	4	3	3	3	3	5	5	2	3	3	39
術後検診	2	1	0	5	1	2	1	4	2	2	1	3	24
骨髄引き渡し	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	5
HLA検査	0	0	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	4
合　計	13	8	17	22	14	13	18	16	16	26	18	22	203

8. 薬剤部

（1） 平成 21 年度外来患者待ち時間実態調査

時間帯	平均待ち時間（分）
10:00	23.5
11:00	26.3
12:00	29.3
13:00	27.3
14:00	21.3
15:00	21.6
16:00	18.5

（2） 平成 21 年度入院・外来処方箋枚数

	入院	外来	合計総枚数
月平均枚数	10,967	17,207	28,174
年間合計枚数	131,606	206,483	338,089

（3） 平成 21 年度入院薬剤管理指導料算定数

	薬剤管理指導料算定数
月平均人数（名）	462.9
月平均件数（件）	740.8
年間合計人数（名）	5,555
年間合計件数（件）	8,889

9. 検査部

（1）平成21年度検査種別稼動集計

臨床検査		件数			点数		
		当年度	前年度	比(%)	当年度	前年度	比(%)
血液	入院	128,161	128,575	-0.3	3,831,530	3,731,893	2.7
	外来	284,163	234,713	21.1	5,457,268	4,589,837	18.9
	その他	6,881	6,048	13.8	－	－	－
	小計	419,205	369,336	13.5	9,288,798	8,321,730	11.6
一般	入院	20,180	20,134	0.2	496,942	471,713	5.3
	外来	64,469	58,747	9.7	1,742,847	1,587,137	9.8
	その他	9,920	8,368	18.5	－	－	－
	小計	94,569	87,249	8.4	2,239,789	2,058,850	8.8
生化学	入院	729,002	680,544	7.1	12,769,489	9,122,969	40.0
	外来	1,364,995	1,263,320	8.0	14,542,312	14,098,941	3.1
	その他	64,431	53,961	19.4	－	－	－
	小計	2,158,428	1,997,825	8.0	27,311,801	23,221,910	17.6
薬物血中濃度	入院	3,436	2,653	29.5	特定薬剤治療管理料として算出		
	外来	1,626	1,292	25.9			
	その他	0	0	－			
	小計	5,062	3,945	28.3			
免疫血清	入院	28,805	25,409	13.4	3,410,442	3,091,900	10.3
	外来	107,166	104,756	2.3	10,241,863	10,607,560	-3.4
	その他	11,477	9,809	17.0	－	－	－
	小計	147,448	139,974	5.3	13,652,305	13,699,460	-0.3
細菌	入院	61,556	62,454	-1.4	3,752,579	3,632,594	3.3
	外来	27,992	22,711	23.3	1,739,315	1,294,896	34.3
	その他	763	818	-6.7	－	－	－
	小計	90,311	85,983	5.0	5,491,894	4,927,490	11.5
時間外	入院	410,668	275,161	49.2	5,468,473	3,649,009	49.9
	外来	294,782	226,369	30.2	4,847,080	3,301,141	46.8
	その他	0	0	－	－	－	－
	小計	705,450	501,530	40.7	10,315,553	6,950,150	48.4

☆その他の内訳（心カテ・ECG、聴力以外のドック検査・職員健診・当院健診等）

生理検査		件数			点数		
		当年度	前年度	比(%)	当年度	前年度	比(%)
脳波	入院	1,054	955	10.4	592,500	494,750	19.8
	外来	1,289	1,213	6.3	963,750	753,000	28.0
	小計	2,343	2,168	8.1	1,556,250	1,247,750	24.7
筋電図	入院	796	987	-19.4	472,050	617,310	-23.5
	外来	1,178	413	185.2	676,250	175,400	285.5
	小計	1,974	1,400	41.0	1,148,300	792,710	44.9
心電図	入院	6,066	7,474	-18.8	1,112,170	1,322,540	-15.9
	外来	20,250	20,342	-0.5	4,294,270	4,436,930	-3.2
	その他	2,031	1,671	21.5	-	-	-
	小計	28,347	29,487	-3.9	5,406,440	5,759,470	-6.1
大血管リハビリ	入院	201	224	-10.3	90,850	112,400	-19.2
	外来	4,865	4,865	0.0	2,956,450	2,982,050	-0.9
	小計	5,066	5,089	-0.5	3,047,300	3,094,450	-1.5
肺機能	入院	1,575	1,532	2.8	138,860	135,635	2.4
	外来	5,394	4,096	31.7	444,960	335,025	32.8
	その他	255	278	-8.3	-	-	-
	小計	7,224	5,906	22.3	583,820	470,660	24.0
超音波	入院	8,712	5,629	54.8	6,233,410	3,809,300	63.6
	外来	12,525	14,071	-11.0	8,275,630	8,071,880	2.5
	その他	2,011	1,557	29.2	-	-	-
	小計	23,248	21,257	9.4	14,509,040	11,881,180	22.1
ドック(ECG・聴力)検査	その他	4,339	3,068	41.4	-	-	-

		件数			点数		
		当年度	前年度	比%	当年度	前年度	比%
総合計	入院	1,400,212	1,211,731	15.6	38,369,295	30,192,013	27.1
	外来	2,190,694	1,956,908	11.9	56,181,995	52,233,797	7.6
	その他	102,108	85,578	19.3	-	-	-
	合計	3,693,014	3,254,217	13.5	94,551,290	82,425,810	14.7

（2）平成21年度判断料

1. 包括前後

保険点数	項目	件数		点数		
		包括前	包括後	包括前	包括後	比(%)
34	尿・糞便検査判断料	15,762	13,082	535,908	444,788	-17.0
125	血液学的判断料	91,387	77,920	11,423,375	9,740,000	-14.7
144	生化学的判断料　Ⅰ	90,127	76,238	12,978,288	10,978,272	-15.4
144	生化学的判断料Ⅱ(RI)	20,458	17,365	2,945,952	2,500,560	-15.1
144	免疫血清学的判断料	61,305	48,911	8,827,920	7,043,184	-20.2
150	微生物学的判断料	13,760	8,431	2,064,000	1,264,650	-38.7
146	病理学的判断料	6,780	6,780	989,880	989,880	0.0
140	呼吸機能学的判断料	2,872	2,433	402,080	340,620	-15.3
140	脳波検査判断料	1,850	1,399	259,000	195,860	-24.4
140	神経・筋検査判断料	385	356	53,900	49,840	-7.5
	合計	304,686	252,915	40,480,303	33,547,654	-17.1

2. 包括後前年比

保険点数	項目	件数		点数		
		当年度	前年度	当年度	前年度	比(%)
34	尿・糞便検査判断料	13,082	14,223	444,788	483,582	-8.0
125	血液学的判断料	77,920	68,991	9,740,000	9,373,875	3.9
144	生化学的判断料　Ⅰ	76,238	72,927	10,978,272	10,501,488	4.5
144	生化学的判断料Ⅱ(RI)	17,365	15,137	2,500,560	2,179,728	14.7
144	免疫血清学的判断料	48,911	43,121	7,043,184	6,209,424	13.4
150	微生物学的判断料	8,431	7,912	1,264,650	1,186,800	6.6
146	病理学的判断料	6,780	7,309	989,880	1,067,114	-7.2
140	呼吸機能学的判断料	2,433	2,048	340,620	286,720	18.8
140	脳波検査判断料	1,399	1,366	195,860	191,240	2.4
140	神経・筋検査判断料	356	288	49,840	40,320	23.6
	合計	252,915	233,322	33,547,654	31,520,291	6.4

（3）平成21年度検査加算・管理料(検査部)

1. 包括前

加算・管理料点数	加算項目	件数		合計	点数		合計
		入院	外来		入院	外来	
200	超音波パルスドプラー加算	1,622	836	2,458	324,400	167,200	491,600
250	脳波睡眠・薬剤負荷加算	296	1,273	1,569	74,000	318,250	392,250
300	検体検査管理加算Ⅲ	18,284		18,284	5,485,200		5,485,200
40	検体検査管理加算Ⅰ		91,463	91,463		3,658,520	3,658,520
20	血液化学入院初回加算	11,337		11,337	226,740		226,740
350	免疫抗体法検査加算	1,333	477	1,810	466,550	166,950	633,500
110	時間外緊急院内検査加算	728	5,606	6,334	80,080	616,660	696,740
5	外来迅速検体検査加算	5,637	267,284	272,921	28,185	1,336,420	1,364,605
9	尿染色標本加算	3,965	11,271	15,236	35,685	101,439	137,124
27	血液特殊染色加算	0	6	6	0	162	162
40	骨髄特殊染色加算	162	54	216	6,480	2,160	8,640
70	嫌気性培養加算	5,577	252	5,829	390,390	17,640	408,030
280	薬剤初回算定加算	228	76	304	63,840	21,280	85,120
470	特定薬剤治療管理料	1,378	984	2,362	647,660	462,480	1,110,140
2740	臓器移植後免疫抑制剤加算	125	0	125	342,500	0	342,500
	総合計	50,672	379,582	430,254	8,171,710	6,869,161	15,040,871

2. 包括後

加算・管理料点数	加算項目	件数		合計	点数		合計
		入院	外来		入院	外来	
200	超音波パルスドプラー加算		836	836		167,200	167,200
250	脳波睡眠・薬剤負荷加算	296	1,273	1,569	74,000	318,250	392,250
300	検体検査管理加算Ⅲ	3,023		3,023	906,900		906,900
40	検体検査管理加算Ⅰ		91,463	91,463		3,658,520	3,658,520
20	血液化学入院初回加算	804		804	16,080		16,080
350	免疫抗体法検査加算	350	477	827	122,500	166,950	289,450
110	時間外緊急院内検査加算	35	4,357	4,392	3,850	479,270	483,120
5	外来迅速検体検査加算	467	267,284	267,751	2,335	1,336,420	1,338,755
9	尿染色標本加算	537	1,793	2,330	4,833	16,137	20,970
27	血液特殊染色加算	0	6	6	0	162	162
40	骨髄特殊染色加算	150	54	204	6,000	2,160	8,160
70	嫌気性培養加算	5,577	252	5,829	390,390	17,640	408,030
280	薬剤初回算定加算	228	76	304	63,840	21,280	85,120
470	特定薬剤治療管理料	859	960	1,819	403,730	451,200	854,930
2740	臓器移植後免疫抑制剤加算	125	0	125	342,500	0	342,500
	総合計	12,451	368,831	381,282	2,336,958	6,635,189	8,972,147

１０．看護部

（１）看護部の理念

赤十字の看護師としておひとりおひとりの患者さんを大切にした看護をめざします

（２）基本方針

１．安全で安楽な看護技術を提供します
２．継続教育を充実させ看護の専門性を追及します
３．地域のみなさまの健康保持増進を支援します
４．他部門と協動し、病院の健全な運営に取り組みます
５．救護活動や赤十字の講習会の普及に取り組みます

（３）平成２１年度看護部目標

Ⅰ．看護職員が定着できる職場づくりを目指す
Ⅱ．他職種と連携し、看護を提供できる

（４）認定看護師の専門分野と人数

平成２１年７月現在

認定看護師	
皮膚・排泄ケア看護認定看護師	伊藤真粧美　福山直美
集中ケア認定看護師	渡辺美佐子　秋江百合子
がん化学療法看護認定看護師	濱嶋なぎさ　天野真由美
新生児集中ケア認定看護師	平岩美緒
緩和ケア認定看護師	山田陽子
救急看護認定看護師	安藤俊子
摂食・嚥下障害看護認定看護師	山本利恵子
感染管理認定看護師	高坂久美子
手術看護認定看護師	加納朋子
がん性疼痛看護認定看護師	前田みゆき

その他	
ＥＴ看護師	園田玲子
認定看護管理者	小森和子　坂之上ひとみ　澄川美智

(5)平成21年度院内研修・講演会記録

実施日			新入職員オリエンテーション期間:4月1～3日(主催:病院)4月6～14日((主催:看護部) 研　修　内　容		参加者数	開催時間	主　催
月	日	曜日	午　前	午　後			
4月	1	水	『辞令交付式』 『院長の言葉』 『連絡事項・資料確認』 『赤十字の組織・個人情報保護法・倫理規定・図書館利用案内について』	『日赤グループ保険について』 『処務規定・就業規則・福利厚生・給与について』 『医療倫理と医療安全』 『医療情報システムの概要』 『薬剤部について』 『地域医療連携について』 『医療社会事業について』	150名	時間内	病院(人事課)
	2	木	『防犯対策について』 『放射線障害防止対策』 『院内感染について』	『ビジネスマナー研修会』 『看護部の役割』 『労働組合について』	150名	時間内	病院(人事課)
	3	金	赤十字のしくみと活動　『場所:中電ホール』		150名	時間内	愛知県支部
	6	月	『辞令交付』 『自己紹介:仲間になろう』 『看護部長:看護職員に望むこと』 『坂之上:看護部の紹介』	『川瀬:新入看護職員教育体制と教育プログラム』 『意識向上:身嗜みとマナー』 『意識向上:白衣・靴の貸与、更衣室の利用』 『写真撮影』	150名	時間内	看護部
	7	火	『澄川:看護倫理』 『園田・真野:業務管理』	『園田・真野:業務管理』 『基準:看護基準・手順』 『ACLS普及:救命救急処置技術』 『看護部:個人記録・提出書類の説明』	150名	時間内	看護部
	8	水	『赤十字健康生活支援:活動、食事、清潔・衣生活援助技術』 『講義:看護を提供するということ』 ＜演習内容＞ ・2人でベッドメーキング	『赤十字健康生活支援:活動、食事、清潔・衣生活援助技術』 ＜演習内容＞ ・臥床患者のシーツ交換・和式寝巻きの着せ方 ・安楽な体位・座位保持・除圧 ・臥床～端座位～車椅子、車椅子の安全点	150名	時間内	看護部
	9	木	『診療補助関連技術・テルモ(株):診療の補助技術① ＜『演習』筋肉注射・輸液ポンプ、シリンジポンプ＞ 『業務管理の見学1－①』 『労務管理』	『太田:情報管理①』 『オリエンテーリング』 『診療補助関連技術・テルモ(株):診療の助技術① ＜『演習』採血・翼状針による点滴静脈注射＞	156名	時間内	看護部
	10	金	『診療補助関連技術・テルモ(株):診療の補助技術② ＜『演習』採血・翼状針による点滴静脈注射＞ 『業務管理の見学1－②』 『労務管理』	『太田:情報管理①』 『オリエンテーリング』 『診療補助関連技術・テルモ(株):診療の助技術② ＜『演習』採血・翼状針による点滴静脈注射＞	150名	時間内	看護部
	13	月	『看護単位での見学・体験2－①』感染防止対策・安全確保の技術・日常生活の援助技術・診療の補助に関連した技術の実際 『記録:情報管理②』 『薬剤師:危険な薬剤の取り扱い＜インシュリン製剤・KCL・麻薬の取り扱い＞ 『上田:輸血の取扱い』	『リスク:安全確保の技術①(確認行為の演習)』 『山田:看護師自治会』	150名	時間内	看護部
	14	火	『看護単位での見学・体験2－①』感染防止対策・安全確保の技術・日常生活の援助技術・診療の補助に関連した技術の実際 『記録:情報管理②』 『医療安全管理者:安全確保の技術』	『看護師長紹介』 『服部:ストレスの兆候と対応』 『新人語り合う会』 『リフレクションとアンケート』	150名	時間内	看護部
	15・16	水・木	『太田・NEC:電子カルテ操作演習』	『太田・NEC:電子カルテ操作演習』	150名	時間内	看護部

月	日	曜日	研　修　内　容	対　象	参加者数	開催時間	主　催
5月	18	月	新人指導者(経験者担当)フォロアップ①	経験者担当新人指導者(レベルⅡ以上)	15名	時間内	レベルⅠ以上教育委員会
	28	木	新人指導者(新人担当)フォロアップ①	新人担当新人指導者(レベルⅡ以上)	22名	時間内	レベルⅠ以上教育委員会
	28	木	研究のつどい	希望者	8名	時間内	研究委員会
	25・29	月・金	プリセプターシップ振り返りの会	プリセプター　(レベルⅡ以上)	84名	時間内	レベルⅠ以上教育委員会
6月	9	月	ICM研修会	インフェクションコントロールマネジャー	40名	時間内	院内感染防止対策委員会
	11	水	当院でできる文献検索	係長	43名	時間外	研究委員会
	29	月	OJTリーダー(新人担当)フォロアップ①	新人担当OJTリーダー(レベルⅢ以上)	22名	時間内	レベルⅠ以上教育委員会
	30	火	OJTリーダー(経験者担当)フォロアップ①	経験者担当OJTリーダー(レベルⅢ以上)	20名	時間内	レベルⅠ以上教育委員会
	23	火	抗癌剤の取扱い	全看護職員員	76名	時間外	化学療法センン
	10・20・24	火・金・火	看護師経験のある職員の語り合う会	看護師経験のある新入職員・中途採用者	25名	時間内	看護部
7月	13・1 7・21	月・金・火	新人語り合う会Ⅰ	新入看護職員	121名	時間内	新人レベル委員会
	14	火	新人指導者(経験者担当)フォロアップ②	経験者担当新人指導者(レベルⅡ以上)	17名	時間内	レベルⅠ以上教育委員会
	15・16	水・木	リーダーシップ研修会	レベルⅢ相当	23名	時間内	レベルⅠ以上教育委員会
	16	木	講演会「事例症例を看護研究に」	全看護職員	60名	時間外	研究委員会
	3	金	新人指導者(新人担当)フォロアップ②	新人担当新人指導者(レベルⅡ以上)	23名	時間内	レベルⅠ以上教育委員会
	29	金	救護員養成研修	レベルⅠ～レベルⅡ以上・未受講者	28名	時間内	防災救護委員会
	24	金	看護部・防災訓練(東棟、外来2・3)	新人～レベルⅡ		時間内	防災救護委員会
	2・6・14・ 27・28	木・月・火・ 月・火	BLS/AED講習会	新人・中途採用者・未受講者	148名	時間内	ICLS普及委員会
	10	金	褥瘡と皮膚疾患の関連について	スキンケアナース	55名	時間外	褥瘡対策チーム
	16	木	研究のつどい	希望者	3名	時間内	研究委員会
8月	2	日	事例検討会のための勉強会	レベルⅡ相当	58名・係長 12名	時間内	レベルⅠ以上教育委員会
	31	月	事例検討会Ⅰ－①	レベルⅡ相当	29名	時間内	レベルⅠ以上教育委員会
	11	月	感染防止技術研修会	レベルⅠ～Ⅱ相当	48名	時間内	診療の補助技術関連委員会
	21	金	耐圧管理とポジショニング	スキンケアナース	44名	時間外	褥瘡対策チーム
9月	1	月	感染防止技術研修会	レベルⅠ～Ⅱ相当	48名	時間内	診療の補助技術関連委員会
	1・2	月・火	フィジカルアセスメント(呼吸編)	レベルⅠ	128名	時間外	診療の補助技術関連委員会
	4	木	インスリン製剤の安全な取扱い	全看護職員	90名	時間外	診療の補助技術関連委員会

月	日	曜日	研 修 内 容	対　象	参加者数	開催時間	主 催
	7	月	事例検討会Ⅰ－②	レベルⅡ相当	29名	時間内	レベルⅠ以上教育委員会
	9	水	事例検討会Ⅱ－①	レベルⅡ相当	24名	時間内	レベルⅠ以上教育委員会
	14	月	事例検討会Ⅱ－②	レベルⅡ相当	24名	時間内	レベルⅠ以上教育委員会
	12	土	人工呼吸器の管理方法	レベルⅡ～Ⅲ相当	80名	時間外	呼吸管理チーム
	17	木	耐圧管理とポジショニング	新人～レベルⅡ	67名	時間外	褥瘡対策チーム
	25	金	看護部・防災訓練（西棟10～12階）	新人～レベルⅡ		時間内	防災救護委員会
	28	月	日常生活援助技術研修会（新人看護師に伝える技術）	レベルⅡ相当	24名	時間内	日常生活援助技術委員会
	30	水	救護員養成研修	レベルⅠ～レベルⅡ以上・未受講者	22名	時間内	防災救護委員会
10月	1	木	OJTリーダー（経験者担当）フォロアップ②	経験者担当OJTリーダー(レベルⅢ以上)	17名	時間内	レベルⅠ以上教育委員会
	5	火	BLS/AED講習会（指導者養成）	指導者	27名	時間内	BIS委員会
	6・23	火・金	危険な薬剤の取り扱い（静脈注射教育STEPⅢ）	全看護職員・未受講者	93名	時間外	診療の補助技術関連委員会
	23	金	救護員養成研修（西棟7～9階、手術室）	レベルⅠ～レベルⅡ以上・未受講者	28名	時間内	防災救護委員会
	29・30	木・金	日本赤十字救急法	レベルⅠ～レベルⅡ以上・未受講者	20名	時間内	防災救護委員会
	2	金	褥瘡と栄養について	新人～レベルⅡ	61名	時間外	褥瘡対策チーム
	8	木	研究のつどい	希望者	8名	時間内	研究委員会
	29・30	木・金	看護助手研修会	看護助手	83名	時間内	看護部
	13日	火	看護事務研修会	看護事務	23名	時間内	看護部
11月	2	月	日本赤十字救急法	レベルⅠ～レベルⅡ以上・未受講者	20名	時間内	防災救護委員会
	6	金	新人指導者（新人担当）フォロアップ③	新人担当新人指導者(レベルⅡ以上)	22名	時間内	レベルⅠ以上教育委員会
	27	金	OJTリーダー（新人担当）フォロアップ②	新人担当OJTリーダー(レベルⅢ以上)	22名	時間内	レベルⅠ以上教育委員会
	27	金	薬剤のミキシングについて	新人～レベルⅡ相当	90名	時間外	薬剤部
	9・13・20	月・月・金	新人語り合う会Ⅱ	新人	114名	時間内	新人レベル教育委員会
	18	水	褥瘡処置・被覆材・ラップ療法について	レベルⅢ相当	43名	時間外	褥瘡対策チーム
	26	木	研究のつどい	希望者	2名	時間内	研究委員会
12月	2・5	火・金	薬剤のミキシングについて	新人～レベルⅡ相当	200名	時間外	薬剤部
1月	13	水	KYT取り組み発表会	リスクマネジャー	26名（発表者）	時間内	リスクマネジメント委員会
	14	木	酸素療法	新人～レベルⅠ相当	85名	時間外	呼吸管理チーム
	15	金	人工呼吸器の管理方法	レベルⅡ～Ⅲ相当	85名	時間外	呼吸管理チーム
	19	火	OJTリーダー（新人担当）フォロアップ③	新人担当OJTリーダー(レベルⅢ以上)	22名	時間内	レベルⅠ以上教育委員会
	21	木	研究のつどい	希望者	1名	時間内	研究委員会
	22	金	静脈注射教育　STEPⅣ	レベルⅢ以上	19名	時間外	診療の補助技術関連委員会
	29	金	看護倫理研修会	レベルⅠ～Ⅱ相当	44名	時間内	看護倫理員会
	25	月	褥瘡ケア選択基準・使用する薬剤について	レベルⅡ相当	48名	時間外	褥瘡対策チーム
	27	水	看護部・防災訓練（救命センター西棟5A～6階）	新人～レベルⅡ		時間内	防災救護委員会
2月	5・12	金・金	フィジカルアセスメント（循環器編）心電図の基礎	新人～レベルⅠ相当	109名	時間外	診療の補助技術関連委員会
	4	木	静脈注射教育　STEPⅤ	レベルⅢ以上でSTEPⅣまで受講した者	19名	時間外	診療の補助技術関連委員会
	25	木	静脈注射教育　STEPⅥ	レベルⅢ以上でSTEPⅤまで受講した者	19名	時間外	診療の補助技術関連委員会
	19	金	褥瘡保有しながら在宅へ・在宅に向けての社会的資源	レベルⅡ以上	39名	時間外	褥瘡対策チーム
3月	2	火	平成22年度OJTリーダー養成研修会	平成22年度OJTリーダー担当予定者	35名	時間内	レベルⅠ以上教育委員会
	11・16	木・火	平成22年度プリセプターシップ研修会	平成22年度プリセプター担当予定者	67名	時間内	レベルⅠ以上教育委員会
	12	金	平成21年度リーダーシップフォロアップ研修会	レベルⅢ相当以上・リーダシップ研修会受講者	22名（発表者）	時間内	レベルⅠ以上教育委員会
	26	金	平成21年度新人指導者研修会	平成21年度新人指導者担当予定者	48名	時間内	レベルⅠ以上教育委員会
	9	火	褥瘡患者のリハビリテーション	レベルⅠ～Ⅱ	38名	時間外	褥瘡対策チーム
	16・26	火・金	創傷管理についての勉強会	新人～レベルⅠ	90名	時間外	WOC認定看護

育児休業復帰前・復帰後研修プログラム

月	日	曜日	研 修 内 容	対　象	参加者数	開催時間	主 催
5月	15日	金	育児休暇復帰プログラム（3時間）	6月1日育児休暇復帰者	2名	時間内	看護部
	22日	金	育児休暇復帰プログラム（3時間）	6月13日育児休暇復帰者日育児休暇復帰者	1名		
				7月3日育児休暇復帰者	1名		
	復帰日		育児休暇復帰プログラム（3時間）OJT				
7月	3日		育児休暇復帰プログラム（3時間）	8月1日育児休暇復帰者	1名	時間内	看護部
	13日		育児休暇復帰プログラム（3時間）	9月1日育児休暇復帰者	2名		
	復帰日		育児休暇復帰プログラム（3時間）OJT				
10月	2日		育児休暇復帰プログラム（3時間）	11月19日育児休暇復帰者	1名	時間内	看護部
	16日		育児休暇復帰プログラム（3時間）	12月11日育児休暇復帰者	1名		
	復帰日		育児休暇復帰プログラム（3時間）OJT				
12月	4日		育児休暇復帰プログラム（3時間）	1月13日育児休暇復帰者	1名	時間内	看護部
	22日		育児休暇復帰プログラム（3時間）				
	復帰日		育児休暇復帰プログラム（3時間）OJT				
1月	8日		育児休暇復帰プログラム（3時間）	2月1日育児休暇復帰者	1名	時間内	看護部
	22日		育児休暇復帰プログラム（3時間）				
	復帰日		育児休暇復帰プログラム（3時間）OJT				
2月	4日		育児休暇復帰プログラム（3時間）	4月25日育児休暇復帰者	1名	時間内	看護部
	19日		育児休暇復帰プログラム（3時間）	4月26日育児休暇復帰者			
	復帰日		育児休暇復帰プログラム（3時間）OJT	4月19日育児休暇復帰者			
3月	5日		育児休暇復帰プログラム（3時間）	5月7日育児休暇復帰者	1名	時間内	看護部
	19日		育児休暇復帰プログラム（3時間）	6月11日育児休暇復帰者			
	復帰日		育児休暇復帰プログラム（3時間）OJT				

11.施設管理課

（1） 平成 21 年度改築工事の進捗状況

当院改築工事は、平成22年3月15日付でⅢ期工事を完了し全面竣工しました。

Ⅲ期工事では、解体工事、研修棟建設工事及び外構工事を整備しました。

研修棟は、職員及び看護実習生用の研修施設を主体とした建物で、保育所、休憩室、看護師仮眠室などの施設も配置されています。

外構では、病院正面広場の中心に、昭和12年の開院以来親しまれてきた旧本館玄関部分をモニュメントとして残しました。四季折々の花とともに、当院の歴史に触れられる憩いの場所となっています。

また、外来駐車場は、駐車台数502台とし旧駐車場の2倍のスペースを確保しており、入庫待ちの渋滞も解消されました。

Ⅱ. 業　　績

1.平成21年度診療科別業績

診療科	学会	論文	著書
血液内科	19	16	
内分泌内科	7	9	
腎臓内科	2	2	
消化器内科	12	1	2
呼吸器内科	5		
循環器内科	10	4	
神経内科	8		
一般消化器外科・乳腺内分泌外科	38	10	
血管外科	6	1	1
心臓血管外科	6	4	1
呼吸器外科		3	
小児外科			
小児科	10	10	2
産婦人科	19	7	
脳神経外科	3		
整形外科	13	4	3
眼科	1	3	
耳鼻咽喉科	2	1	
歯科口腔外科	17		
形成外科	4		
泌尿器科・女性泌尿器科	32	15	2
麻酔科	3	2	
化学療法科	1		
病理部	29	15	2
救急部	2		1
リハビリテーション科	3		
薬剤部	15	6	
放射線部	1		
検査部・輸血部	11		
看護部	20	7	
医療技術部	11	1	

2. 学術講演等記録

平成21年学術講演会

日　付	種　類	テーマ	講　師	主　催
2月20日	院内感染対策講演会	抗菌薬のOVERVIEW後編	サクラ精機株式会社 学術顧問　青木　眞	院内感染防止対策委員会
7月11日	病診連携システム学術セミナー	日常臨床におけるうつ病対策	名古屋大学名誉教授・愛知淑徳大学教授・ 医療法人北林会　北林病院　名誉院長 太田　龍朗	地域医療連携室
		見逃しやすいうつ病患者とその対応	中村公園メンタルヘルスクリニック 院長　佐藤　信幸	
7月14日	地域連携学術講演会	癌骨移転に対する放射線治療	厚生連相模原協同病院 放射線科部長　福原　昇	化学療法センター
8月26日	NBC災害訓練・研修	特殊災害（化学）における医学的対処法について	防衛医科大学 准教授　加來　浩器	社会課
9月25日	地域医療学術講演会	地域がん診療連携拠点病院のあるべき姿勢と今後のあり方	国立がんセンター中央病院 院長　土屋　了介	化学療法委員会
10月7日	院内感染対策講演会	新型インフルエンザH1N1に関する最新の話題	愛知医科大学大学院医学研究科 感染制御学　教授　三鴨　廣繁	院内感染防止対策委員会
11月13日	院内感染対策講演会	抗菌薬のOVERVIEW抗真菌剤編	サクラ精機株式会社 学術顧問　青木　眞	院内感染防止対策委員会

平成21年その他講演会

日　付	種　類	テーマ	講　師	主　催
2月25日	第11回医療安全ワークショップ	検査時の薬剤指示のコミュニケーションエラー		医療安全推進チーム
6月24日	第12回医療安全ワークショップ	ロールボードを用いた移乗の際の転落		医療安全推進チーム
9月16日	第13回医療安全ワークショップ	採血の取り直しの際の患者間違い		医療安全推進チーム
12月8日	特別講演会	患者と医療者が協働する医療を目指して	NPO法人ささえあい医療人権センターCOML 理事長　辻本　好子	教育研修推進室 総合医局

Ⅲ. 医 療 社 会 事 業 部

1. 医療社会事業課

(1)平成 21 年度年間援助件数

1.ケース人数

《年度実人数》

ケースの区分	実人数
年度実人数	3980

《月別実人数年度合計》

ケースの区分	入院・外来	実人数
月別継続ケースの年度合計		1856
月別新規ケースの年度合計	入院	3801
	外来	2035
合計		7692

月別終了ケースの年度合計	3839

2.年度別延人数

ケースの区分	延人数
年度延人数	17721

3.新規ケースの紹介経路

区分	実件数
医師	1905
看護師	385
リハビリ職	1
その他院内職員	101
本人	454
家族・親戚縁者	504
院外関係機関	337
近隣者・知人	6
ソーシャルワーカー	15
合計	3708

4.問題

区分	実件数
家族関係の問題	98
介護・療養生活上の問題	1542
経済に関する問題	593
日常生活上の問題	119
就労・職場の問題	4
教育の問題	8
医療の確保に関する問題	1490
人権に関わる問題	33
心理・情緒的問題	3
制度活用に関する問題	2084
その他	422
合計	6396

5.援助方法

方法		実件数
面接	本人	4620
	家族	5250
電話	本人	200
	家族	3786
訪問	家族	12
	その他	7
同行・同伴・代行		81
文章・FAX		2386
情報収集		436
院内協議・院内カンファレンス		10336
院外協議・院外カンファレンス		13866
合同カンファレンス		263
合計		41243

6.相談援助調整内容

内容		延件数
1.家族関係に関すること		271
2.在宅介護・地域生活に関すること		6460
3.療養生活に関すること		2101
4.経済的問題に関すること		2133
5.就労・職場環境に関すること		8
6.就学・教育環境に関すること		16
7.虐待・暴力・人権に関すること		241
8.受診・受療に関すること		1225
9.転院に関すること(医療機関)		16094
10.他施設利用に関すること		1208
11.心理・情緒的問題に関すること		13
12.他福祉関係法利用に関すること		5860
その他		1587
		0
合計		37217

7.介入の時期

区分	実人数
1.受診	160
2.外来継続	1120
3.入院時	0
4.入院継続	1052
5.退院期	1076
6.その他	300
計	3708

（2）平成21年度科別援助件数

科別＼援助の内容	援助の内容	1．家族関係に関すること	2．在宅介護・地域生活に関すること	3．療養生活に関すること	4．経済的問題に関すること	5．就労・職場環境に関すること	6．就学・教育環境に関すること	7．虐待・暴力・人権に関すること	8．受診・受療に関すること	9．転院に関すること	10．他施設利用に関すること	11．心理・情緒的問題に関すること	12．他福祉関係法利用に関すること	13．その他	小計	合計
内　科	入院	119	3709	1153	849	1	0	8	236	8331	856	3	1900	695	17860	21291
	通院	24	569	280	260	6	1	1	405	388	116	7	1087	287	3431	
外　科	入院	17	542	136	80	0	0	0	63	1466	12	0	342	87	2745	3235
	通院	3	82	56	48	0	0	0	74	7	4	0	180	36	490	
整形外科	入院	24	162	61	175	0	4	31	41	4474	20	0	279	125	5396	6379
	通院	0	43	20	97	0	0	4	117	103	3	0	571	25	983	
小児科	入院	16	512	59	34	0	8	105	9	108	60	0	388	50	1349	1778
	通院	1	127	17	5	0	1	38	73	3	0	0	150	14	429	
産婦人科	入院	30	124	55	170	0	2	4	4	93	19	0	263	57	821	1035
	通院	4	16	26	79	0	0	3	13	0	7	2	52	12	214	
脳外科	入院	12	193	64	139	1	0	10	23	772	87	0	119	48	1468	1816
	通院	2	77	12	22	0	0	28	69	25	5	0	96	12	348	
皮膚科	入院	0	6	1	0	0	0	0	1	29	5	0	14	2	58	109
	通院	2	2	3	0	0	0	0	12	0	6	0	24	2	51	
形成外科	入院	0	9	5	0	0	0	0	0	27	0	0	0	0	41	103
	通院	0	24	17	3	0	0	0	4	0	0	0	7	7	62	
泌尿器科	入院	0	41	20	46	0	0	0	0	160	7	0	74	10	358	434
	通院	0	16	10	5	0	0	0	8	4	0	0	31	2	76	
耳鼻科	入院	3	48	46	19	0	0	0	5	12	0	0	43	31	207	382
	通院	0	26	12	11	0	0	0	6	3	0	0	92	25	175	
眼　科	入院	0	9	4	2	0	0	0	3	1	0	0	8	1	28	127
	通院	0	3	7	16	0	0	3	40	4	0	0	24	2	99	
歯　科 口腔外科	入院	4	49	19	42	0	0	0	1	32	0	0	21	19	187	310
	通院	7	33	9	16	0	0	6	11	4	0	0	30	7	123	
精神科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	33
	通院	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	22	4	30	
その他	入院	1	26	9	3	0	0	0	1	48	0	0	6	16	110	185
	通院	1	11	0	12	0	0	0	5	0	1	0	34	11	75	
小計	入院	226	5430	1632	1559	2	14	158	387	15553	1066	3	3460	1141	30631	37217
	通院	45	1030	469	574	6	2	83	838	541	142	10	2400	446	6586	
合計		271	6460	2101	2133	8	16	241	1225	16094	1208	13	5860	1587	37217	37217

援助領域の説明

援助の領域の内容については下記のような業務である。

（1） 家族関係に関すること
クライエントの傷病が原因で顕在化した家族関係の悪化、家族機能の低下が、クライエントの治療継続を困難にしている場合の家族関係調整を行う。
（2） 在宅介護・地域生活に関すること
在宅療養を行っている、または行う予定であるクライエントに対する相談、また地域社会資源の説明及び在宅介護支援センター、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等、地域関係機関との調整を行う。
（3） 療養生活に関すること
入院中の生活問題に対する心理・社会的援助。具体的には入院環境の整備を行う、あるいは療養中に発生する治療以外の原因による患者対患者、患者対職員といった対人関係に問題がある場合、その解決を援助する。
（4） 経済的問題に関すること
クライエントが医療費・生活費に困窮している場合、保険・福祉関係法を活用し、問題解決に向けた援助や具体的調整を行う。
金銭管理等困難者について、地域福祉権利擁護事業・成年後見人等制度の利用をはかるとともに、必要者には事務管理等の援助を実施する（金銭管理マニュアル参照）。
（5） 就労・職場環境に関すること
クライエント自身の職業選択、職場問題の相談をはじめ、クライエントの社会復帰を目的とする援助を行う。
（6） 教育環境・就学に関する相談援助
クライエントに適した就園・就学への相談、クライエント自身の復学等に関する相談援助、環境調整を行う。
（7） 虐待・暴力・人権に関すること
家庭内暴力、児童虐待等、身体的・精神的な人権侵害について具体的調整を行う。
（8） 受診・受療に関すること
クライエントが適切な医療を受けることができるよう、クライエントへ受診に関する情報提供や調整や、医師等へ心理・社会的背景や問題の情報提供を行う。また受診・受療に関する不安解消のための援助や、医師等から依頼のあった治療拒否のクライエントに対しての援助を行う。
（9） 転院に関すること。
クライエントに対する他医療機関への紹介、転院の調整を行う。
（10） 他施設利用に関すること
療養可能な生活の場を確保するため、福祉施設及び介護保険施設等への入所を調整する。
（11） 心理・情緒的問題に関すること
主として面接を通し、クライエントとの間でソーシャルワークの原則に基づいた援助関係を築くことにより、クライエントのワーカビリティーを引き出す。
（12） その他福祉関係法利用に関すること
クライエントが利用できる社会保障・社会福祉制度の紹介を行う。

（3）転院先別取扱件数

No	施設名	件数	No	施設名	件数
1	医療法人珪山会　鵜飼リハビリテーション病院	207	59	愛知県厚生農業協同組合連合会海南病院	1
2	医療法人珪山会鵜飼病院	75	60	医療法人　愛整会　北斗病院	1
3	五条川リハビリテーション病院	33	61	医療法人　山田外科内科	1
4	津島リハビリテーション病院	29	62	医療法人　生寿会　かわな病院	1
5	公立尾陽病院	28	63	医療法人ディスクリニック　浅井外科	1
6	医療法人尾張温泉リハビリかにえ病院	23	64	医療法人愛生会総合上飯田第一病院	1
7	米田病院	21	65	医療法人光和会　光病院	1
8	医療法人社団聖真会　春田仁愛病院	17	66	医療法人宏生会水野病院	1
9	かいせい病院	16	67	医療法人宏和会あさい病院	1
10	医療法人杏園会熱田リハビリテーション病院	16	68	医療法人宏和会やまぐち病院	1
11	医療法人生生会富田病院	15	69	医療法人幸会岡田整形外科病院	1
12	医療法人光寿会　光寿会リハビリテーション病院	13	70	医療法人慈和会　吉田整形外科病院	1
13	医療法人名古屋西クリニック病院	13	71	医療法人社団以心会　中野胃腸病院	1
14	医療法人偕行会偕行会リハビリテーション病院	13	72	医療法人尚徳会　ヨナハ総合病院	1
15	愛知三の丸病院	9	73	医療法人昌峰会加藤病院	1
16	医療法人医仁会　さくら病院	9	74	医療法人水谷病院	1
17	安藤病院	8	75	医療法人晴和会　あさひが丘ホスピタル	1
18	医療法人福友会八田なみき病院	8	76	医療法人清水会相生山病院	1
19	医療法人財団善常会善常会リハビリテーション病院	7	77	医療法人石川病院	1
20	医療法人親和会　松和病院	6	78	医療法人白楊会　白楊会病院	1
21	医療法人誠心会大菅病院	6	79	医療法人尾張健友会　千秋病院	1
22	岩倉病院	6	80	医療法人朋和会東春病院	1
23	医療法人香徳会メイトウホスピタル	5	81	医療法人豊隆会ちくさ病院	1
24	医療法人棚橋病院	5	82	医療法人名南会　名南ふれあい病院	1
25	医療法人宝会　七宝病院	5	83	恩賜財団済生会明和病院	1
26	医療法人三恵会服部病院	4	84	下之一色漁業協同組合共愛病院	1
27	医療法人正進会　名古屋泌尿器科病院	4	85	向井病院	1
28	紘仁病院	4	86	好生館病院	1
29	増子記念病院	4	87	国家公務員共済組合連合会名城病院	1
30	津島市民病院	4	88	佐藤病院	1
31	医療法人社団喜峰会　東海記念病院	3	89	済衆館病院	1
32	医療法人有俊会いまむら病院	3	90	済生会大牟田病院	1
33	医療法人六輪会　六輪病院	3	91	財団法人名古屋港湾福利厚生協会臨港病院	1
34	医療法人眞清会新川病院	3	92	坂倉医院	1
35	一ツ山クリニック	3	93	三菱名古屋病院	1
36	豊和病院	3	94	主体会病院	1
37	名古屋市総合リハビリテーションセンター附属病院	3	95	松蔭病院	1
38	いまいせ心療センター	2	96	上飯田リハビリテーション病院	1
39	愛知県済生会病院	2	97	成田記念病院	1
40	医療法人幸会　南陽病院	2	98	青木記念病院	1
41	医療法人広徳会　佐藤病院	2	99	石塚外科・整形外科病院	1
42	医療法人純正会・東洋病院	2	100	船入病院	1
43	医療法人渡辺病院	2	101	総合大雄会病院	1
44	医療法人福友会　福友病院	2	102	知多リハビリテーション病院	1
45	医療法人和光会　川島病院	2	103	東海市民病院分院	1
46	国立病院機構　東名古屋病院	2	104	独立行政法人国立病院機構七尾病院	1
47	第一なるみ病院	2	105	南医療生協　かなめ病院	1
48	中部労災病院	2	106	白山リハビリテーション病院	1

No	施設名	件数	No	施設名	件数
49	半田市立半田病院	2	107	尾西記念病院	1
50	北林病院	2	108	富田浜病院	1
51	名古屋セントラル病院	2	109	服部整形外科皮膚科	1
52	名古屋市立城西病院	2	110	宝塚リハビリテーション病院	1
53	NTT西日本東海病院	1	111	北病院	1
54	サニーサイドホスピタル	1	112	名古屋逓信病院	1
55	タジミ第一病院	1	113	名春中央病院	1
56	ブラザー記念病院	1	114	名鉄病院	1
57	ヤトウ病院	1	115	耀光リハビリテーション病院	1
58	リハビリテーション天草病院	1	116	和泉市立病院	1
計			116 施設		728

(4)居宅介護支援活動状況

1.居宅介護支援事業

新規居宅介護支援契約数	9
延ケアプラン調整件数	323
相談のみ件数	627
合計	959

2.相談者

本人	527
家族	568
サービス事業者	322
その他	217
合計	1634

3.介護度

要支援(1・2)	38
要介護度 1	97
要介護度 2	130
要介護度 3	83
要介護度 4	47
要介護度 5	131
申請中	273
未申請	155
その他	5
合計	959

4.相談方法

来所	241
電話	942
訪問	418
FAX	31
書　　信	2
カンファレンス	0
合計	1634

5.会議

サービス担当者会議	13

6.認定調査

認定調査実施件数	4

7.相談内容・相談件数

区分	相談内容	相談件数	実利用件数
介護保険利用相談	介護保険制度紹介	92	
	介護認定申請助言	35	
	ケアマネ紹介・照会	57	
	手続代行	20	
	サービス紹介・調整	622	
	往診医紹介	4	
	その他	115	
居宅サービス利用相談	訪問介護	50	21
	訪問入浴	10	0
	訪問看護	77	39
	訪問リハビリ	1	0
	福祉用具貸与	73	48
	デイサービス	3	1
	デイケア	1	0
	小規模多機能型居宅介護	0	0
	ショートステイ	0	0
	福祉用具購入	4	1
	住宅改修	3	0
	居宅管理指導	7	0
	施設入所	14	0
	その他	112	18
合計		1314	128

2.社会課

（1）平成21年度災害救護訓練・臨時救護実施状況

1. 臨時救護

期日	行事名	会場	担当者				
8.13(土)、14(日)	第21回オレンジ・トライアスロン	蒲郡市(蒲郡競艇場)	医師	整形外科	大塚純子		
			看護師	看護師長	佐々木うのえ	西11A	風岡幸恵
				係長	糸山久恵		
7.29(水)	第51回中村公園夏まつり	中村公園一帯	看護師	ER	山中紗央里	西10B	森田陽子
7.30(木)	〃	〃		救B	大羽由起	西7	加藤亜沙美
7.31(金)	〃	〃		救A	小川　恵	西6A	會澤幸世
2.26(金)(旧暦1.13)	はだか祭り(儺追神事)	稲沢市(国府宮神社)(尾張大国霊神社)	医師	外科	横井　剛		
			看護師	看護師長	鵜飼美由紀	西8B	川上由喜子
				係長	矢野博巳		

2. 地方公共団体等災害救護訓練

実施日	事業名	場所	担当者				
11.　5(木)	県営名古屋空港消火救難総合訓練	豊山町(名古屋飛行場内)	医師	呼吸内科	宮村耕一		
			10班	看護師長	上田美寿代	係長	矢野博巳
			看護師	東5	中川友恵		
			主事	社会課	廣瀬勝巳	購入管理	堀内俊明
11.28(土)	平成21年度愛知県SCU訓練	名古屋空港内中日本航空格納庫事務所会議室	医師	呼吸外科	石川義登		
			DMAT	看護師長	渡辺美佐子	係長	難波裕子
			看護師				
			主事	社会課	廣瀬勝巳	人事課	岩成清和
2.1(月)	洋上救急慣熟訓練	港区～常滑沖	看護師	係長	山田亜由美		

3. 赤十字等救護訓練(研修)(その1)

実施日	事業名	場所	担当者				
6.24(水)	愛知県支部dERU操作研修会	豊田看護大学		看護師長	森　早苗	社会課	廣瀬勝巳
7.23(木)、24(金)	こころのケア要員養成研修第1回	日本赤十字社愛知県支部	看護師	看護師長	山崎明美	看護師長	上田寿美代
				係長	不破直美	救A	錦戸　幸
				西6A	清角敦子		
			特殊救護員	薬剤部	黒野康正	放射線科	大野正美
				検査部	加藤秀樹		
			主事	医療情報	藤井裕子	購入管理	工藤祐介
			指導員	看護師長	森　早苗		
10.27(火)、28(水)	日本赤十字社第3ブロック支部合同災害救護訓練	石川県輪島市(輪島市役所門前支所等)	医師	循環器科	柴田義久		
			6班	看護師長	島田香穂梨	係長	作間千夏
			看護師	西11B	角谷恵理		
			主事	医事サービス	辛島禎史	施設管理	宮田隆伸
11.22(日)～24(火)	平成21年度日赤DMAT研修会	日本赤十字大学武蔵野キャンパス	医師	第2病院	七里　守		
			当院	救A	錦戸　幸	西11A	小川　恵
			DMAT班	ER	横山由利子		
1.27(水)～29(金)	ここのケア指導者研修会	日本赤十字社	看護師	看護師長	大鐘隆宏		

3. 赤十字等救護訓練(研修)(その2)

実施日	事業名	場所	担当者				
1.20(水)～22(金)	支部救護班要員研修	日本赤十字社 愛知県支部 日本赤十字 豊田看護大学	医師	循環器科	三浦　学	消化器科	澤田つな騎
				研修医1	下方茂毅	研修医1	田中義人
			看護師	看護師長		係長	新井千香
				西11B	小川　恵		
				看護師長	平野美枝子	係長	根倉美矢子
				ER	横山由利子		
			主事	総務課	加藤　徹	医療情報	久保敦史
				入院業務	諸戸秀斗	臨床工学	蜂須賀章友
			特殊救護員	薬剤師	服部哲之	助産師	古俣知里
			企画スタッフ	救急部	花木芳洋	救急部	小島俊行
				看護師長	渡辺美佐子	看護師長	大鐘隆宏
				社会課	廣瀬勝巳		
2.25(木)、26(金)	こころのケア要員養成研修第2回	日本赤十字社 愛知県支部	看護師	看護師長	山口恵津子	係長	大石眞奈美
				救B	朝日綾子	西8A	中嶋綾子
				西6A	會澤幸世		
			特殊救護員				
			主事	医事サ	辛島禎史	施設管理	太田利恵
				購入管理	磯村恭子	臨床工学	安　里奈
			指導員	看護師長	渡辺美佐子		

4. その他

実施日	事業名	場所	担当者				
6.14(日)～17(水)	災害派遣医療チーム (DMAT)研修	災害医療センター (立川市)	医師	呼吸外科	石川義登		
			看護師	看護師長	大鐘隆宏	係長	難波裕子
			業務調整員	検査部	加藤秀樹	愛知県支部	菊池勇人

5. 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター　（主幹課：支部青少年・ボランティア課）

実施日	行事名	場所	担当看護師	
7.29(水)～31(金)	刈谷・安城地区L・T・C	碧南水上スポーツセンター	救B	朝日綾子
8.2(日)～4(火)	尾張地区L・T・C	春日井少年自然の家	西12B	大野若菜
8.16(日)～18(火)	支部小中学校L・T・C	美浜少年自然の家	西5A	森久明美

（2）平成21年度災害救護活動状況

実施日	救護名	場所	担当者				
8.11(火)	駿河湾沖を震源地とする 地震災害救護	浜松市 (浜松赤十字病院)	医師	救急部	花木芳洋	救急部	小島俊行
			看護師	看護師長	渡辺美佐子	看護師長	森　早苗
				係長	難波裕子		
			主事	社会課	廣瀬勝巳	検査部	加藤秀樹

（3）平成21年度その他救護活動状況

実施日	救護名	場所	担当者				
4.7(火)	ACFアジアチャンピオンズリーグ (ACL)医療チーム	名古屋市瑞穂 陸上競技場	医師	循環器科	永廣尚敏	主事	
			看護師	救B	安藤雅大	総務課	永岡弘道
6.24(水)	ACFアジアチャンピオンズリーグ (ACL)医療チーム	名古屋市瑞穂 陸上競技場	医師	研修医1	田中義人	主事	
			看護師	OP室	馬場周作	医事サ	三浦康男
10.28(水)	ACFアジアチャンピオンズリーグ (ACL)医療チーム	名古屋市瑞穂 陸上競技場	医師	研修医1	服部　峻	主事	
			看護師	ER	塚原　勇	総務課	加藤　徹

（4）病院ボランティア活動状況

1．病院ボランティア活動状況（その1）

活動項目	平成21年度活動報告	
	具体的活動内容〔主催者等〕	備　考
広報媒体等を活用した地域住民に対する共生意識・ノーマライゼーション理念の普及啓発	1．名古屋第一赤十字病院婦人奉仕団 （1）　病院内 ①玄関案内業務(再来受付機、精算機含) ②入院患者案内、付き添い ③患者サロンにおける図書管理 ④慢性疾患児家族宿泊施設(めばえ)清掃整備 ⑤超音波検査室清拭タオルの整理 ⑥衛生材料作成 ⑦救命救急センター救急車直入患者の病棟案内 ⑧総合周産期医療センター発送業務 ⑨健康教室受付 ⑩健康管理センター資料作成 ⑪車椅子点検整備 ⑫病院機関紙等発送業務 （2）　勉強会（ボランティア側のノーマライゼーション） ①総会 平成21年4月11日（土）開催 ②役員会・委員会　毎月1回開催 ③機関誌発行横糸67号　5月1日発行 （3）　関係各機関への協力（病院外） （4）　日本病院ボランティア協会との連携（講演会含む） 平成21年10月30日（金）日本ボランティア協会総会出席 （神戸市産業振興センター） （5）　中部善意銀行との連携 ①平成21年11月9日（月）～11月26日(木) 愛のチャリティーバザー整理収納奉仕 ②平成21年12月2日（水）～5日（土） 愛のチャリティーバザー販売奉仕	会員約70名が月～金に分かれ(1日10～15人) 8時30分から15時まで
	2．同朋大学学生 あんぱんまんサークル 保育指導ボランティア	小児医療センター 火曜日18時30分～20時　約6名
	3．おはなしグループ．ぽしぇっと お話会ボランティア	小児医療センター 第2、4木曜日15時30分～16時 約7～8名
	4.(有)プレジャー企画　クラウンファミリープレジャーB 日本ホスピタル・クラウン協会　ホスピタルクラウンボランティア	小児医療センター 第1、3木曜日15時～17時 1回約5～6名
	5.ぷくぷくばるーん ばるーんで遊ぼうボランティア	小児医療センター 第2火曜日15時～17時1回約5名
	6．愛知県立旭丘高等学校美術科生徒作品展示 病院通路絵画展示	常設　10名作品
	7.緩和ケアセンター 個人ボランティア　音楽療法、日常生活食事支援、季節写真展示等	緩和ケアセンター 季節写真常設、その他各時間　12名
	9.緩和ケアセンター　傾聴ボランティア“陽だまり”	緩和ケアセンター 木曜日14時～16時　7名交代

1．病院ボランティア活動状況（その2）

活動項目	平成21年度活動報告	
	具体的活動内容〔主催者等〕	備　　考
広報媒体等を活用した地域住民に対する共生意識・ノーマライゼーション理念の普及啓発	10．病院外赤十字奉仕団活動 ①甚目寺町赤十字奉仕団 検査等入れ紙袋作成 ②津島市赤十字奉仕団 機関紙「なかむら」「日赤なごや」発送作業	1回 約50名～80名 第3月曜日 第1木曜日

2．患者慰問活動

活動項目	平成21年度活動報告	
	具体的活動内容〔主催者等〕	備　　考
その他地域福祉活動に関すること	1.全日空スズラン慰問　6月5日(金)西棟12階 押花400束他 2.名古屋国際婦人クラブからの慰問　7月1日(水) 小児医療センター 3.ひまわり(学級)コンサート　7月3日(金) 入院患児(者)、家族　アイリスクラリネットカルテット演奏会 4.なごやかコンサート　7月22日(木) 入院患者、家族、地域住民　フルート、オカリナ、ピアノ演奏会 5.ボランティアグループ「ぷくぷくばるーん」慰問　8月11日(火) 小児医療センター　プレイルーム 「ぷくぷくミニシアター」 6.写真(心)家　松本康國　卓上写真寄贈慰問　10月22日(木) 小児医療センター　ブレイルーム 7.中国琵琶涂善祥、ソプラノ矢野留美、河地未奈子、ピアノ マリ・リー演奏慰問　12月1日(火)　入院患者(児)、地域住民 8.小児医療センタークリスマス会慰問　12月24日(木) 入院患児、家族　内ヶ島講堂 9.中日ドラゴンズ選手慰問　1月12日(月) 立浪、井上、井端、 荒木、中田、野本選手による、入院患者(児)全体トークショー、 小児医療センター慰問 10.「大道芸人パクパクりゅうじが日赤病院にやってくる」患児慰問 入院患児、家族　会議室5　papa・snow.Com長谷川高彦 11.緩和ケアセンター内慰問　誕生日花束贈呈、8月19日(水) 夏まつり　12月10日(木)クリスマス会　3月17日(水)春の音楽会 12.小児医療センター内慰問　5、7、11、3月　夏祭り、 子供の日、ひな祭り等開催	活動日付順

（5）地域福祉活動状況

1. 平成21年度赤十字健康教室開催状況

回 数	開 催 日	開 催 内 容	講 演 者	参加人員
第126回	平成21年6月10日(水) 午後2時～午後4時	おしっこが近い、尿がもれる →その傾向と対策	泌尿器科部長 村 瀬 達 良	127名
第127回	平成21年8月26日(水) 午後2時～午後4時	肝臓疾患について	第一消化器内科部長 春 田 純 一	110名
第128回	平成21年10月2日(金) 午後2時～午後4時	救急医療について	救急部長 花 木 芳 洋	60名
第129回	平成21年11月17日(火) 午後2時～午後4時	～糖尿病腎症について～ 司会 1、糖尿病と腎臓 2、糖尿病腎症の食事療法	内分泌内科部長 山 守 育 雄 腎臓内科副部長 青 山 功 管理栄養士 日本糖尿病療養指導士 梶 原 祥 江	105名
第130回	平成22年2月19日(金) 午後2時～午後4時	心臓発作の予防と治療 ～救急車を呼ぶ前に～	第二循環器内科部長 神 谷 春 雄	136名
合 計	5 回			538名

2. 平成21年度慢性疾患児家族宿泊施設「めばえ」利用状況

利用月 / 部屋号	月別利用日数												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	30	1	12	25	31	30	31	14	20	9	17	31	251
2	30	31	30	31	31	30	16	15	0	19	28	31	292
3	30	7	0	20	31	30	15	7	31	31	28	31	261
5	30	31	30	17	23	30	31	30	31	31	19	28	331
6	9	21	12	4	31	30	31	30	12	17	28	31	256
合 計	129	91	84	97	147	150	124	96	94	107	120	152	1,391

備 考　総日数　365 日 × 5 = 1,825
利用日数　1,391 日　利用率　76.2 %

3. 地域医療連携室

現在の医療は一つの医療機関で完結するのではなく、病診連携、病病連携の中で互いの機能分化を図りながら患者さんを効率よく診療していく地域完結型医療が主流である。そのため、当院が拠点を置く名古屋市では、特定の大規模病院と近隣の診療所が単独で連携する方式ではなく、名古屋市医師会を窓口に、診療所は登録医、病院は登録施設として申し込み、それぞれの施設が病診連携等に取り組む都市型の連携ネットワークで運営している。 当院は昭和６１年に名古屋市医師会病診連携システムへ登録病院として加入し、本格的な地域医療連携事業を開始した。平成１８年には地域医療支援病院の承認、平成２０年に地域がん診療連携拠点病院の承認を受けるなど、地域医療連携事業も年々成果を上げている。

当院の責任医療圏は名古屋医療圏の西部地域であるが、２次医療圏を超えた海部医療圏、尾張中部医療圏も関与するよう行政から指示がでてきている。そのため、今後は医療圏を遥かに超えた病診・病病連携ネットワークの構築が必要となる。

「課題事項の現況」

当院が地域の基幹病院として急性期医療を果たすために、三次救急患者を何時でも受け入れる体制を整えることと、急性期を脱した患者さんを早い時期に回復期や亜急性期、或いは療養期の機能を持った病院へスムーズに移すことが肝要である。そのため、名古屋市内の計画病院と協力病院とで医療制度上の地域連携パスを活用してここ２年ほど施行してきている。昨年度は整形外科が７１件、神経内科が６７件の実績はあるが、今後は更に地域連携パスを拡大することにより件数を伸ばす必要がある。また、今回の診療報酬改定では回復期リハからも次の地域連携パスを活用し診療所等へ送らなければいけないし、平成１８年に成立したがん対策基本法によるがん医療の均てん化の促進から、平成２４年３月までに五大がんの地域連携クリティカルパスの整備をしなければいけない。この点も含めて研究会や連絡会を介して確実なものにしていく必要があり、引き続き退院支援や援助に関わる職員の早期からの関与の仕方の研究や検討が望まれる。

（1） 当院と外部委嘱委員との運営委員会及び協議会履歴と議事概要

平成 21 年度名古屋第一赤十字病院病診連携システム運営協議会

・開催日時　平成 21 年 4 月 30 日（木）午後 2 時～

・開催場所　名古屋第一赤十字病院　会議室 3

出 席 者（敬称略）

医師会　名古屋市医師会地域医療担当理事　舘 敏雄、中村区支部区会長　西川 達郎、
西区支部区会長　龍華 二郎、中川区支部区会長　奥村 満麿、
中区支部区会長　北川 裕章、北区支部区会長　山田 洋、
海部医師会副会長　谷本 光保、西名古屋医師会会長　今村 達雄、
中村区支部区副会長　古山 明夫、中村区支部区副会長　初鹿野 誠之、
中村区支部区副会長　細川 秀一、中村区支部地域医療担当　宮本 進行

当　院　院長　小林 陽一郎、副院長　酒井 秀造、副院長　大野 三良、
業務部長　伊藤 彰勇、経理部長　坂井田 稔、看護部長　小森 和子、
地域医療連携室室長　竹内 勝秀

欠席者（敬省略）

医師会　愛知県医師会理事　横井 隆、海部医師会会長　鈴木 孝一

当　院　副院長　宮田 完志

次　第

1、開会

2、名古屋第一赤十字病院 院長挨拶

3、名古屋第一赤十字病院病診連携システム運営協議会委員構成及び協議会規則の確認

4、議事

(1)　報告事項

①　平成 20 年度病診連携の実績報告について

(2)　協議事項

①　連携施設からの要望について

②　第 11 回病診連携学術セミナーの開催について

(3)　その他

5、閉会

議事内容(抜粋)

・本日、WHO より新型インフルエンザが「PhaseⅣ」から「PhaseⅤ」へ引き上げとなった。厚生労働省も水際作戦に取り組んでおり、現時点での国内発症者はいない。当院は明日から日本赤十字社創立記念日（5 月 1 日）を含め 6 日間の大型連休に入るが、この新型インフルエンザの対策に追われそうな感じである。厚労省は「感染を疑われる方は医療機関へ行かずに保健所へ連絡し、保健所の指示を仰ぐように」としているが、この方針を全国民に徹底を図ることは難しく、現実には当院に受診する感染者も出てくるであろうと思う。明日より現れる感染者への対策に、院内においても緊急会議を実施している最中である。現時点での対策案は、入口を正面玄関 1 つにし、出入口を閉鎖、入院患者の付添や面会の方の制限、発熱外来（発熱外来テントのような場所を設置)、感染疑いの患者さんを院内で対応することなく未然に防ぐ方法である。国内において感染者が 1 例でも発生した場合、このような体制を整え、受入れ体制を万全なものにしていきたいと思っている。ただ、受け入れ体制といっても感染者で入院適応となる患者を応需できる機能を当院は持っていない。名古屋市内の感染症対応病院は東市民病院と第二日赤。先生方からもご相談を受けることがあると思うが、まずは保健所へご相談し、指示を仰いでいただくようにお願いしたい。

・愛知県健康福祉局より愛知県医師会を通じ、各支部区会長へ新型インフルエンザに関する発熱相談センターを各保健所に設置することになったと通達があった。各支部区会長もこれを受け、区会員へ通達予定である。

・委員である先生方より特にご要望や苦情もないということで、我々の病院と先生方とは良好な関係にあると思っている。当院には 200 数十名という医師が勤務しているので、先生方に御迷惑をお掛けする事例が発生するかもしれない。もし、先生方への失言や無礼な事例が発生したら、早急に地域医療

連携室や私、院長へご連絡して欲しい。

・第 11 回病診連携学術セミナーのテーマは、「うつ病の診療と注意点について」とし、大学専門医、開業医、産業医講師の精神科医師 3 名を主に開催予定とする。

・開催日時について

予定日 1：平成 21 年 7 月 11 日（土）、予定日 2：平成 21 年 7 月 25 日（土）

平成 21 年度（第 4 回）名古屋第一赤十字病院開放型病床運営協議会

・開催日時　平成 21 年 5 月 28 日（木）15：00～

・開催場所　名古屋第一赤十字病院　会議室 3

出席者（敬称略）

医師会　名古屋市医師会地域医療担当理事　舘 敏雄、中村区支部区会長　西川 達郎、
西区支部区会長　龍華 二郎、中川区支部区会長　奥村 満麿、
中区支部区会長　北川 裕章、中村区歯科医師会会長　平澤 琢二、
北区支部区会長　山田 洋

当　院　院長　小林 陽一郎、副院長　酒井 秀造、副院長　大野 三良、
業務部長　伊藤 彰勇、経理部長　坂井田 稔、看護部長　小森 和子、
救命救急センター長　花木 芳洋、救急部副部長　小島 俊行、
地域医療連携室室長　竹内 勝秀

欠席者（敬称略）

医師会　海部医師会会長　鈴木 孝一

当　院　副院長　宮田 完志

次　第

1、開会

2、新構成委員と委嘱状について

3、議事

(1)　報告事項

① 平成 20 年度開放型病床の実績について

(2)　協議事項

② 開放型病床の運用について

③ 連携施設からの要望について

(3)　その他

4、閉会

議事内容（抜粋）

・平成 20 年度の病床利用率は 40%程度で、利用率の高い月でも 50%強。当院としては先生方の診療所で診断できないような症例なども含め、1 週間程度の入院を要したほうがよいと思われる患者さんがいれば、是非ご利用していただきたい。

・利用された主な診療科は、腎臓内科・消化器内科・神経内科・呼吸器内科。開設当初は脳梗塞後の肺炎や熱発、腎炎などによる熱発症状などが多いであろうと予想していが、これ以外の疾患でも利用が

結構多く、診療科にばらつきがある。開放型病床の平均在院日数は約 12 日。開放型病床に入院し診断名が確定すると、専門病棟へ転室或いは転棟していただく場合がある。また、症状が安定していれば転室或いは転棟せずに開放型病床より退院する場合もある。

・開放型病床の利用方法で早急な対応、或いは解決しなければいけない事例の発生を鑑み、先生方のご同意を得て開放型病床管理責任医師の輪番制度を設けさせていただいている。問題があれば当番の先生と紹介元の先生を交えてご相談申し上げる予定だが、現在まで利用登録医の先生と当番の先生方を交えてご相談しなければいけない事例は発生していない。

平成 21 年度第 7 回名古屋第一赤十字病院・地域歯科医師会病診連携システム運営協議会

・開催日時　平成 21 年 7 月 2 日（木）午後 2 時～

・開催場所　名古屋第一赤十字病院　東棟　会議室 3

出 席 者（敬称略）

歯科医師会　梶原 忠嘉（名古屋市歯科医師会会長）

中村区　　平澤 琢二（会長）、木村 英雄（専務理事）

中川区　　岡田 由美（会長）、山口 和正（副会長）

海　部　　伊藤　貢　（会長）、浅井　司（専務理事）

西春日井　加藤 高行（会長）、深尾 裕和（地域保健担当）

当　院　　小林 陽一郎（院長）、大野 三良（副院長）、坂井田 稔（経理部長）、

大岩 伊知郎（歯科部長）、小森 和子（看護部長）

竹内 勝秀（地域医療連携室室長）、古川 恵美子、後藤 なつき（医療連携係）

欠 席 者（敬称略）

当　院　　伊藤 彰勇（業務部長）

次　第

1、開会

2、院長挨拶

3、地域歯科医師会病診連携システム運営協議会規定【大野副院長】

4、議事

(1)　報告事項（平成 20 年度実績報告）【大野副院長】

①紹介・逆紹介について

②講演会・研修会・検討会実績について

③登録歯科医師比率

④救急実績について

(2)　協議事項【大岩部長】

①第 7 回地域歯科医師会病診連携学術セミナーの開催について

(3)　その他

5、閉会

議事内容（抜粋）

・今回から名古屋市歯科医師会会長の梶原先生に委員としてご参加を賜っている。医科の病診連携では愛知県医師会、名古屋市医師会の各々に病診連携担当理事がいる。また、名古屋市医師会への登録病院は各々施設でこのような運営協議会を年 1 回開催しており、医師会病診連携担当理事が医師会長の

代わりに出席し、示唆に富む意見を述べている。歯科医師会は医科医師会とは少し状況が違うようであるが、病診連携は面で地域に関わっていくことが肝要と思うので、歯科医師会でも医科医師会のような形で関わっていただきたい。

当院の医科病診連携システム運営協議会では医師会病診連携担当理事を監査委員としているので、歯科も医科同様に梶原先生に監査委員をお願いしたい。

今後、名古屋市歯科医師会においても病診連携担当理事が設けられるよう、是非、ご検討いただきたい。

・入院案内 8 ページに「入院前には歯科医院を受診しましょう！」という歯科に関しての案内を掲載した。当院に入院予定の患者さんが、突然、先生方の診療所へ受診する場合を考え、当院からの診療情報を持参して受診できるよう現在検討中。

・第 7 回地域歯科医師会病診連携学術セミナー

・1 時間 30 分ぐらいで、簡潔に少し専門的な講演を考えている。我々医科は歯科の先生方と頻回に服用薬剤について診療情報提供書をもって連携を図っている。例えばワーファリンを服用している弁置換した患者さんは、休薬せずに歯科治療を続けるよう情報提供をしている。歯科医師の方でも気がつかない点もあると思われるので、当院薬剤部より薬剤についての講演を 20 分、糖尿病について当院内分泌内科医師に 40 分で講演をするよう依頼する。講演会終了後は、顔の見える医療連携を考え、当院歯科医師の紹介及び情報交換会を院内にて開催する。

◎開催日時：平成 21 年 10 月 15 日（木）午後 5 時～午後 6 時 30 分

◎開催場所：内ヶ島講堂

◎講演内容：「菌性感染症における経口抗菌薬使用とその注意点」、『わかりやすい糖尿病の診断と治療について～歯科治療上の注意点～』

平成 21 年度（第 11 回）名古屋第一赤十字病院 地域医療支援病院運営委員会

・開催日時　平成 21 年 5 月 28 日（木）　14：00～

・開催場所　名古屋第一赤十字病院　会議室 3

・出席者（敬称略）

院外・医療関係団体代表者

愛知県医師会地域医療計画理事 牧 靖典、名古屋市医師会地域医療理事 舘 敏雄、中村区支部区会長 西川 達郎、西区支部区会長 龍華 二郎、中川区支部区会長 奥村 満麿、中区支部区会長 北川 裕章、北区支部区会長 山田 洋、中村区歯科医師会会長 平澤 琢二、中村区薬剤師会会長 箕浦 規桊

・学識経験者

愛知県中村警察署長 久野 隆康、名古屋市消防局参事 山下 清康

・市区町村・地域住民代表

中村区区政協力委員協議会議長 清水 稔

院内・院長 小林 陽一郎、副院長 酒井 秀造、副院長 大野 三良、業務部長 伊藤 彰勇、経理部長 坂井田 稔、看護部長 小森 和子、救命救急センター長 花木 芳洋、地域医療連携室室長 竹内 勝秀

・委任状（敬称略）

院外・医療関係団体代表者

海部医師会会長 鈴木 孝一、鵜飼ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ病院 鵜飼 泰光

・学識経験者

名古屋市社会福祉協議会会長 青木 國雄

・市区町村・地域住民代表

中村区役所区民福祉部長 岩月 道則

院内・副院長 宮田 完志

次第

1 開会

2 名古屋第一赤十字病院 院長挨拶

3 新構成委員（自己紹介）と委嘱状授与について

4 議事

(1) 報告事項（地域医療支援病院 平成20年度実績報告）

①紹介と逆紹介(件数と率)について

1）年度・月別推移、2）診療科・地域別件数（過去3年比較）

②共同利用の実績について

③講演会、研修会、検討会実績について

④登録医師、登録歯科医師数と比率について

⑤救急医療の実績について

1)救急搬送手段別年度別推移、2)救急車年度月別推移、3)搬送手段別：診療科別・地域別（過去3年比較）、4)救急患者緊急手術及び血管造影（過去3年比較）、5)救急患者転帰(H20年度)

(2)協議事項

①次回開催日について

(3) その他

5 閉会

議事内容（抜粋）

・愛知県の 3 次救急を請けおっている日赤病院などが中心となって広域をカバーするが、実際に病院機能を果たす上で、各科専門医が何人必要なのか。また、基幹病院を含めて例えば愛知県内に専門医が何人いれば上手く機能するのか提示しないと、絶えず中央で医師が足らないとか足りるという訳の分らない論争が起こる。やはり、この事は地域から明確な実情を提示した方が良い。

・総論で云えば、脳外科の専門医を名古屋大学、名市大、愛知医大、藤田保健衛生大の 4 病院に大勢の専門医を揃え、そこで集中的に手術を施行し、他の医療機関では当該手術を施行しない。各論になると、何処の医療機関も脳外科専門医も必要、心臓外科専門医も必要ということになる。これは非常に難しい問題だと思うので、どのような形態がいいのか医師会も考えていただき提言をしていただきたい。

・今年度より研修カリキュラムが内科 6 ヶ月、救急 3 ヶ月となったが、このことで何か大きな問題が起こるようなことはないか。また、これは妥当なことか。

・名古屋大学のスーパーローテート方式に移行できれば、専門科へ移行する際に流れがスムーズになる。現在の方式では上手く育成できないのか、先日もシュミレーションの機械を使用した研修において 2 年目の医師で針も刺せない医師がいるという報告を受けており驚いている。兎に角、見ているだけで施行してはいけない事が多くて施行もさせられないし、2 年間はレポートを提出しなければならないなど、まるで学生の延長で現在の新臨床研修医制度が良い訳ではない。

平成 21 年度（第 12 回）名古屋第一赤十字病院 地域医療支援病院運営委員会

・開催日時　平成 21 年 8 月 27 日（木）　14：00～

・開催場所　名古屋第一赤十字病院　会議室 3

・出席者（敬称略）

院外・医療関係団体代表者

愛知県医師会地域医療計画理事 牧 靖典、名古屋市医師会地域医療理事 舘 敏雄、中村区支部区会長 西川 達郎、西区支部区会長 龍華 二郎、中川区支部区会長 奥村 満麿、中区支部区会長 北川 裕章、北区支部区会長 山田 洋、海部医師会会長 鈴木 孝一、中村区歯科医師会会長 平澤 琢二、中村区薬剤師会会長 箕浦 規恭

・学識経験者

名古屋市社会福祉協議会会長 青木 國雄、愛知県中村警察署長 久野 隆康、名古屋市消防局参事 山下 清康

・市区町村・地域住民代表

中村区区政協力委員協議会議長 清水 稔

院内・院長 小林 陽一郎、副院長 酒井 秀造、副院長 宮田 完志、副院長 大野 三良、業務部長 伊藤 彰勇、経理部長 坂井田 稔、看護部長 小森 和子、救命救急センター長 花木 芳洋、地域医療連携室室長 竹内 勝秀

・委任状（敬称略）

院外・医療関係団体代表者

鵜飼ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ病院 鵜飼 泰光

・市区町村・地域住民代表

中村区役所区民福祉部長 岩月 道則

次第

1、開会

2、名古屋第一赤十字病院　院長挨拶

3、議事

（1）報告事項（地域医療支援病院 平成 21 年度 第 1 四半期）

①紹介と逆紹介(件数と率)について

1）年度・月別推移、2）診療科・地域別件数

②共同利用の実績について

③講演会、研修会、検討会実績について

④救急医療の実績について

1)救急搬送手段別年度別推移、2)救急車年度月別推移、3)搬送手段別：診療科別・地域別、4)救急患者緊急手術及び血管造影、5)救急患者転帰

⑵協議事項

①次回開催日について

（3）その他

4、閉会

議事内容（抜粋）

・各々の病院が救急受診した患者さんや家族に対し、救急車の適正利用、或いは救急受診とはどういう時に利用すべきかなどを教育しているか。

・恐らく各々の病院が行っていないと思う。我々が患者や家族に救急教育をすれば謙虚に受け入れてくれると思うが、夜間の研修医が患者や家族に救急教育を行えば、暴言を吐くことはあっても聞く耳は持たないと思うので、なかなか教育し難い。

・救急外来受診時に研修医では救急教育が難しいという事であれば、病院の中でも患者が退院される際には、どのような状態の時に救急受診が必要なのか救急教育をしておくことも肝要と思う。是非、実施していただきたい。これが地域医療支援病院としての実績や評価にも繋がっていくと思う。

・医師会は行政と協力し、各医療機関の待合室に貼るポスターやパンフレットを作成し、患者に啓蒙している。更に、我々医師会側は事あるごとにどんな状態の時にどのような救急医療機関を利用すべきなのかなど、患者や家族に救急教育をしている。

・医師会の先生方の救急教育が住民にどう響いているかの反応を計るためにも見たか、読んだか、知っているかという意識調査を時々行い、その結果を医師会の実績として公表もし、患者のレベルを計っていくことが肝要。ただ、小児科や産婦人科等を徹底させるには、もうひと工夫が必要かもしれない。その点も含め、是非、意識調査を行い、結果を公表して欲しい。

・非常に軽症者の救急搬送が多いため、行政側の責任において様々な方法を施行している。現在、名古屋消防は 36 隊で救急搬送を行っているが、平成 17 年から 3 年間で名古屋市内の出動回数が 10 万件を超えている。このような利用方法が続けば、何れ重症患者の救急搬送に支障をきたす事になる。行政側は救急の重要対策の一環として、かかりつけ医への早期受診の勧め、軽症者はできるだけ自分で医療機関へ行くよう指導している。この啓発活動の効果か不明だが、平成 19 年の救急搬送の内、入院適応でない軽症患者は 58%、平成 20 年度の軽症患者は対前年比 1%減で、軽症率が若干減少している。現在も医師会を含む市内 1,800 医療機関のご協力を得ながら救急医療ポスターなどで啓発活動をしているが、一般市民への十分な浸透がまだまだ不十分と推測される。

・外国では救急搬送がほぼ有料である。生活保護の人から徴収するかは別として、後で払い戻しをするなど様々な方法はあると思うが、例えば、救急搬送された患者さんに診察終了後、「今回、あなたがかかったケースで救急車が有料だったら救急要請しましたか。」というようなアンケートを病院側から積極的に行った方がいいと思う。逆の意味での宣伝じみたことも必要ですし、住民に救急車の利用方法を意識させることも必要と思う。

平成 21 年度（第 13 回）名古屋第一赤十字病院 地域医療支援病院運営委員会

・開催日時　平成 21 年 11 月 5 日（木）　13：00～

・開催場所　名古屋第一赤十字病院　会議室 1・2

・出席者（敬称略）

院外・医療関係団体代表者

愛知県医師会地域医療計画理事 牧 靖典、名古屋市医師会地域医療理事 舘 敏雄、中村区支部区会長 西川 達郎、西区支部区会長 龍華 二郎、中川区支部区会長 奥村 満麿、北区支部区会長 山田 洋、海部医師会会長 鈴木 孝一、鵜飼ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ病院 鵜飼 泰光、中村区歯科医師会会長 平澤 琢二、中村区薬剤師会会長 箕浦 規恭

・学識経験者

名古屋市社会福祉協議会会長 青木 國雄、愛知県中村警察署長 久野 隆康（代理：副署長 神谷 信広）、名古屋市消防局参事 山下 清康

・市区町村・地域住民代表

中村区区政協力委員協議会議長 清水 稔

院内・副院長 酒井 秀造、副院長 宮田 完志、副院長 大野 三良、業務部長 伊藤 彰勇、経理部長 坂井田 稔、救命救急センター長 花木 芳洋、地域医療連携室室長 竹内 勝秀

・委任状（敬称略）

院外・医療関係団体代表者

中区支部区会長 北川 裕章

・市区町村・地域住民代表

中村区役所区民福祉部長 岩月 道則

院内・院長 小林 陽一郎、看護部長 小森 和子

次第

1、開会

2、院長挨拶

3、議事

(1) 報告事項（地域医療支援病院 平成 21 年度 第 2 四半期）

①紹介と逆紹介(件数と率)について

1) 年度・月別推移、2) 診療科・地域別件数

②共同利用の実績について

③講演会、研修会、検討会実績について

④救急医療の実績について

1)救急搬送手段別年度別推移、2)救急車年度月別推移、3)搬送手段別：診療科別・地域別、4)救急患者緊急手術及び血管造影、5)救急患者転帰

(2)協議事項

①次回開催日について

(3) その他

4、閉会

議事内容（抜粋）

・救急車不適正利用などの統計について名古屋市消防局救急対策室より回答。

・平成 20 年中の救急車不適正と思われる利用状況は、名古屋市内の救急隊員が患者や家族の聞き取り等から判断した件数である。平成 20 年の出動件数が 96,099 件、その内の約 12.5%の 12,043 件が不適正利用。過去 2 年の不適正利用は、平成 18 年が 11.7%、平成 19 年が 12.8%、毎年出動件数の約 1 割が不適正利用と判断。不適正利用と判断した中で、不搬送の場合と搬送の場合がある。不適正利用による搬送の内訳は、1）患者自身で自家用車を運転し医療機関へ行くことはできないが、家族が運転すれば医療機関へ行くことができたが 785 件、2）救急車で行けば直ぐに診察が受けられると思ったが 49 件、この項目は思ったほど多くなかったと感じている。3）その他の項目には、交通事故で念のため病院に行きたい、或いは 1 年間に 10 回以上使用する方（頻回利用）、かかりつけ医に腰痛の悪化を相談したら救急車で行くよう指示を受けた等が含まれている。不適正利用が 1 割を超えていることから、重症者搬送に支障をきたすのではないかと非常に危惧している。我々も様々な機会を利用し、救急車適正利用の広報をしているが、なかなか浸透しない。やはり、救急隊、或いは消防署より地域住民の方々に直接広報しないと効果が上がらないのではと感じている。是非、今後も先生方より救急車の適正利用についてご指導ご協力を賜りたい。

・大人への救急教育も必要だが、教育委員会などを通じ小・中学生にも救急教育を始めてはどうか。子供時代にしっかりとした救急教育がされれば、やがてその子供が成人を迎えるころには教育の成果が出ていると思う。

・先日、ある掲載記事に東京、名古屋、大阪で救急あんしん電話相談を試験的に施行しところ、大阪では救急車を利用して病院に受診する件数が減少したような記事が書かれていた。この事業はどこが主幹で開始されたのか。

・元々は東京消防庁が起こした事業。東京消防庁は 24 時間 365 日 119 番のオペレーターの隣に医師を配置している。そこにかかってくる内容に対して、看護師、或いは医師に振り分け適切に対応している。このブースには厚さ 2 ㎝の赤色、橙色、黄色に色分けされたマニュアルがあり、「直ぐ救急車を呼びなさい。」「これから直ぐ救急外来に受診しなさい。」「今からかかりつけ医の先生にご相談ください。」最後は、「金曜日なら月曜日（平日）でもいいですよ。」となっている。救急車利用適正化に向けた対応策の一環として総務省が 1 年限りの予算を付け試験的に行っている事業。

・愛知県も 10 月 1 日から年度末まで実施。まだ開始したばかりで正確なデータと云えないが開始から 2 週間の平均相談件数は 50 件弱。平成 21 年度の事業モデルで一旦終了。愛知県消防本部は平成 22 年度には施行しないが、施行するのであれば平成 23 年度以降になる。直ぐに施行開始できない事由に半年間の検証作業が挙げられる。我々も本当に救急の需要対策に繋がるのであれば施行してもよいと思うが、もし施行するとなれば各々市町村の経費負担になると思う。仮にこの名古屋市で施行しようとすると約 7,000 万円の費用がかかるし、既存の愛知県救急情報センターとの整合性、或いは名古屋市の小児救急電話相談の事業など、その辺りの整合性を図って置く必要があるし、明確な運用方法なども決めて置かなければいけないことになる。

東京都の状況をみると確かに救急件数は減少している。平成 20 年中は 18 政令市の救急件数は減少しているが、救急の需要対策として本当に成立していないのではないかと我々の側では判断しているので、なかなか踏み切れないのが実情。

・海部地区会員より新型インフルエンザワクチンの接種について、名古屋第一赤十字病院に継続受診している患者さんは全て名古屋第一赤十字病院で受けられるのか、或いは継続受診している患者についても名古屋第一赤十字病院が証明書を発行し、他の医療機関で接種をお願いする方針なのか知りたい。

・当院では継続受診されている患者にも証明書を発行する。日本のワクチン供給量で混乱している中で申し訳ないが、先生方にもお願いすることになる。我々も供給量を鑑み、当院で証明書を発行した患者さんには、他の医療機関も十分接種できるワクチンが供給されていないので、証明書を持参して行っても必ず接種できる保証がないと教育をしている。

平成 21 年度（第 14 回）名古屋第一赤十字病院 地域医療支援病院運営委員会

・開催日時　平成 22 年 2 月 4 日（木）　14：00～

・開催場所　名古屋第一赤十字病院　会議室 3

・出席者（敬称略）

院外・医療関係団体代表者

愛知県医師会地域医療計画理事 牧 靖典、名古屋市医師会地域医療理事 舘 敏雄、中村区支部区会長 西川 達郎、西区支部区会長 龍華 二郎、中川区支部区会長 奥村 満麿、中区支部区会長 北川 裕章、北区支部区会長 山田 洋、海部医師会会長 鈴木 孝一、(医)珪山会 鵜飼ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ病院 鵜飼 泰光、中村区歯科医師会会長 平澤 琢二、中村区薬剤師会会長 箕浦 規恭

・学識経験者

名古屋大学名誉教授 青木 國雄、愛知県中村警察署長 久野 隆康、名古屋市消防局参事 山下 清康

・市区町村・地域住民代表

中村区区政協力委員協議会議長 清水 稔

院内・院長 小林 陽一郎、副院長 酒井 秀造、副院長 宮田 完志、副院長 大野 三良、業務部長 伊藤 彰勇、経理部長 坂井田 稔、看護部長 小森 和子、救命救急センター長 花木 芳洋、地域医療連携室室長 竹内 勝秀

・委任状（敬称略）

院外・市区町村・地域住民代表

中村区役所区民福祉部長 岩月 道則

次第

1、開会

2、院長挨拶

3、議事

（1）報告事項（地域医療支援病院 平成 21 年度 第 3 四半期）

①紹介と逆紹介(件数と率)について

1）年度・月別推移、2）診療科・地域別件数、3）診療科別紹介率・逆紹介率

②共同利用の実績について

③講演会、研修会、検討会実績について

④救急医療の実績について

1)救急搬送手段別年度別推移、2)救急車年度月別推移、救急患者緊急手術及び血管造影、救急患者転帰、3)搬送手段別：診療科別・地域別搬送手段年度別比較

(2)協議事項

①次回開催日について

(3) その他

4、閉会

議事内容（抜粋）

・地域医療支援病院の性格もこの 4 年間を振り返ると随分変わってきた。承認当初の当院の役割は、名古屋市医師会の中の中核病院であれば良いとされていた。今や我々が責任を持つ医療圏というのは大変広範となってきており、愛知県の西部、或いは中部、更に海部地区東部の領域も医療圏で、主に 3 次救急を始めとする高度な医療機能を担う中核病院として行政の地域医療計画にもはっきりと明文化されている。このような医療機能の集約化、再編ネットワーク化ということを、ここ 2 年程前から愛知県の有識者会議で議論している。

・地域医療再生基金の交付は尾張地区、三河地区へ各々25 億とし、5 年間の基金として使用されるが、愛知県における地域医療計画の中に、当院が該当する計画が 2 つある。1 つはバースセンター（院内助産院）の設置。これは尾張地区の総合周産期母子医療センターである当院、三河地区では地域周産期母子医療センターである豊橋市民病院の二ヶ所へ設置することが組み込まれている。もう 1 つは地域の医師不足への対応である。現在、当院に近接する海部郡の公立尾陽病院は医師不足で正常機能を果たしていない。このような病院へ当院のような病院から医師を定期的に派遣し診療の手助けをしていく医師派遣のための補助ということで地域医療計画の中に組み込まれている。

・厚労省が今年 4 月から施行した新臨床研修制度（都道府県ごとの定員見直し）に大変悩んでいる。愛知県では今まで多くの研修医を育成し、後期研修も行ってから各病院へ医師を派遣してきたが、この新制度では研修医の育成時点から人員が減少してしまい、既存の救急医療が成り立たなくなるとともに愛知県の医療そのものが先細りになっていってしまう。現在、名古屋市内には当院を含め 5 つの救命救急センターが存在しているが、このような病院にこそ、多くの研修医を配置しないと救急医療そのものが成り立たない。愛知県としては条件設定の 8 割ではなく、現状にマッチした研修医の定数を維持していただきたい旨を厚労省に要望している。

・当院の建築状況だが、漸く古い病棟の撤去工事が終了。現在、整地を行い、駐車場を整備する段階に入っている。従前は駐車場不足で大変ご迷惑をお掛けしていたが、本年 3 月中には 500 台収容の駐車場が完成する。今後は、駐車場待ちの車もなくなり、警察の方々への苦情や道路を使う方々の危険度も解消するのではないかと期待している。

・当院には紹介状がないと受診ができない、紹介状を持参させても診てくれない科が一部分で存在しているようで、このような体制で本当に良いのかと話題になっている。当院の現状としてはかかりつけ医からの紹介状を持参していただき、その上で診察を行い、先生方へ逆紹介するという流れになっているが、一部の患者さんによっては納得がいかないようで、問題提起されている。

・名古屋第一赤十字病院で治療をしなければいけない患者さんを逆紹介する場合は、退院後の外来通院

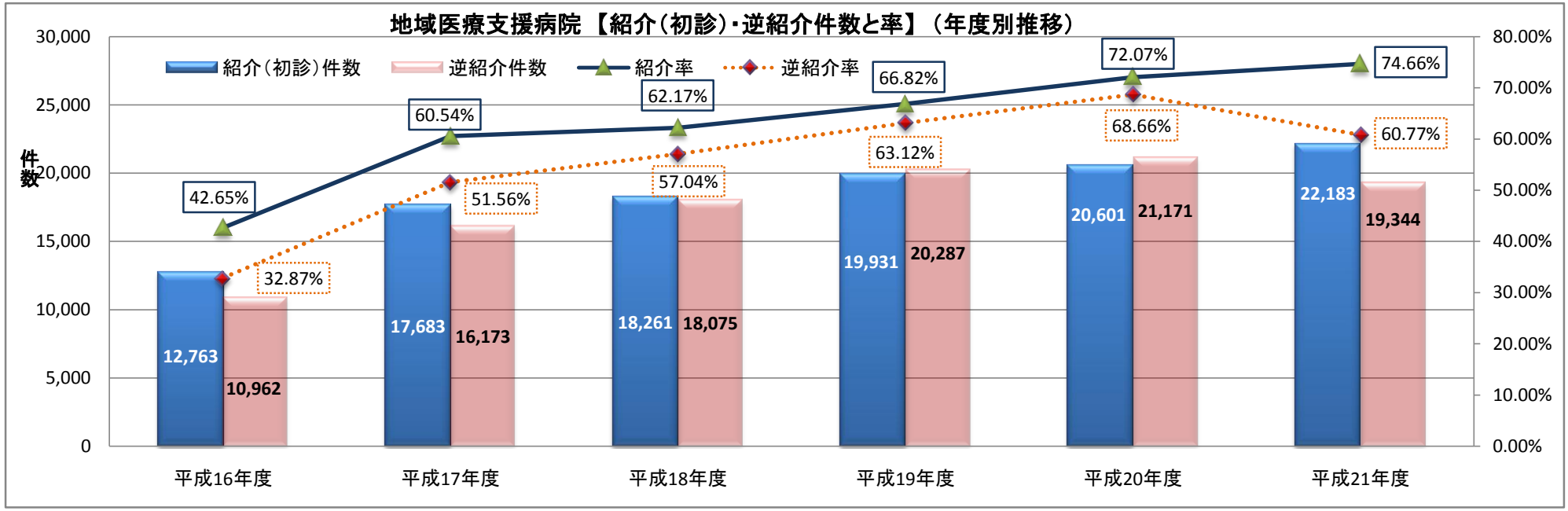
を含めるとかなり後になると思う。例えば、この 1 ヶ月とか 2 週間以内に逆紹介し得る患者を母集団とする算出方法で率を計上してみてはどうか。後は、遠隔成績で処理し、トータルでみると逆紹介率はかなり高いというような感じにしてみてはどうか。

・現在、がんについても病病連携・病診連携を進めるよう国側の意向がある。例えば大腸がんの患者さんが手術後に経過観察となった場合、当院では病病連携・病診連携で逆紹介しているが、患者さんによっては手術後に見捨てられたと思われている方も存在しており、簡単には医療者側と行政の思惑とおりにいかないような気がしている。これを推進するのであれば、もっと社会に知らしめるとか、開業医の先生方にも癌のことをもっと理解していただく必要があると思う。また、緩和ケアの問題も考えておく必要があるので、例えばターミナルの患者さんが家庭に戻った場合には、緩和ケアをするための往診も整備されていなければいけないと思う。このようなシステム作りが徐々には進んでいるようだがまだ滞っているような気がする。

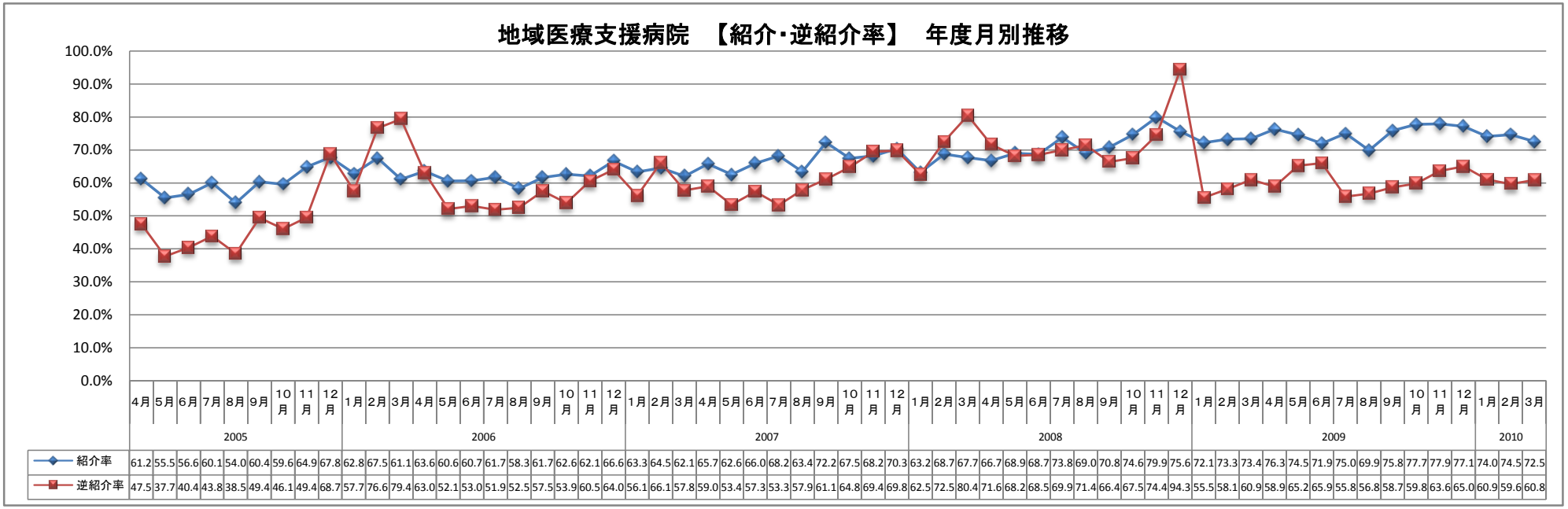
・平成 21 年度第 3 四半期の徒歩救急の患者件数が突出しているが、この突出部分の半分程度は新型インフルエンザの患者。新型インフルエンザの患者はかなりの部分で開業医の先生方に対応していただいたと思っている。当院はこのような事態を想定した設計が成されていなかったことから、結果的に患者を待合室へ押し込め、ピーク時には患者を隔離場所へ呼びに行くか携帯電話に連絡するという対応しか術がなく、かなり込み合ってしまった。

救急搬送される患者は救急隊が上手くトリアージをしている関係で、当院ＥＲに入院する方と搬送後死亡される方を合わせると 5 割を超している。明確な病院毎の数値は分らないが、愛知県下の救命救急センターの大半が入院率 2 割を切っているようで、救命救急センターと云えども入院すらしないで帰宅される方が非常に多いと言える。当院は救命救急センターA の ICU に 16 床、内 8 床は主に ER（救急搬送による院外など）から、後の 8 床は院内入院患者用として整備しているが、年末の最終日は 15 名入院していたし、1 月 4 日の朝にも新たに 15 名の患者が入院していた。今年の年末年始は手術を施行しなければいけない重篤の患者を多く受け入れており非常に大変であった。その後も手一杯の状態が続き今年に入ってまだ 1 ヶ月しか経過していないが、現在も夕方時点で救命救急センターが満床で救急応需できない日がある。例年に比べ今年の第 3 四半期は非常に手術が多くなっていることが特徴と云える。主な手術は腹部大動脈瘤、心筋梗塞、解離性大動脈瘤などだが、心臓血管外科に関しては毎年 3 ヶ月間で十数件の対応が続いている状態。整形外科の搬送件数は多いが、手術の件数はさほど多くない。今年は予定手術の患者でも ICU 使用が非常に多かったこともあり、緊急手術の患者は救命救急センターで例年月の 3 倍（60 件）ほど受け負っていた。

（2）地域医療支援病院 【紹介・逆紹介件数と率】（年度別推移）

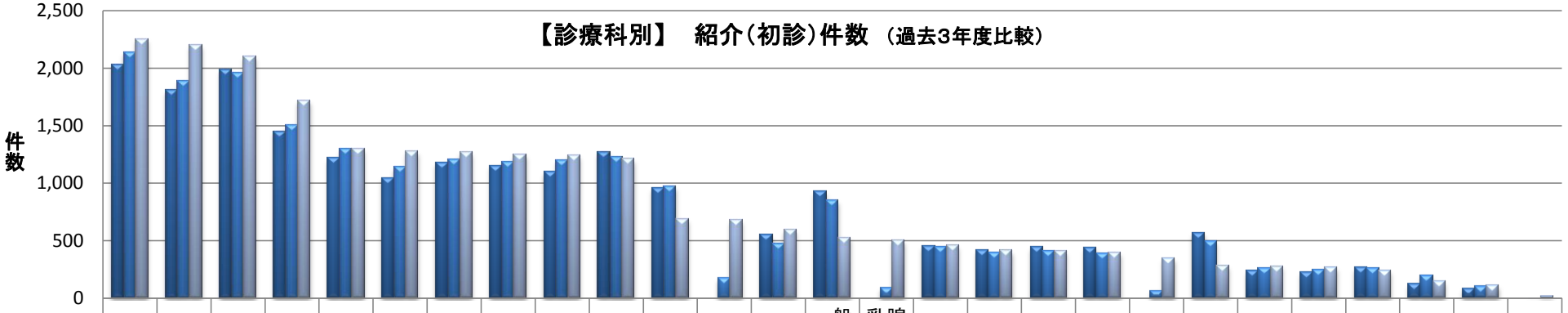


（3）地域医療支援病院 【紹介率・逆紹介率】 年度月別推移



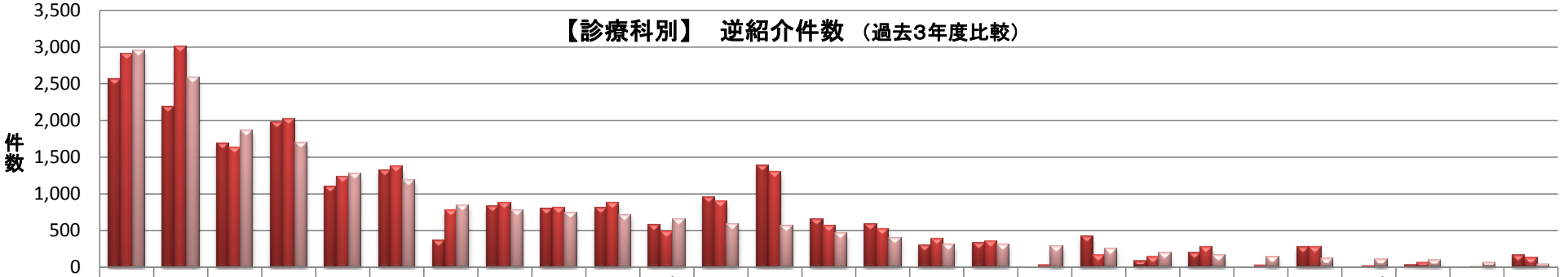
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	2005									2006												2007												2008												2009												2010		
紹介率	61.2	55.5	56.6	60.1	54.0	60.4	59.6	64.9	67.8	62.8	67.5	61.1	63.6	60.6	60.7	61.7	58.3	61.7	62.6	62.1	66.6	63.3	64.5	62.1	65.7	62.6	66.0	68.2	63.4	72.2	67.5	68.2	70.3	63.2	68.7	67.7	66.7	68.9	68.7	73.8	69.0	70.8	74.6	79.9	75.6	72.1	73.3	73.4	76.3	74.5	71.9	75.0	69.9	75.8	77.7	77.9	77.1	74.0	74.5	72.5
逆紹介率	47.5	37.7	40.4	43.8	38.5	49.4	46.1	49.4	68.7	57.7	76.6	79.4	63.0	52.1	53.0	51.9	52.5	57.5	53.9	60.5	64.0	56.1	66.1	57.8	59.0	53.4	57.3	53.3	57.9	61.1	64.8	69.4	69.8	62.5	72.5	80.4	71.6	68.2	68.5	69.9	71.4	66.4	67.5	74.4	94.3	55.5	58.1	60.9	58.9	65.2	65.9	55.8	56.8	58.7	59.8	63.6	65.0	60.9	59.6	60.8

(4)【診療科別】 初診(紹介)件数 (過去3年度比較)



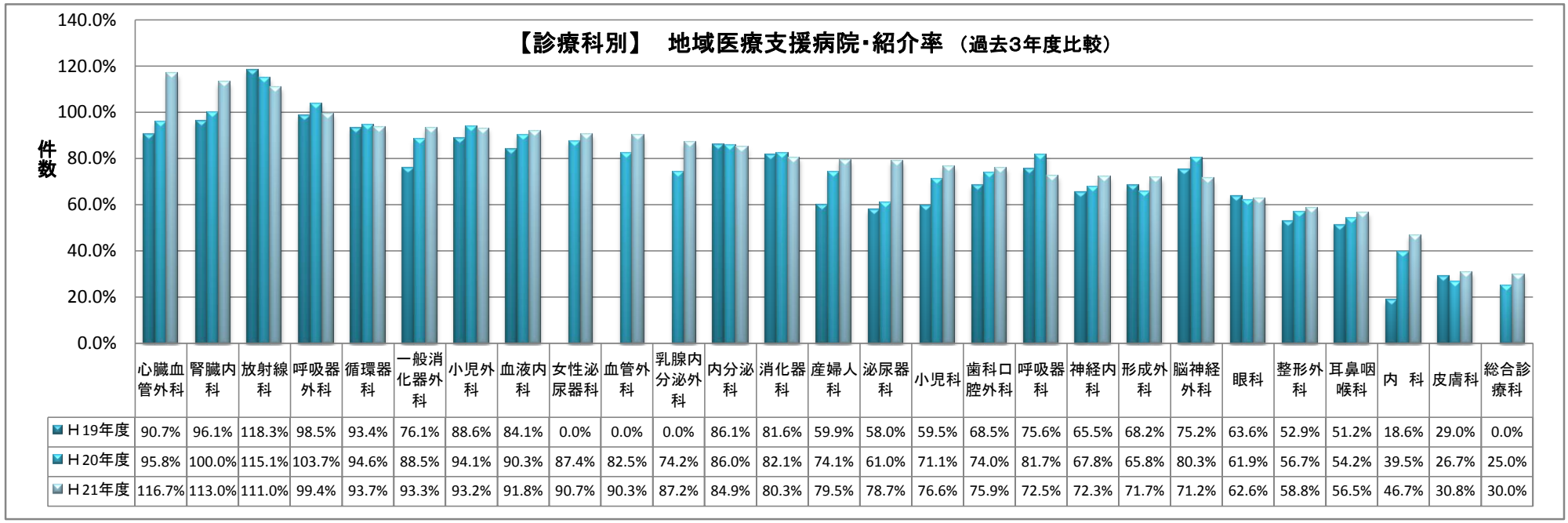
	消化器科	産婦人科	歯科口腔外科	整形外科	小児科	神経内科	循環器科	耳鼻咽喉科	放射線科	呼吸器科	泌尿器科	女性泌尿器科	眼科	一般消化器外科	乳腺内分泌外科	内分泌科	血液内科	脳神経外科	皮膚科	血管外科	心臓血管外科	小児外科	形成外科	腎臓内科	呼吸器外科	内科	総合診療科
H19年度	2,027	1,803	1,984	1,450	1,215	1,045	1,175	1,155	1,098	1,269	960	0	549	927	0	451	417	444	442	0	569	240	228	264	123	86	0
H20年度	2,138	1,892	1,960	1,499	1,294	1,136	1,207	1,184	1,200	1,229	969	174	472	851	89	445	394	411	391	66	493	262	246	259	196	101	3
H21年度	2,252	2,199	2,099	1,714	1,295	1,274	1,270	1,251	1,244	1,208	689	681	596	527	502	459	412	411	398	348	284	279	267	242	149	113	20

(5)【診療科別】 逆紹介件数 (過去3年度比較)



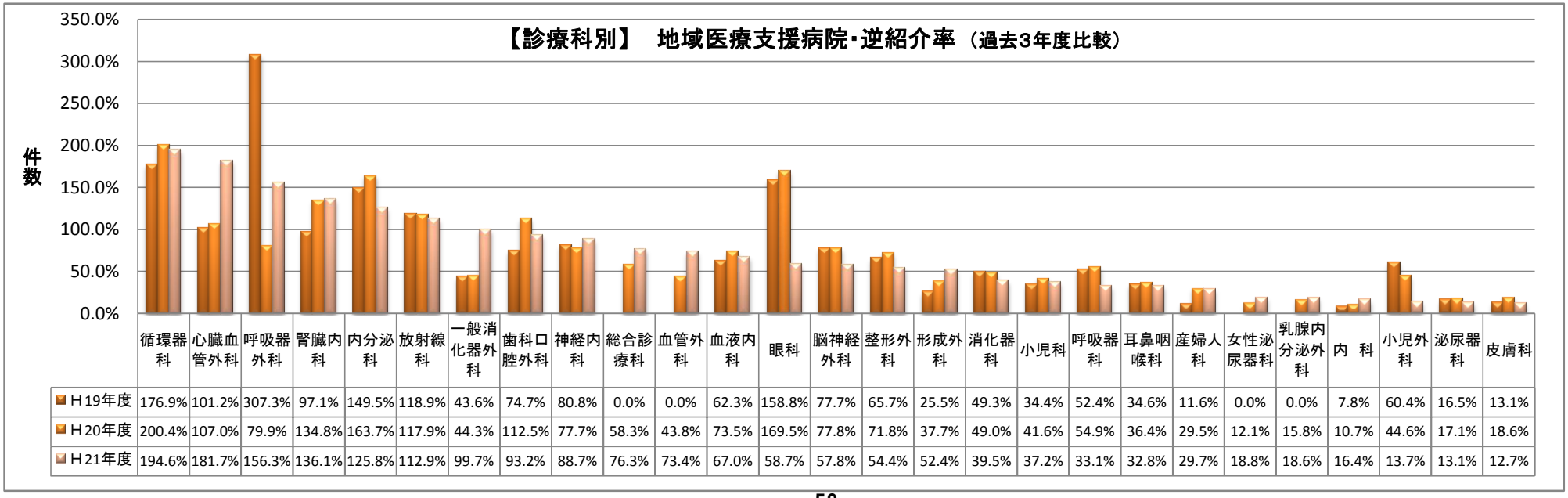
	循環器科	歯科口腔外科	神経内科	整形外科	放射線科	消化器科	産婦人科	小児科	耳鼻咽喉科	内分泌科	一般消化器外科	呼吸器科	眼科	心臓血管外科	脳神経外科	腎臓内科	血液内科	血管外科	呼吸器外科	形成外科	皮膚科	女性泌尿器科	泌尿器科	乳腺内分泌外科	内科	総合診療科	小児外科
H19年度	2,565	2,182	1,684	1,976	1,103	1,322	362	827	797	806	572	955	1,377	651	582	302	325	0	421	86	202	0	276	0	39	0	165
H20年度	2,908	3,012	1,620	2,022	1,230	1,368	774	879	809	879	482	892	1,305	565	518	391	350	35	171	142	278	24	276	19	64	7	128
H21年度	2,952	2,584	1,858	1,695	1,266	1,185	843	779	742	702	657	587	559	456	404	313	312	287	247	196	166	141	117	107	95	61	42

6)【診療科別】 地域医療支援病院・紹介率（過去3年度比較）



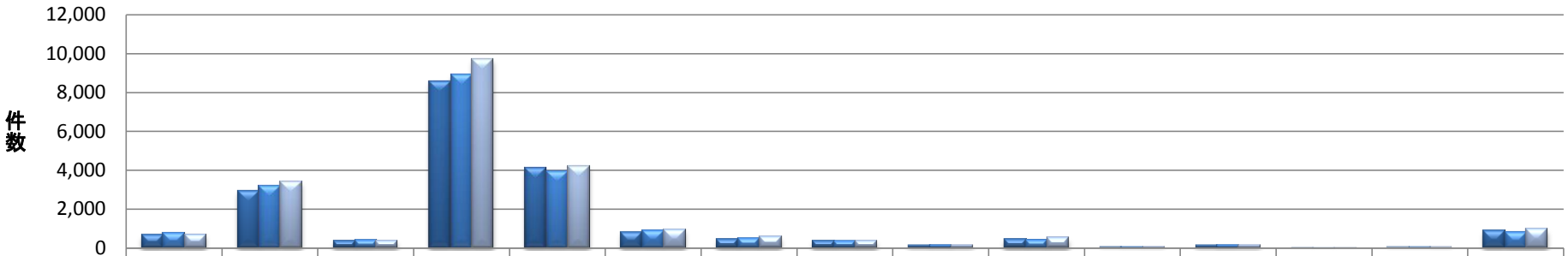
	心臓血管外科	腎臓内科	放射線科	呼吸器外科	循環器科	一般消化器外科	小児外科	血液内科	女性泌尿器科	血管外科	乳腺内分泌外科	内分泌科	消化器科	産婦人科	泌尿器科	小児科	歯科口腔外科	呼吸器科	神経内科	形成外科	脳神経外科	眼科	整形外科	耳鼻咽喉科	内　科	皮膚科	総合診療科
Ｈ19年度	90.7%	96.1%	118.3%	98.5%	93.4%	76.1%	88.6%	84.1%	0.0%	0.0%	0.0%	86.1%	81.6%	59.9%	58.0%	59.5%	68.5%	75.6%	65.5%	68.2%	75.2%	63.6%	52.9%	51.2%	18.6%	29.0%	0.0%
Ｈ20年度	95.8%	100.0%	115.1%	103.7%	94.6%	88.5%	94.1%	90.3%	87.4%	82.5%	74.2%	86.0%	82.1%	74.1%	61.0%	71.1%	74.0%	81.7%	67.8%	65.8%	80.3%	61.9%	56.7%	54.2%	39.5%	26.7%	25.0%
Ｈ21年度	116.7%	113.0%	111.0%	99.4%	93.7%	93.3%	93.2%	91.8%	90.7%	90.3%	87.2%	84.9%	80.3%	79.5%	78.7%	76.6%	75.9%	72.5%	72.3%	71.7%	71.2%	62.6%	58.8%	56.5%	46.7%	30.8%	30.0%

(7)【診療科別】 地域医療支援病院・逆紹介率（過去3年度比較）



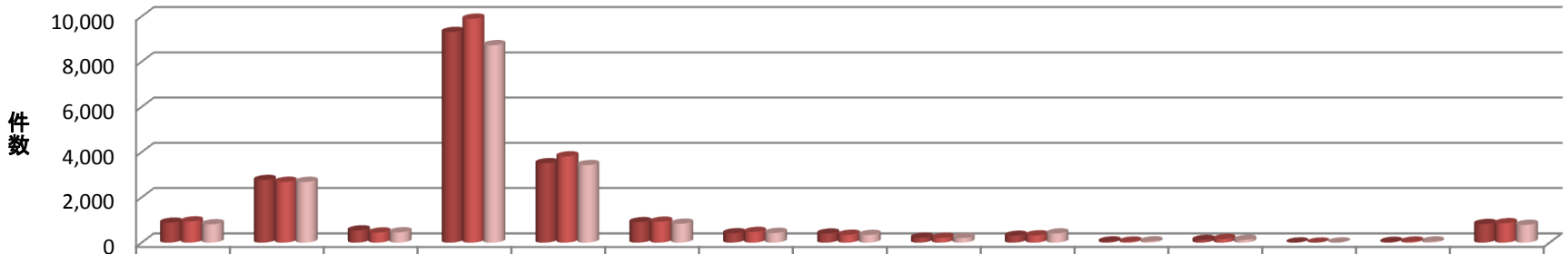
	循環器科	心臓血管外科	呼吸器外科	腎臓内科	内分泌科	放射線科	一般消化器外科	歯科口腔外科	神経内科	総合診療科	血管外科	血液内科	眼科	脳神経外科	整形外科	形成外科	消化器科	小児科	呼吸器科	耳鼻咽喉科	産婦人科	女性泌尿器科	乳腺内分泌外科	内　科	小児外科	泌尿器科	皮膚科
Ｈ19年度	176.9%	101.2%	307.3%	97.1%	149.5%	118.9%	43.6%	74.7%	80.8%	0.0%	0.0%	62.3%	158.8%	77.7%	65.7%	25.5%	49.3%	34.4%	52.4%	34.6%	11.6%	0.0%	0.0%	7.8%	60.4%	16.5%	13.1%
Ｈ20年度	200.4%	107.0%	79.9%	134.8%	163.7%	117.9%	44.3%	112.5%	77.7%	58.3%	43.8%	73.5%	169.5%	77.8%	71.8%	37.7%	49.0%	41.6%	54.9%	36.4%	29.5%	12.1%	15.8%	10.7%	44.6%	17.1%	18.6%
Ｈ21年度	194.6%	181.7%	156.3%	136.1%	125.8%	112.9%	99.7%	93.2%	88.7%	76.3%	73.4%	67.0%	58.7%	57.8%	54.4%	52.4%	39.5%	37.2%	33.1%	32.8%	29.7%	18.8%	18.6%	16.4%	13.7%	13.1%	12.7%

(8)【医療圏別】 2次医療圏別紹介元動向(過去3年度比較)



	名古屋医療圏(A)	名古屋医療圏(B)	名古屋医療圏(C)	名古屋医療圏(D)	海部医療圏	尾張中部医療圏	尾張西部医療圏	尾張北部医療圏	尾張東部医療圏	知多半島医療圏	西三河北部医療圏	西三河南部医療圏	東三河北部医療圏	東三河南部医療圏	愛知県外
H19年度	696	2,927	356	8,580	4,099	798	437	376	129	439	45	129	6	36	878
H20年度	791	3,174	393	8,910	3,931	903	491	353	154	424	54	163	2	38	820
H21年度	711	3,411	373	9,721	4,231	925	564	380	134	511	63	147	4	43	961

(9)【医療圏別】 2次医療圏別紹介先動向(過去3年度比較)



	名古屋医療圏(A)	名古屋医療圏(B)	名古屋医療圏(C)	名古屋医療圏(D)	海部医療圏	尾張中部医療圏	尾張西部医療圏	尾張北部医療圏	尾張東部医療圏	知多半島医療圏	西三河北部医療圏	西三河南部医療圏	東三河北部医療圏	東三河南部医療圏	愛知県外
H19年度	882	2,769	541	9,312	3,511	904	414	400	216	304	50	121	6	34	823
H20年度	938	2,689	447	9,898	3,812	925	473	346	209	320	45	162	1	47	859
H21年度	811	2,686	456	8,728	3,429	835	429	341	202	405	56	123	6	50	787

(10)平成21年度医療機器等の共同利用の実績

1　共同利用の実績
共同利用を行った医療機関延べ数(平成21年4月～平成22年3月)
特殊検査実績　1

検　査　項　目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内視鏡(上部消化管)	8	7	11	17	6	14	10	4	12	9	7	10	115
脳波	5	1	2	4	1	2	0	1	0	0	0	2	18
MR(頭頸部)	47	36	60	42	37	37	49	46	24	42	34	51	505
MR(躯幹)	10	12	26	21	24	22	23	18	9	23	14	14	216
MR(四肢)	0	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	3	7
CT(頭頸部)	2	6	2	3	4	6	3	2	3	5	3	3	42
CT(躯幹)	20	14	23	23	16	19	27	22	11	15	19	27	236
CT(四肢)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
PET－CT	26	18	25	31	15	19	23	23	25	21	17	17	260
64列マルチスライスCT	14	10	14	19	15	15	17	15	15	16	15	18	183
シンチグラム	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	3
骨塩定量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線治療	1	5	2	4	2	3	2	4	2	3	3	2	33
合　計	133	109	166	165	120	137	155	137	102	135	112	148	1,619

開設者と直接関係のない医療機関延べ数(平成21年4月～平成22年3月)
特殊検査実績　2

検　査　項　目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内視鏡(上部消化管)	8	7	11	17	6	14	10	4	12	9	7	10	115
脳波	5	1	2	4	1	2	0	1	0	0	0	2	18
MR(頭頸部)	47	36	60	42	37	37	49	46	24	42	34	51	505
MR(躯幹)	10	12	26	21	24	22	23	18	9	23	14	14	216
MR(四肢)	0	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	3	7
CT(頭頸部)	2	6	2	3	4	6	3	2	3	5	3	3	42
CT(躯幹)	20	14	23	23	16	19	27	22	11	15	19	27	236
CT(四肢)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
PET－CT	26	17	24	31	15	17	23	23	24	21	16	17	254
64列マルチスライスCT	14	10	14	19	15	15	17	15	15	16	15	18	183
シンチグラム	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	3
骨塩定量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線治療	1	5	2	4	2	3	2	4	2	3	3	2	33
合　計	133	108	165	165	120	135	155	137	101	135	111	148	1,613

2　共同利用実績(開放型病床)
共同利用による病床利用率(平成21年4月～平成22年3月)

区　分	開放病床		利用登録医数	利用した医師数	共同指導回数	利用率
	入院患者数	入院患者延人数				
平成21年4月	12	85	1004	12	3	56.7%
平成21年5月	6	47	1011	6	1	30.3%
平成21年6月	4	66	1017	4	0	44.0%
平成21年7月	5	73	1017	5	0	47.1%
平成21年8月	4	31	1018	4	0	20.0%
平成21年9月	5	37	1019	5	0	24.7%
平成21年10月	0	42	1021	0	0	27.1%
平成21年11月	3	63	1021	3	1	42.0%
平成21年12月	1	18	1026	1	0	11.6%
平成22年1月	3	27	1019	3	0	17.4%
平成22年2月	4	43	1024	4	0	30.7%
平成22年3月	0	19	1022	0	0	12.3%
年間合計・年間病床利用率	47	551		47	5	30.2%
月平均	3.9	45.9	1018.3	3.9	0.4	30.0%

(11)病診連携システム登録医数

地　区	医師会会員数(A)	医師会会員数(B)	登録医師(A)	登録医師(B)	登録医師比率(A)	登録医師比率(B)	登録医師比率(A)+(B)	歯科医師会会員数	登録歯科医師	登録歯科医師比率	総比率
中村区	155	200	107	27	69.0%	13.5%	37.7%	127	106	83.5%	49.8%
西　区	100	75	50	13	50.0%	17.3%	36.0%				36.0%
中川区	117	102	64	6	54.7%	5.9%	32.0%	102	76	74.5%	45.5%
中　区	160	150	60	13	37.5%	8.7%	23.5%				23.5%
熱田区	51	50	12	4	23.5%	8.0%	15.8%				15.8%
東　区	72	53	20	0	27.8%	0.0%	16.0%				16.0%
千種区	156	159	24	5	15.4%	3.1%	9.2%				9.2%
守山区	90	59	14	0	15.6%	0.0%	9.4%				9.4%
北　区	127	133	24	0	18.9%	0.0%	9.2%				9.2%
港　区	62	48	8	0	12.9%	0.0%	7.3%				7.3%
名東区	115	85	8	4	7.0%	4.7%	6.0%				6.0%
天白区	109	68	10	1	9.2%	1.5%	6.2%				6.2%
緑　区	135	57	11	1	8.1%	1.8%	6.3%				6.3%
南　区	102	148	12	4	11.8%	2.7%	6.4%				6.4%
瑞穂区	73	76	9	1	12.3%	1.3%	6.7%				6.7%
昭和区	104	142	4	1	3.8%	0.7%	2.0%				2.0%
名古屋市合計	1,728	1,605	437	80	25.3%	5.0%	15.5%	229	182	79.5%	19.6%
海部	132	68	106	21	80.3%	30.9%	63.5%	77	66	85.7%	69.7%
西名古屋	73	56	34	7	46.6%	12.5%	31.8%	61	36	59.0%	40.5%
津島	44	29	19	1	43.2%	3.4%	27.4%				27.4%
尾北	129	133	4	0	3.1%	0.0%	1.5%				1.5%
小牧	69	36	1	0	1.4%	0.0%	1.0%				1.0%
知多郡	170	85	1	0	0.6%	0.0%	0.4%				0.4%
一宮市	214	231	0	1	0.0%	0.4%	0.2%				0.2%
春日井市	180	102	2	1	1.1%	1.0%	1.1%				1.1%
稲沢市	73	40	3	0	4.1%	0.0%	2.7%				2.7%
豊田加茂	196	216	0	1	0.0%	0.5%	0.2%				0.2%
総合計	3,008	2,601	607	112	20.2%	4.3%	12.8%	367	284	77.4%	16.8%

名古屋大学	名古屋市立大学	藤田保健衛生大学	愛知医科大学
374	153	91	89

(12)病診連携システム学術セミナー開催状況

①医科病診連携システム学術セミナー

回　数	開 催 日 ： 会 場	開 催 内 容	講　　師	参加者(医療従事	
				院 内	院 外
第 1 回	平成11年10月23日(土) 午後3時～午後4時30分 日本赤十字愛知女子短期大学 4階階段教室	狭心症をめぐって	座長:循環器科部長　大野三良 内科側から循環器科副部長　神谷春雄 外科側から心臓外科副部長　伊藤敏明	39名	80名
第 2 回	平成12年6月24日(土) 午後2時30分～午後4時30分 名古屋第一赤十字病院 古川講堂	1　内視鏡　up－to－date 2　内視鏡的止血処置と 3　内視鏡手術	司会:第二消化器科部長　日下部篤彦 内視鏡による異物除去 消化器科医師　佐久間晶子 主として上部消化管 第一消化器科副部長　春田純一 主として下部消化管及び胆道系 第二消化器科副部長　山口丈夫 診療所医師の立場から 竹田内科胃腸科クリニック　竹田信彦	28名	53名
第 3 回	平成13年9月29日(土) 午後3時～午後5時 名古屋第一赤十字病院 古川講堂	1　内視鏡　up－to－date 2　外科系各科における今日の 3　内視鏡治療	外科、呼吸器外科、整形外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科、脳神経外科 各科から主にVideを中心に発表 開業医における内視鏡検査の実情 奥村胃腸科外科院長　奥村恪郎	39名	51名
第 4 回	平成14年9月21日(土) 午後3時～午後5時 名古屋第一赤十字病院 古川講堂	1　Brain　attackの時代に 診療の現場から 2　診断・超音波診断の有用 性・SPECTの有用性 3　治療・外科的治療の現状 ・脳動脈瘤、脳出血の治療、 4　閉塞性脳血管障害の治療 ・リハビリテーションの効果 5　・エビデンスに基づく二次予防	司会:神経内科部長　真野和夫 脳神経外科部長　稲尾意秀 診断・超音波診断の有用性:神経内科:中野智伸SP ECTの有用性:神経内科:山下史国 脳動脈の治療:脳神経外科:西沢俊久　脳出血の治療:脳神経外科副部長:池田浩司 閉塞性脳血管障害:脳神経外科:壁谷隆介　リハビリテーションの効果:鵜飼ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮｵﾝ病院副院長:鄭　統圭 神経内科副部長　後藤洋二	32名	44名
第 5 回	平成15年10月25日(土) 午後3時～午後5時 名古屋第一赤十字病院 古川講堂	糖尿病 より良い全身管理を目ざして 1　診療所の立場から 2　糖尿病網膜症の実態、 内科医に期待したいこと 3　糖尿病性腎症の自然暦、現況と腎症管理の基本的視点糖尿病性腎症以外の腎疾患をどう疑うか 4　冠動脈疾患の視点から見 た糖尿病とその予防 5　抹梢血管病変から見た 糖尿病とその予防 6　まとめ	司会:第三内科部長　山守育雄 糖研会R＆Kクリニック鬼頭内科 院長 鬼頭柳三 眼科医師　鈴木俊光 第二内科部長代理　市田静憲 第一循環器科副部長　佐野宏明 第一外科副部長　山本清人 第三内科部長　山守育雄	23名	49名
第 6 回	平成16年10月23日(土) 午後3時～午後5時 名古屋第一赤十字病院 古川講堂	高血圧症−合併症を防ぐには− 1　家庭医からみた高血圧症 2　高血圧と腎障害 3　高血圧と脳血管障害 4　高血圧と心臓病 5　まとめ	司会:副院長　大野三良 藤田内科小児科医院 院長　藤田淳士 第二内科部長　市田静憲 脳神経外科副部長　加藤恭三 第一循環器科副部長　佐野宏明 副院長　大野三良	23名	47名
第 7 回	平成17年10月29日(土) 午後3時～午後5時 名古屋第一赤十字病院 古川講堂	「めまい」について 1「メニエール病とその注意点」 2　耳鼻科医の立場から 3　循環器科医の立場から 4　神経内科医の立場から 5　脳神経外科医の立場から 副題「脳腫瘍と椎骨動脈解離」 6　精神科医の立場から	司会:第一神経内科部長　真野和夫 吉川耳鼻咽喉科 院長　吉川兼人 名古屋第一赤十字病院 耳鼻咽喉科医師　古橋　篤 名古屋第一赤十字病院 第二循環器科副部長　牧野光恭 名古屋第一赤十字病院 第二神経内科部長　後藤洋二 名古屋第一赤十字病院 脳神経外科副部長　池田浩司 名古屋第一赤十字病院 精神科部長　中西雅夫	30名	61名

回　数	開 催 日 ： 会 場	開 催 内 容	講　　師	参加者(医療従事者) 院 内	院 外
第 8 回	平成18年10月21日(土) 午後3時～午後5時 名古屋第一赤十字病院 内ヶ島講堂	「プライマリー・ケアで診る家庭医に必要な小児救急の知識」 1 開業医から診た小児救急の問題点について 2 名古屋第一赤十字病院小児科の立場から (1)発熱の対処、紹介、入院の目安 (2)嘔吐、下痢などの脱水のCare、入院回避のコツ (3)喘鳴、気道感染などの対処 3 名古屋第一赤十字病院皮膚科の立場から「小児期発疹のあれこれ」 4 勤務医から診療所へ、診療所から勤務医へ	座長:第四小児科部長　羽田野 爲夫 フジノ内科 藤野　均先生 名古屋第一赤十字病院 小児科医長　丸山　幸一 名古屋第一赤十字病院 第四小児科部長　　羽田野 爲夫 名古屋第一赤十字病院 第一小児科副部長　月舘　千寿子 名古屋第一赤十字病院 皮膚科部長　安藤　浩一 名古屋第一赤十字病院 第四小児科部長　　羽田野 爲夫	28名	92名
第 9 回	平成19年10月20日(土) 午後6時30分～ ヒルトン名古屋　5階「扇の間」	平成20年度開始の特定健診に臨んで 座長講演 「特定健診に臨んで」 基調講演 「当院での特定健診・特定保健指導」 特別講演 1)「開業医から考える特定健診とは」 特別講演 2)「特定健診・特定保険指導とNPOのかかわり」	名古屋第一赤十字病院 副院長　大野　三良 名古屋第一赤十字病院 健診部長　野村　史郎 細川外科クリニック 院長　細川　秀一 愛知県医師会 健診・保険事業理事 水上クリニック　院長　水上　哲秀	15名	100名
第 10 回	平成20年7月12日(土) 午後5時～午後7時 名古屋ルーセントタワー16階	【在宅医療に向けて】 Ⅰ)診療所側から 講演1 「在宅医療の病診連携における問題点」 講演2 「診療所からみた在宅医療のための病診連携」 Ⅱ)病院側から 講演1 「在宅における胃瘻管理」 講演2 「在宅における酸素療法」 講演3 「在宅における排尿管理」 講演4 「がん性疼痛・緩和ケア」	(医)心月会 じょうど医院 院長 森 光春 先生 (医)古山医院 院長　古山 明夫 先生 名古屋第一赤十字病院 消化器内科 山田 恵一 名古屋第一赤十字病院 呼吸器科部長 野村 史郎 名古屋第一赤十字病院 泌尿器科部長 村瀬 達良 名古屋第一赤十字病院 緩和ｹｱ科部長 北折 健次郎	17名	56名
第 11 回	平成21年7月11日(土) 午後5時～午後7時 名古屋ルーセントタワー16階	～日常臨床におけるうつ病対策～ 講演Ⅰ 「見逃しやすいうつ病患者とその対応」 講演Ⅱ 「うつ病の早期発見と治療」	中村公園メンタルクリニック 院長　佐藤 信幸 先生 名古屋大学名誉教授・愛知淑徳大学教授 (医)北林会 北林病院 名誉院長　太田 龍朗 先生	27名	70名

②歯科病診連携システム学術セミナー

回　数	開 催 日 ： 会 場	開 催 内 容	座長・講師・演者等	参加者(医療従事者) 院 内	院 外
第 1 回	平成10年2月23日(木) 午後3時～午後5時30分 名古屋第一赤十字病院 古川講堂	1 歯科診療所における救急蘇生 2 救急薬品の使用法について 3 実技指導 気道確保・人工呼吸・注射	座長:名古屋第一赤十字病院 口腔外科部長　下郷和雄 演者:名古屋第一赤十字病院 口腔外科副部長　大岩伊知郎 実技指導者:名古屋第一赤十字病院 口腔外科部長　下郷和雄 口腔外科副部長　大岩伊知郎	6名	75名
第 2 回	平成14年2月28日(木) 午後3時～午後6時30分 名古屋第一赤十字病院 古川講堂	1 最近の口腔外科診療 2 循環器疾患と歯科治療 3 糖尿病と歯周疾患	座長:名古屋第一赤十字病院 口腔外科部長　下郷和雄 演者:名古屋第一赤十字病院 口腔外科副部長　大岩伊知郎 演者:名古屋第一赤十字病院 循環器科部長　大野三良 演者:名古屋第一赤十字病院 第三内科部長　山守育雄	8名	90名
第 3 回	平成17年7月14日(木) 午後4時～午後5時30分 名古屋第一赤十字病院 古川講堂	「ウイルス性肝炎の診断と治療の進歩」	座長:名古屋第一赤十字病院 歯科口腔外科副部長　梅村昌宏 演者:名古屋第一赤十字病院 第一消化器科部長　春田純一	13名	67名

回　数	開 催 日 ： 会 場	開 催 内 容	座長・講師・演者等	参加者（医療従事者）	
				院 内	院 外
第 4 回	平成18年5月25日（木） 午後5時～午後6時30分 名古屋第一赤十字病院 内ヶ島講堂	「名古屋第一赤十字病院口腔外科における顔面外傷の取り組み」	座長：名古屋第一赤十字病院 歯科部長　大岩伊知郎 講師：名古屋第一赤十字病院 歯科口腔外科部長　梅村昌宏	13名	53名
第 5 回	平成19年10月25日（木） 午後5時～午後7時30分 名古屋第一赤十字病院 内ヶ島講堂	講演Ⅰ「ｲﾝﾌﾟﾗﾝﾄの長期症例について」 講演Ⅱ「口腔癌の早期診断に向けて」	座長：名古屋第一赤十字病院 歯科口腔外科部長　梅村昌宏 演者：興福歯科医院 院長　西田　尚　先生 演者：名古屋第一赤十字病院 歯科部長　大岩伊知郎	15名	90名
第 6 回	平成20年11月13日（木） 午後6時～午後7時 名古屋第一赤十字病院 内ヶ島講堂	演題Ⅰ「BP製剤使用に関する一般歯科医院での問題点」 演題Ⅱ「骨粗鬆症」 演題Ⅲ「ﾋﾞｽﾌｫｽﾌｫﾈｰﾄ製剤と顎骨壊死」	座長：名古屋第一赤十字病院 歯科部長　大岩伊知郎 演者：中村区歯科医師会：学術担当 中部矯正歯科ｸﾘﾆｯｸ院長　遠藤泰昭先生 演者：名古屋第一赤十字病院 第一整形外科部長　大澤良充 演者：名古屋第一赤十字病院 歯科口腔外科副部長　藤原成祥	16名	87名

(13)平成21年度地域医療研修プログラム実績

開催年月日	曜日	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加医療従事者	参加者(医療従事者)	
					院　内	院　外
2009年4月20日	月	第4回名古屋西部・病院歯科研修会 参加対象:医療従事者 名古屋第一赤十字病院　研修室1	症例検討会 口腔顎顔面外傷	医師	9名	6名
2009年6月15日	月	第5回名古屋西部・病院歯科研修会 参加対象:医療従事者 名古屋第一赤十字病院　研修室1	症例検討会 顎骨骨折治療	医師	7名	9名
2009年8月17日	月	第6回名古屋西部・病院歯科研修会 参加対象:医療従事者 名古屋第一赤十字病院　研修室1	症例検討会 異所性埋伏歯　2例 下顎骨関節突起骨折　2例	医師	8名	9名
2009年10月15日	木	第7回名古屋第一赤十字病院 　地域歯科医師会病診連携システム学術セミナー 参加対象:医療従事者	「歯性感染症における経口抗菌薬使用とその注意点」 講師:名古屋第一赤十字病院　薬剤部 　　教育研修課長職務代理　池田 義明 「わかりやすい糖尿病の診断と治療について～歯科治療上の注意点～」 講師:名古屋第一赤十字病院 　　内分泌内科部長　山守 育雄	医療従事者	20名	83名
2009年10月19日	月	第6回名古屋西部・病院歯科研修会 参加対象:医療従事者 名古屋第一赤十字病院　研修室1	「パノラマX線写真の読影」 講師:愛知学院大学歯学部歯科放射線学講座 　　教授　有地 榮一郎　先生	医師	8名	8名
2009年11月29日	日	平成21年度三師会健康づくり講演会 参加対象:医療従事者、一般市民 常滑市 福祉会館北館2階　E・F会議室	「口と"がん"の話し」 講師:名古屋第一赤十字病院 　　歯科・口腔外科部長　大岩　伊知郎	医療従事者	1名	12名
2009年5月1日	金	MC事後検証会 中村消防署 参加対象:医療従事者	講師:名古屋第一赤十字病院　救急部 救急部　部長　花木 芳洋	医師、看護師、救命救急士	1名	48名
2009年6月25日	木	MC事後検証会 中村消防署 参加対象:医療従事者	講師:名古屋第一赤十字病院　救急部 救急部　部長　花木 芳洋	医師、看護師、救命救急士	1名	41名
2009年7月30日	木	MC事後検証会 中村消防署 参加対象:医療従事者	講師:名古屋第一赤十字病院　救急部 救急部　部長　花木 芳洋	医師、看護師、救命救急士	1名	26名
2009年8月28日	金	MC事後検証会 中村消防署 参加対象:医療従事者	講師:名古屋第一赤十字病院　救急部 救急部　部長　花木 芳洋	医師、看護師、救命救急士	2名	29名
2009年11月9日	月	MC事後検証会 中村消防署 参加対象:医療従事者	講師:名古屋第一赤十字病院　救急部 救急部　部長　花木 芳洋	医師、看護師、救命救急士	1名	25名
2009年12月14日	月	MC事後検証会 中村消防署 参加対象:医療従事者	講師:名古屋第一赤十字病院　救急部 救急部　部長　花木 芳洋	医師、看護師、救命救急士	1名	30名
2010年2月3日	水	MC事後検証会 中村消防署 参加対象:医療従事者	講師:名古屋第一赤十字病院　救急部 救急部　部長　花木 芳洋	医師、看護師、救命救急士	1名	24名
2009年7月26日	日	ICLS研修会 名古屋第一赤十字病院　内ヶ島講堂 参加対象:医療従事者	講師:名古屋第一赤十字病院　救急部 救急部　部長　花木 芳洋	医師、看護師、救命救急士	20名	2名
2010年1月24日	日	名古屋市医師会ACLS研修会 名古屋市医師会館6階大会議室、5階第2、3会議室 参加対象:医療従事者	講師:名古屋第一赤十字病院　救急部 救急部　部長　花木 芳洋	医師	4名	24名
2009年6月5日	金	地域医師会・名古屋第一赤十字病院、夏期肺癌研修会 参加対象:海部医療従事者 海部地区休日診療所	講師:名古屋第一赤十字病院 副院長兼呼吸器科部長　酒井 秀造	医師	1名	4名

開催年月日	曜日	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加医療従事者	参加者（医療従事者）	
					院　内	院　外
2009年6月12日	金	地域医師会・名古屋第一赤十字病院、夏期肺癌研修会 参加対象：海部医療従事者 海部地区休日診療所	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼呼吸器科部長　酒井 秀造	医師	1名	5名
2009年6月19日	金	地域医師会・名古屋第一赤十字病院、夏期肺癌研修会 参加対象：海部医療従事者 海部地区休日診療所	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼呼吸器科部長　酒井 秀造	医師	1名	5名
2009年6月26日	金	地域医師会・名古屋第一赤十字病院、夏期肺癌研修会 参加対象：海部医療従事者 海部地区休日診療所	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼呼吸器科部長　酒井 秀造	医師	1名	4名
2009年7月3日	金	地域医師会・名古屋第一赤十字病院、夏期肺癌研修会 参加対象：海部医療従事者 海部地区休日診療所	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼呼吸器科部長　酒井 秀造	医師	1名	4名
2009年7月10日	金	地域医師会・名古屋第一赤十字病院、夏期肺癌研修会 参加対象：海部医療従事者 海部地区休日診療所	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼呼吸器科部長　酒井 秀造	医師	1名	4名
2009年7月17日	金	地域医師会・名古屋第一赤十字病院、夏期肺癌研修会 参加対象：海部医療従事者 海部地区休日診療所	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼呼吸器科部長　酒井 秀造	医師	1名	5名
2009年7月24日	金	地域医師会・名古屋第一赤十字病院、夏期肺癌研修会 参加対象：海部医療従事者 海部地区休日診療所	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼呼吸器科部長　酒井 秀造	医師	1名	4名
2009年7月31日	金	地域医師会・名古屋第一赤十字病院、夏期肺癌研修会 参加対象：海部医療従事者 海部地区休日診療所	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼呼吸器科部長　酒井 秀造	医師	1名	4名
2009年8月7日	金	地域医師会・名古屋第一赤十字病院、夏期肺癌研修会 参加対象：海部医療従事者 海部地区休日診療所	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼呼吸器科部長　酒井 秀造	医師	1名	5名
2009年8月21日	金	地域医師会・名古屋第一赤十字病院、夏期肺癌研修会 参加対象：海部医療従事者 海部地区休日診療所	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼呼吸器科部長　酒井 秀造	医師	1名	4名
2009年8月28日	金	地域医師会・名古屋第一赤十字病院、夏期肺癌研修会 参加対象：海部医療従事者 海部地区休日診療所	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼呼吸器科部長　酒井 秀造	医師	1名	5名
2009年9月4日	金	地域医師会・名古屋第一赤十字病院、夏期肺癌研修会 参加対象：海部医療従事者 海部地区休日診療所	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼呼吸器科部長　酒井 秀造	医師	1名	4名
2009年9月11日	金	地域医師会・名古屋第一赤十字病院、夏期肺癌研修会 参加対象：海部医療従事者 海部地区休日診療所	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼呼吸器科部長　酒井 秀造	医師	1名	5名
2009年9月18日	金	地域医師会・名古屋第一赤十字病院、夏期肺癌研修会 参加対象：海部医療従事者 海部地区休日診療所	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼呼吸器科部長　酒井 秀造	医師	1名	5名
2009年9月25日	金	地域医師会・名古屋第一赤十字病院、夏期肺癌研修会 参加対象：海部医療従事者 海部地区休日診療所	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼呼吸器科部長　酒井 秀造	医師	1名	6名
2009年10月2日	金	地域医師会・名古屋第一赤十字病院、夏期肺癌研修会 参加対象：海部医療従事者 海部地区休日診療所	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼呼吸器科部長　酒井 秀造	医師	1名	5名
2009年5月22日	金	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、胃癌二重読影研修会 参加対象：医療従事者 東棟2階　会議室３	講師：名古屋第一赤十字病院 第一消化器科部長　春田　純一	医師	1名	2名

開催年月日	曜日	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加医療従事者	参加者（医療従事者）	
					院　内	院　外
2009年7月24日	金	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、胃癌二重読影研修会 参加対象：医療従事者 東棟2階　会議室３	講師：名古屋第一赤十字病院 第一消化器科部長　春田　純一	医師	1名	7名
2009年9月25日	金	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、胃癌二重読影研修会 参加対象：医療従事者 東棟2階　会議室３	講師：名古屋第一赤十字病院 第一消化器科部長　春田　純一	医師	1名	9名
2009年11月27日	金	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、胃癌二重読影研修会 参加対象：医療従事者 東棟2階　会議室３	講師：名古屋第一赤十字病院 第一消化器科部長　春田　純一	医師	1名	8名
2010年1月22日	金	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、胃癌二重読影研修会 参加対象：医療従事者 東棟2階　会議室３	講師：名古屋第一赤十字病院 第一消化器科部長　春田　純一	医師	1名	3名
2010年3月26日	金	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、胃癌二重読影研修会 参加対象：医療従事者 東棟2階　会議室３	講師：名古屋第一赤十字病院 第一消化器科部長　春田　純一	医師	1名	7名
2009年4月22日	水	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医療従事者 東棟2階　会議室３	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼内科部長　酒井 秀造	医師	1名	6名
2009年5月27日	水	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医療従事者 東棟2階　会議室２	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼内科部長　酒井 秀造	医師	1名	6名
2009年6月24日	水	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医療従事者 東棟2階　会議室３	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼内科部長　酒井 秀造	医師	1名	10名
2009年7月22日	水	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医療従事者 東棟2階　会議室３	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼内科部長　酒井 秀造	医師	1名	8名
2009年8月26日	水	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医療従事者 東棟2階　会議室３	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼内科部長　酒井 秀造	医師	1名	7名
2009年9月30日	水	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医療従事者 東棟2階　会議室３	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼内科部長　酒井 秀造	医師	1名	7名
2009年10月28日	水	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医療従事者 東棟2階　会議室３	講師：名古屋第一赤十字病院 呼吸器科部長　野村　史郎	医師	1名	8名
2009年11月25日	水	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医療従事者 東棟2階　会議室３	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼内科部長　酒井 秀造	医師	1名	9名
2010年1月27日	水	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医療従事者 東棟2階　会議室３	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼内科部長　酒井 秀造	医師	1名	7名
2010年2月24日	水	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医療従事者 東棟2階　会議室３	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼内科部長　酒井 秀造	医師	1名	11名
2010年3月24日	水	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医療従事者 東棟2階　会議室３	講師：名古屋第一赤十字病院 呼吸器科部長　野村　史郎	医師	1名	7名
2009年5月28日	木	名古屋第一赤十字病院循環器内科 参加対象：医療従事者 東棟2階　会議室４	講師：名古屋第一赤十字病院 第二循環器内科部長　神谷　春雄	医師	2名	6名

開催年月日	曜日	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加医療従事者	参加者（医療従事者）	
					院　内	院　外
2009年7月23日	木	名古屋第一赤十字病院循環器内科 参加対象：医療従事者 東棟2階　会議室 1	講師：名古屋第一赤十字病院 第二循環器内科部長　神谷　春雄	医師	2名	6名
2009年9月24日	木	名古屋第一赤十字病院循環器内科 参加対象：医療従事者 東棟2階　会議室 1	講師：名古屋第一赤十字病院 第二循環器内科部長　神谷　春雄	医師	2名	7名
2010年11月19日	木	名古屋第一赤十字病院循環器内科 参加対象：医療従事者 東棟2階　会議室 1	講師：名古屋第一赤十字病院 第二循環器内科部長　神谷　春雄	医師	3名	5名
2009年4月20日	月	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院 合同カンファランス 東棟2階　会議室 3	内分泌内科研修会・症例検討会 演者：内分泌内科部長　山守　育雄	医師	4名	8名
2009年5月18日	月	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院 合同カンファランス 東棟2階　会議室 3	一般消化器外科研修会・症例検討会 演者：副院長兼第一外科部長　宮田　完志	医師	18名	11名
2009年6月15日	月	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院 合同カンファランス 東棟2階　会議室 3	循環器科研修会・症例検討会 演者：副院長兼第一循環器科部長　大野　三良	医師	12名	14名
2009年7月27日	月	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院 合同カンファランス 東棟2階　会議室 3	呼吸器内科研修会・症例検討会 演者：呼吸器内科部長　野村　史郎	医師	10名	7名
2009年9月21日	月	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院 合同カンファランス 東棟2階　会議室 3	研修会・症例検討会 演者：耳鼻咽喉科部長　柘植　勇人	医師	5名	10名
2009年10月19日	月	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院 合同カンファランス 東棟2階　会議室 3	研修会・症例検討会 演者：副院長兼第一循環器科部長　大野　三良	医師	12名	12名
2009年11月16日	月	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院 合同カンファランス 東棟2階　会議室 3	消化器内科研修会・症例検討会 演者：第一消化器科部長　春田　純一	医師	12名	12名
2009年12月21日	月	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院 合同カンファランス 東棟2階　会議室 3	血液内科研修会・症例検討会 演者：血液内科部長　宮村　耕一	医師	1名	7名
2010年1月18日	月	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院 合同カンファランス 東棟2階　内ヶ島講堂	研修会・症例検討会 演者：呼吸器科部長　野村　史郎	医師	14名	8名
2010年2月15日	月	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院 合同カンファランス 東棟2階　会議室 3	呼吸器科研修会・症例検討会 演者：副院長兼第一循環器科部長　大野　三良	医師	11名	8名
1900年1月15日	月	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院 合同カンファランス 東棟2階　会議室 3	循環器科研修会・症例検討会 演者：緩和ケア科部長　北折 健次郎	医師	2名	11名
2009年4月3日	金	第52回内分泌若手勉強会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟　会議室4	症例検討会 講師：名古屋第一赤十字病院 内分泌内科部長　山守 育雄	医師	12名	4名
2009年4月17日	金	メディカルフォーラム四日市 参加対象：医療従事者 ロワジールホテル四日市　3階　ｴﾒﾗﾙﾄﾞﾎｰﾙ	「動脈硬化の退縮を目指した最新の治療指針」 講師：名古屋第一赤十字病院 第二循環器内科部長　神谷 春雄	医師	1名	12名
2009年5月20日	水	中村区支部研修会 参加対象：医療従事者 中村区休日診療所　3階会議室	「地域医療支援病院における消化管疾患診療の現状」 講師：名古屋第一赤十字病院 消化器内科部長　春田　純一	医師	1名	14名

開催年月日	曜日	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加医療従事者	参加者（医療従事者）	
					院　内	院　外
2009年5月27日	水	瑞穂区若手医師の会 参加対象：医療従事者 八事サーウィンストンホテル 2階 ウィンストンホテル	「糖尿病の薬物療法　次の一手」 講師：名古屋第一赤十字病院 内分泌内科部長　山守 育雄	医師	1名	6名
2009年5月29日	金	血液疾患感染対策 参加対象：医療従事者 名古屋東急ホテル3F　ルネッサンス	「侵襲性肺アスペルギルス症合併の最重症再生不良性貧血に 対して緊急で同種末梢血幹細胞移植を行った一例」 講師：名古屋第一赤十字病院　血液内科 塚本 祥吉	医療従事者	6名	50名
2009年6月5日	金	第53回内分泌若手勉強会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟　会議室4	症例検討会 講師：名古屋第一赤十字病院 内分泌内科部長　山守 育雄、乳腺内分泌外科部長　後藤 康友	医師	11名	8名
2009年6月17日	水	中村区支部研修会 参加対象：医療従事者 中村区休日診療所　3階会議室	「最近のCOPDの話題」 講師：名古屋第一赤十字病院 呼吸器内科部長　野村　史郎	医師	1名	19名
2009年6月24日	水	第29回中村区整形外科医会 参加対象：医療従事者 名鉄ニューグランドホテル7階「扇の間」	症例検討会 講師：名古屋第一赤十字病院 第一整形外科部長　大澤　良充	医師	10名	11名
2009年7月4日	土	第6回中村区糖尿病研究会 参加対象：医療従事者 ソフィテル ザ サイプレス名古屋 2階 ザ・サイプレスルーム	「自己血糖測定をどう活かすか」 講師：名古屋セントラル病院 糖尿病・内分泌内科　科長　江口 陽子　先生 名古屋第一赤十字病院 内分泌内科部長　山守 育雄	医師	2名	26名
2009年7月11日	土	第11回名古屋第一赤十字病院病診連携システム学術セミナー 参加対象：医療従事者 名古屋ルーセントタワー　16階	「見逃しやすいうつ病患者とその対応」 講師：中村公園メンタルクリニック　院長　佐藤　信幸 先生 「うつ病の早期発見と治療」 講師：名古屋大学名誉教授・愛知淑徳大学教授 （医）北林会　北林病院　名誉院長　太田　龍朗　先生	医師	27名	70名
2009年7月14日	火	名古屋第一赤十字病院地域医療連携学術講演会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院 東棟2階 内ヶ島講堂	「癌骨転移に対する放射線治療について」 講師：厚生連 相模原協同病院 放射線科部長　福原　昇　先生	医療従事者	126名	16名
2009年7月16日	木	津島市医師会勉強会 参加対象：医療従事者 アイプラザ津島　2F　会議室4	「急性冠症候群の治療戦略」～病診連携の理想的なCollaboration～ 講師：名古屋第一赤十字病院 循環器内科部長　神谷　春雄	医師	1名	2名
2009年7月22日	水	第18回南区医師会 中京病院病診連携 参加対象：医療従事者 南区支部会館　2階会議室	「2型糖尿病の薬物療法におけるビグアナイド薬の役割」 講師：名古屋第一赤十字病院 内分泌内科部長　山守 育雄	医療従事者	1名	11名
2009年8月3日	月	第9回小児医療センター講演会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院 東棟2階 内ヶ島講堂	「新生児糖尿病の1例」 演者：名古屋第一赤十字病院　横塚 太郎 「細菌性髄膜炎から脳室炎に進展した1例」 演者：名古屋第一赤十字病院　西門 優一 「腹痛を主訴に来院した2症例」 演者：名古屋第一赤十字病院　大森 大輔 「一般診療で出会う小児の貧血」 演者：名古屋第一赤十字病院　吉田 奈央	医療従事者	21名	18名
2009年8月26日	水	名古屋第一赤十字病院【NBC災害講演会】 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院 東棟2階 内ヶ島講堂	「特殊災害（化学）における医学的対処法について」 講師：防衛医科大学 准教授（バイオ対策室）　加來 浩器　先生	医療従事者	104名	11名
2009年8月26日	水	血管疾患セミナー 参加対象：医療従事者 名鉄ニューグランドホテル　7階　扇の間	「名古屋第一赤十字病院での血管患者診療体制」 演者：名古屋第一赤十字病院　血管外科部長 錦見　尚道	医療従事者	1名	24名

開催年月日	曜日	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加医療従事者	参加者（医療従事者）	
					院　内	院　外
2009年8月29日	土	第3回中村区臨床医家研修会 参加対象：医療従事者 名古屋銀行協会　4階　403	「これからの医療機関経営のポイント；患者さんから選ばれる 医療機関を目指して代替わり後の医療経営も含めて」 サンテ医業コンサル　代表　田中　豊章　先生 「病診連携の現状」 演者：名古屋第一赤十字病院　地域医療連携室 室長　竹内 勝秀 「CKDの治療戦略と病診連携」 演者：名古屋第一赤十字病院　腎臓内科部長　市田 静憲 「小児発熱疾患とその対応」 演者：名古屋第一赤十字病院　小児科部長　羽田野　爲夫	医療従事者	3名	20名
2009年9月5日	金	第54回内分泌若手勉強会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟　会議室4	症例検討会 講師：名古屋第一赤十字病院 内分泌内科部長　山守 育雄、乳腺内分泌外科部長　後藤 康友	医師	6名	7名
2009年9月25日	金	名古屋第一赤十字病院地域医療連携学術講演会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院 東棟2階 内ヶ島講堂	「地域がん診療連携拠点病院のあるべき姿勢と今後のあり方」 講師：国立がんセンター中央病院 院長　土屋　了介　先生	医療従事者	66名	9名
2009年9月30日	水	認知症の勉強会 参加対象：医療従事者 名古屋マリオットアソシア 17F　楓	「アルツハイマー型認知症の診断と治療」 ～高度AD治療経験も踏まえて～ 講師：名古屋第一赤十字病院 脳卒中科部長　後藤 洋二	医療従事者		
2009年10月10日	土	第7回中村区糖尿病研究会 参加対象：医療従事者 名駅IMAIビル8F　CONVENTION ROOM	「糖尿病の足病変」 講師:名古屋第一赤十字病院 形成外科部長　林　祐司	医療従事者	5名	30名
2009年10月17日	土	第4回緑区病診連携合同講演会 参加対象：医療従事者 名古屋ルーセントタワー11階	「骨粗鬆症の治療戦略」 講師：名古屋市立大学大学院医学研究科 整形外科　病院講師　松下　廉先生 「冠インターベンション後の患者管理」 講師：名古屋第一赤十字病院 第二循環器内科部長　神谷 春雄	医療従事者	1名	43名
2009年10月22日	木	第30回中村区整形外科医会 参加対象：医療従事者 名鉄ニューグランドホテル　7階　扇の間	「股関節周囲ガングリオンの2例」 演者：名古屋第一赤十字病院　整形外科　松下　正矢 「骨盤骨折に対するM transiliac Plate固定の治療成績」 演者：名古屋第一赤十字病院　整形外科　広石　将行	医療従事者	9名	11名
2009年10月24日	土	第2回西春日井地区脳卒中勉強会 参加対象：医療従事者 (医)済衆館 済衆館病院　2階　会議室	「脳卒中に対する血管内治療について」 演者：名古屋第一赤十字病院 脳卒中科副部長　岡本　剛	医療従事者	1名	24名
2009年11月27日	金	第55回内分泌若手勉強会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟　会議室4	症例検討会 講師：名古屋第一赤十字病院 乳腺内分泌外科部長　後藤 康友	医師	11名	11名
2009年12月3日	木	名西循環器フォーラム 参加対象：医療従事者 キャッスルプラザ　3階「鶴」	「動脈硬化退縮を目指した治療戦略」 講師：名古屋第一赤十字病院 第二循環器内科部長　神谷 春雄	医師	1名	6名
2009年12月5日	土	海部・津島地区インクレチン講演会 参加対象：医療従事者 キャッスルプラザ　4階「五月の間」	「2型糖尿病治療におけるDPP-IV阻害薬sitagliptinの位置付け ～臨床の視点から～」 講師：名古屋第一赤十字病院　内分泌内科部長　山守 育雄	医師	1名	9名
2009年12月10日	木	平成21年度瀬戸保健所地域保健福祉パイオニア育成研修会 参加対象：医療従事者 瀬戸保健所 3階講堂	「小児がん患児・家族への支援について」 講師：名古屋第一赤十字病院 がん化学療法看護　認定看護師　天野　真由美	医療従事者	1名	13名
2009年12月12日	土	中村区インクレチン講演会 参加対象：医療従事者 ソフィテル ザ サイプレス名古屋 2階	「2型糖尿病治療におけるDPP-IV阻害薬sitagliptinの位置付け ～臨床の視点から～」 講師：名古屋第一赤十字病院　内分泌内科部長　山守 育雄	医師	2名	23名
2009年12月16日	水	中村区支部研修会 参加対象：医療従事者 中村区休日診療所　3階会議室	「アトピー性皮膚炎の診断と治療について」 講師：名古屋第一赤十字病院 皮膚科　北村　達彦	医師	1名	12名

開催年月日	曜日	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加医療従事者	参加者（医療従事者）	
					院　内	院　外
2010年1月23日	土	ステント後の抗血小板療法講演会 参加対象：医療従事者 ホテルグランコート名古屋5階「ﾛｰｽﾞﾙｰﾑ」	「DES留置後血栓症をきたした1例」 演者：名古屋第一赤十字病院 循環器内科　松尾　大志	医療従事者	2名	49名
2010年1月25日	月	第10回小児医療センター講演会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院 東棟2階 内ヶ島講堂	「呼吸障害を呈したインフルエンザ症例」 演者：名古屋第一赤十字病院　西門 優一 「インフルエンザ脳症の3例」 演者：名古屋第一赤十字病院　川島　希 「呼吸障害を呈した転移性肺腫瘍症例」 演者：名古屋第一赤十字病院　大森 大輔 「日常診療における発達障害」 演者：名古屋第一赤十字病院　健診部長　鬼頭　修	医療従事者	17名	12名
2010年2月2日	日	平成21年度 第2回救急医療特別研修会 参加対象：医療従事者 豊橋市医師会臨床検査センター2F　会議室	「腹大動脈瘤破裂の診断と治療」 講師：名古屋第一赤十字病院 血管外科部長　錦見　尚道	医療従事者	1名	26名
2010年2月4日	木	地域医療連携学術講演会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院 東棟2階 内ヶ島講堂	「脳卒中ガイドライン2009」 演者：名古屋第一赤十字病院　脳卒中科部長　後藤　洋二 「脳卒中診療−地域医療連携への取り組みと課題−」 講師：トヨタ記念病院　副院長　安田 武司　先生	医療従事者	70名	34名
2010年2月18日	木	第31回中村区整形外科医会 参加対象：医療従事者 名鉄ニューグランドホテル　7階　扇の間	「NAVIGTIONを用いた人工関節の治療経験」 演者：名古屋第一赤十字病院　整形外科　松下　正矢 「上腕三頭筋の皮下断裂症例について」 演者：名古屋第一赤十字病院　整形外科　広石　将行	医療従事者	12名	13名
2010年2月19日	金	第56回内分泌若手勉強会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟　会議室4	症例検討会 講師：名古屋第一赤十字病院 内分泌内科部長　山守 育雄、乳腺内分泌外科部長　後藤 康友	医師	12名	13名
2010年2月20日	土	第1回オルト会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟2階　会議室3	「一般医家に知って頂きたい循環器疾患」 講師：名古屋第一赤十字病院 第二循環器内科部長　神谷　春雄	医師	1名	8名
2010年3月18日	木	Expert Meeting in NAGOYA 2010 参加対象：医療従事者 ノバルティスファーマ㈱ 名古屋事業所	「2型糖尿病治療におけるDPP-IV阻害薬sitagliptinの位置付け」 演者：名古屋第一赤十字病院 検診部長　村瀬 孝司	医療従事者	5名	11名
2010年3月25日	木	平成21年度 第3回地域医療連携診療講演会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟2階　内ヶ島講堂	「脳卒中地域医療連携パスの使用状況について」 演者：名古屋第一赤十字病院 脳卒中科部長　後藤　洋二	医療従事者	34名	25名
合　計					817名	1419名
					2236名	

＊医療従事者＝医師、看護師、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、理学・作業療法士、及びその他の医療技術者